

第七十五回帝國議會
衆議院

所得稅法改正法律案外三十件
委員中地方稅法案外七件
小委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和十五年三月二日(土曜日)委員
長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

小山倉之助君 長野 高一君
成島 勇君 川崎末五郎君
內藤 正剛君 飯田 助夫君
塚本 三君 石井德久次君
宮本雄一郎君 上田 孝吉君
山川賴三郎君 西川 貞一君
瀧澤 七郎君 小見山七十五郎君
永江 一夫君 青木 作雄君
藤本 拾助君 武田德三郎君
同月四日(月曜日)午後一時三十分小委員長
理事互選ノ爲委員參集ス
其ノ氏名左ノ如シ

小山倉之助君 長野 高一君
成島 勇君 川崎末五郎君
內藤 正剛君 飯田 助夫君
塚本 三君 石井德久次君
宮本雄一郎君 上田 孝吉君
山川賴三郎君 西川 貞一君
瀧澤 七郎君 小見山七十五郎君
永江 一夫君 武田德三郎君
(年長者飯田助夫君投票管理者ト爲ル)

○飯田投票管理者 先例ニ依リマシテ私ガ

年長ノ故ヲ以チマシテ投票管理者トナリ、
是ヨリ委員長及ビ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○西川委員 委員長ハ投票ヲ用ヒズ、小山
倉之助君ヲ御推薦シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○飯田投票管理者 西川君ノ御意見ニ御異
議ナイモノト認メマス、仍テ小山倉之助君
ガ委員長ニ御當選ニナラレマシタ、是ヨリ
委員長ト交替致シマス

〔拍手起ル〕

〔小山倉之助君委員長長席ニ著ク〕

○小山委員長 諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、
委員長ニ就任致シマシタ、宜シク御援助ヲ
御願致シマス——引續イテ理事ノ互選ヲ行
ヒマス

○西川委員 理事ハ其ノ數ヲ四名トシテ、
委員長ニ於テ御指名セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小山委員長 西川君ノ御意見ニ御異議ナ
イト認メマス、ソレデハ

川崎末五郎君 內藤 正剛君
石井德久次君 西川 貞一君
ヲ理事ニ指名致シマス

會議

昭和十五年三月四日(月曜日)午後一時三十
二分開議

出席委員左ノ如シ

小委員長 小山倉之助君
理事 川崎末五郎君 理事 內藤 正剛君
理事 石井德久次君 理事 西川 貞一君
長野 高一君 成島 勇君
飯田 助夫君 塚本 三君
宮本雄一郎君 上田 孝吉君
山川賴三郎君 瀧澤 七郎君
小見山七十五郎君 永江 一夫君
武田德三郎君 山本 条吉君
三月四日委員飯田助夫君辭任ニ付其ノ補關
トシテ山本条吉君ヲ委員長ニ於テ選定セリ
出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
出席政府委員左ノ如シ
內務省地方局長 挾間 茂君
內務書記官 三好 重夫君
內務書記官 古井 喜實君
文部省普通學務局長 中野 善敦君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

付託議案

地方稅法案(政府提出)(第四七號)
地方分與稅法案(政府提出)(第四
八號)
府縣制中改正法律案(政府提出)
(第四九號)
市制中改正法律案(政府提出)(第
五〇號)
町村制中改正法律案(政府提出)
(第五一號)
北海道會法中改正法律案(政府提
出)(第五二號)
北海道地方費法中改正法律案(政
府提出)(第五三號)
地方分與稅分與金特別會計法案
(政府提出)(第五四號)

地方稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提
出)

○小山委員長 引續キ會議ヲ開キマス——

山本条吉君

○山本委員 私ハ二三ノ點ニ付テ內務當局
ニ御尋申上ゲタイト存ジマス、今度ノ稅制
改革ガ出來上リマス、確ニ地方團體ニ財
政的ニ彈力性ヲ持タセ得ラレト云フコト
ハ、大體ニ於テ私共モ認メルニ答デナイ
ノデアリマス、普通ノ場合ニ於キマシテハ、
分與稅其ノ他ノ方法ニ依ツテ、大體地方團
體ノ行政機構ガ圓滑ニ動クグラウト云フコ
トハ考ヘラレルノデアリマスガ、唯大變ナ
大キナ災害デナクテモ、地方團體ニ災害ノ
起ツタ場合ニ、未ダ當局ノ説明デハ是ガ處
置ヲスルノニ必要ナ財源ヲハツキリト御示
ヲ願ツテ居ラナイ、分與稅其ノ他ノ方法ニ

依ツテ、大體「スムース」ニ行政機構ノ運用
ガ出來ルヤウニスルノダト云フ御説明ハ承
ツテ居リマス、ケレドモ、其ノ程度デハ十分
デナイノデアリマス、ソコデ災害ノ起ツタ
場合ニ、今度ノ改正法案ニ依リマス、結
局市町村民稅ニハ限度ガアツテ是レ以上課
稅ガ出來マセヌシ、戶數割ニ代ルベキ彈力
性ノアルモノハナイノデアリマス、サ
ウスルト結局三收益稅ノ重課ニスルヨリ外
ニ方法ガナカラウト思フノデアリマス、此
ノ三收益稅ノ重課ニ付テ政府ハドノ程度マ
デ之ヲ認メルカ、法案ニ依ルト百分ノ二百
四十マデハ許可ガナクテ地方團體ガ自由ニ
課稅スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルヤ
ウデスガ、ソレデハ到底足ラナイ、其ノ場
合ニ政府ニ向ツテソレ以上ノ課稅ヲ申請シ
テ來ル、其ノ場合内務省及ビ大藏省ハドウ
云フ基準ニ基イテ、ドノ程度マデ其ノ重課
ヲ認メヨウトスルノカ、之ヲ此ノ機會ニ議
會ヲ通ジテハツキリサシテ置カナイト、今
度ノ稅制改革ニ依リマシテ、地方ノ團體ガ
一番不安ニ思ツテ居ル點ハ其ノ點デアリマ
スカラ、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、ハ
ツキリシタ御答辯ヲ得タイノデアリマス

○**挾間政府委員** 今回ノ稅制改正ニ付キマ
シテ、地方團體ノ財政的ノ彈力性ト云フ問
題ハ、各方面デ御心配ニナツテ居リマスガ、
吾々モ大イニ同感ノ點ガアルノデアリマス、
此ノ點ニ付テハ制度ヲ立テマス際ニ色々研
究シタノデアリマシテ、今御述ニナリマシ
タヤウナ色々災害等ガアツタ場合ニ、如
何ニシテソレニ對スル財源ヲ生ミ出スカト
云フコトニ付キマシテハ、是ハ團體ノ各財
政事情等モ考慮シテ決定シナケレバナラス
コトデアルト思ヒマス、極メテ微細ナル災

害等ニ付キマシテハ、三收益稅ノ附加稅ノ
増徴ニ依ツテ問題ガ解決スルト思ヒマス
ガ、更ニ大キナ災害ガゴザイマシタ場合ニ
ハ、自然ニハ起債ニ財源ヲ求メテ、サウシ
テソレニ對スル補填後年度ニ於ケル財政收
入ニ依ル、此ノ場合ニ於キマシテハ、府縣
デ申シスト、御存ジノ通り、災害債ト云フ
モノガ分與稅ノ配付稅分與ノ基準トナツテ
參リマスカラ、ソレニ從ツテ分與稅ノ額ガ
増加スルト思ハレマス、又市町村ニ於キマ
シテハ、第三種配付額ト云フモノガ特別ノ
事情ヲ考慮シテ配分スルコトニナツテ居
リマス、隨テ著シイ災害等デアリマス場合
ニハ、ソレニ對シテ此ノ第三種配付額ヲ分
與スルコトガ出來ルト思ヒマス、又全般
ノ問題ト致シマシテハ、其ノ災害ノ爲ニ色々
ノ租稅收入ガ減ジマシタ場合ニハ是亦第
一種配付額ノ配分基準ノ擔稅力ガ低下スル
ト云フコトデ、逆ニソレニ對シテ多額ノ配
付稅ガ配付サレルト云フコトニナリマス、斯
ウ云フ分與稅財源ニ依ツテ濟シ崩シのニ其
ノ起債ヲ償還スル財源ヲ得ル、又三收益稅
ノ賦課率ヲ擴大スルト云フコトニ依ツテ、
起債ニ對スル償還財源ヲ得ルト云フヤウナ
方法デ、大キナ災害ニ付キマシテハ解決ヲ
シテ行クコトニナルデアラウト思ヒマス、
ソコデ此ノ三收益稅ニ對スル賦課率ノ問題
デゴザイマスガ、是ハ從來ノ地方稅制限
關スル法律ノ如キ嚴格ナル制限ヲ設ケテ居
ナイノデアリマス、三收益稅ニ付キマシテ
ハ、府縣ハ百分ノ百、市町村ハ百分ノ二百
ノ賦課率トナツテ居リマス、ソレ以上ハ監
督官廳ノ許可ヲ以テ賦課率ヲ上ゲルコトガ
出來ルヤウニ、相當融通性ヲ持タセルコト
ニ致シテ居リマス、隨テ團體ノ財源經理ノ

上カラ申シマス、ソレダケ經理ノ方法ト
シマシテハ樂ニナツテ來テ居ル譯デアリ
マス、併シナガラ一面個人ノ經濟カラ考ヘ
マス、餘リニソレガ融通無礙ニ認メラレ
ルト云フコトニナリマシテハ、負擔ガ過重
ニナルト云フ虞モアリマス、此ノ間ニ
處シテ適正ナル賦課率ノ伸縮スルト云フ
コトハ、一ニ監督官廳ガソコニ適當ナル物
差ヲ用ヒテ各團體ノ財政狀況、其ノ實情ヲ
考慮シマシタ上デ、先程申上ゲマシタヤウ
ナ財政經理ノ方法ヲ睨ミ合セマシテ、其ノ
賦課率ニ對スル許可ノ方針ヲ執ル積リデア
リマス

○**山本委員** サウスルト結局三收益稅ノ制
限外ノ課稅ヲスル場合ニハ、地方團體ガ申
請シテ來タ其ノ申請額ニ付テ、内務當局並
ニ大藏當局ガ、其ノ地方ニ於ケル地方團體
ノ財政狀態、擔稅能力、サウ云フモノヲ睨
ミ合セテ考ヘテ見テ、此ノ邊マデハ宜カラ
ウト云フ「ポイント」ヲ押ヘテ、サウシテ許
可シテ行ク、斯ウ云フ風ニナルヤウデアリ
マスガ、勿論サウスルト甲ノ地方ニハ例ヘ
バ府縣稅ナラバ百分ノ二百五十、三百ト云
フ所マデ許可セラレケレドモ、乙ノ地方
ニ於テハ百分ノ百五十シカ許可ニナラス、
市町村デ云ヘバ、百分ノ二百八十ノ所モア
レバ、百分ノ三百ノ所モ出テ來ル、斯ウ云
フヤウナ地方ノ財政狀態、擔稅能力等ニ應ジ
テ違ツタ課稅ヲ認メル御方針デアリマス、
尙ホ其ノ點ヲ承リタイ

○**挾間政府委員** 御話ニナリマシタ通りデ
ゴザイマシテ、各團體ノ財政狀況等ヲ考慮
致シマシテ、又災害其ノ他財政的必要ナ限
度ニ應ジマシテ、許可スル方針デゴザイマ
ス、無論團體ノ異ルニ從ヒマシテ其ノ賦課

率ノ大小ト云フモノハ相違スルト云フコト
ニナルト思ヒマス、是ハ畢竟地方自治ヲ認
メテ居リマス關係カラ致シマシテ、自然其
ノ團體ノ事情ニ從ヒマシテ賦課率ニ不均衡
ヲ生ズルト云フコトハ、已ムヲ得ナイコト
デアラウト思ヒマス

○**山本委員** 大體サウ云フコトニナルダラ
ウト思ヒマス、併シ押シナベテ地方團體カ
ラ特別課稅ノ申請ガアツタ場合ニ、財政ノ
狀態トカ擔稅能力ト云フコトヲ考ヘナイデ、
何處カラ申請シテ來テモ此ノ程度マデハ許可
スルンダ、ソレ以上ニナレバ色々事情ヲ
審査シテ見ナケレバ直チニ許可ガ出來ナイ
ノダト云フ、大體ノ基準ト云フカ、標準ヲ
内務省デハ御持デハナイノデスカ

○**挾間政府委員** 今回ノ稅制改正ノ中、財
政ニ伸縮性ヲ持タセルト云フ方面ニ於キマ
シテノ一ツノ特色ハ、今御話ノヤウナコト
ニ付テ、行政官廳トシテ一定シタ制限率ヲ
設ケナイコトニシタ點モアルノデアリマス、
從前ノ地方稅制限ニ關スル法律ハ、一應ノ
制限ヲ設ケテ居リマシタガ、今回ノ稅制ニ
於キマシテハ此ノ制限ヲ設ケテ居リマセ
ヌ、隨テ内務省ナリ、大藏省ナリニ於キマ
シテモ、各團體ニ通ズル一定ノ限度ト云フ
モノハ、百分ノ百、百分ノ二百ト云フ以外
ニハ設ケテ居ナイノデアリマス、ソレ以上
ノ課率ニ付キマシテハ、各團體ノ財政事情
ヲ考慮致シマシテ決定スル方針デアリマ
ス、尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒ
マス、今同ノ賦課率ヲ百分ノ百、百分
ノ二百ト致シマシタノハ、地方財政ノ全般
ノ財政收入ヲ基礎トシテ考ヘテ居リマシ、
從來制限外課稅ヲシテ居ツタモノニ依ル財
政收入モ全部含メテ、今回ノ課率ト、分與

税トニ依ツテ、ソレガ賄ヘルト云フ數字ヲ以テ決メタノデゴザイマス、其ノ點ヲモ併セテ申上テ置キマス。

○山本委員 只今御説明ニ依リマス、結局極メテ自由ニ彈力性ヲ持タセテ、今度ノ改正案ニ依リマスレバ各地方團體ノ申請ガアリ次第、ソレガ適切妥當ナリト認メレバ、各地方々々ニ應ジテ適切妥當ナリト思料スル程度ノ賦課率ヲ許可シテ行クンダト云フ風ニ承ツタノデアリマス、ソレハソレデ宜シウゴザイマスガ、地方團體ノ中ニハ、殊ニ市町村ニ於キマシテハ、殆ド擔稅能力ノ無イヤウナ貧弱町村ガ多イ、サウ云フ町村ニ一度災害ガ起ツタ、而モソレガ應急ノ處置ヲ要スルンダト云フ場合ニハ、從來ナラバ直グニ來年度ノ戶數割ヲ擔保ニシテ、一時銀行カラ借入ヲシテデモ處置ガ出來タ、所ガ今度ノ地方稅制ノ改正ヲ致シマストソレガ出來ヌノデアルカラ、サウ云フ處置ガ出來ナイ、ト云ツテ制限外課稅ヲシヨウトシテ申請ヲシテ見テモ、其ノ貧弱町村ノ財政狀態、其ノ事情カラ考ヘテ見テ、到底百分ノ二百四十以上ニハ課稅ガ出來ナイ、斯ウ云フ狀況ニナツテ來ルト、來年度ノ分與稅ニ於キマシテハ、サウ云フ災害ヤ色々ナ事情ヲ斟酌シテ、分與稅法ノ規定ニ依ツテ適當ニ處理セラレルトハ分リマスケレドモ、ソレヲ以テ到底地方行政ノ圓滑ナル執行ハ出來ナイト思フ、サウ云フ貧弱町村ノ災害ノヤウナ場合ニ付テ、何カモウ一ツ便法ヲ考ヘテ戴キタイ、ソレハ今度ノ稅制改革ニ依ルトサウ云フ問題ガ必ズ起ツテ來ルノデアルカラ、サウ云フ貧弱ナ地方團體、市町村ニ對シテハ、國家ガ何トカシナケレバナラヌト云フヤウナ大災害ノ時ハ別

問題ト致シマシテモ、其ノ地方町村ニ於テ何等カノ方法ヲ得ル程度ノ災害ノヤウナ場合ニ、手ツ取早ク回復出來、應急處置ガ出來ルヤウナ資金ノ得ラレルヤウナ方法、ソレハ煎ジ詰メルト結局地方團體ノ中央倉庫制ヲ設ケルノガ一番デアルト思フ、之ヲ設ケレバ、地方團體ト致シマシテハソレヲ利用シテ、其處カラ借入レタ金ハ先程地方局長ガ言ハレタヤウナ分與稅其ノ他ノ方法ニ依ツテ、濟シ崩シニシテ行ク方法モ自ラ生レテ來ルダラウシ、又ソレノミナラズ、即チ三收益稅ノ賦課率ヲ高メテ、ソレニ依ツテソレヲ濟シ崩シニシテ行ク方法モ生レテ來ルデアラウシ、餘リ一時のナ負擔ヲ重課シナイデ、而モ容易ニ——容易ニト云フコトハ從來ノ役所式デナクト云フコトデアリマス、申請ヲシテカラ三箇月モ四箇月モ掛ラナケレバ認可ガ來ナイヤウナコトデハ應急處置ガ出來ナイノデアリマス、サウ云フ緩慢ナ處置デナシニ、サウ云フモノニ對スル應急處置ニ必要ナル資金ハ、其ノ中央金庫制ヲ活用スルコトニ依ツテ救ハレテ、而モ地方自治團體ノ行政機構ノ運用ガ非常ニ「スムーズ」ニ行クノデハナカラウカ、是ハ大藏當局ニモ十分ニ御意見ヲ承ル積リテ居ルノデアリマスガ、先ヅ内務大臣ガ如何ナル難關ヲ突破シテモ、ドウ云フ反對ガアツテモ、是ダケハ設ケテ、現在ニ於ケル貧弱ナ地方町村若クハ地方團體ノ行政機構ノ運用ニ支障ナカラシムルト云フ御決意ガアルカドウカ、ハツキリシタ御意見ヲ承ルコトヲ得マスレバ、今度ノ地方稅制改革ニ付テ地方團體ノ懸念シテ居ル第一ノ問題ガ解決スルト存ズルノデアリマス、内務大臣ノハツキリシタ御意見ヲ承リタイ

○兒玉國務大臣 只今地方財政ノ經理ヲ圓滑ニスル方法トシテ、地方團體中央金庫ヲ設ケタラドウカト云フ御説デアリマシタガ、是ハ私共至極結構ナ御考デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ今回ノ地方稅制度ヲ編ミマス際ニモ、同時ニ此ノ事ヲ實行シヨウカトマデ考ヘタノデアリマスガ、ソレマデニ運びガ參リマセヌデ、今日ニ相成ツテ居ルノデアリマス、只今御述ニナリマシタ如ク、地方團體ノ財政上ノ經理ヲ滑カニシ、而シテ官僚ノ獨善ヲ防イデ、氣持好ク茲ニ必要ナル資金ガ地方團體ニ迅速ニ廻ルト云フ方法トシテハ、中央金庫ノ制度ヲ設ケルコトガ一番宜シイノデハナイカト思ツテ居リマス、其ノ點ニ於キマシテハ同感ノ意ヲ表シテ置キタイト思ヒマス、但シ是ガ成案ヲ得テ今日之ヲ提案スルマデニハ取運シデ居ラナイノデアリマス、引續キ如何ナル形ニ依リ、如何ナル資金ヲ以テ此ノ中央金庫ヲ成立サセルノガ宜イカ、其ノ業務ノ範圍ヲドウ云フヤウニスルカト云フコトニ付テハ、速ニ研究シテ、成ベク早イ機會ニ於テ御審議ヲ願フヤウナコトニ致シタイト今日考ヘテ居ル次第デアリマス

○山本委員 大體御明快ナル御答辯ヲ得マシテ、恐ラク地方團體ニ於テモ、サウナレバ今度ノ稅制改革ニ依ツテ稅其ノモノカラ來ル彈力性ガナクテモ地方行政ノ運営ニ支障ナカラシメ得ラレルダラウト云フ安心ヲ得ラレルコトト存ジマス、併シ只今御答辯ノヤウニ、成ベク近イ機會ニ成案ヲ得テ御審議ヲ願ヒタイヤウナ次第デアルト云フヤウナ御話デハ、恐ラク今議會ニ間ニ合ハナイコトハ間違ヒナカラウト思フ、サウスルト來議會マデニ果シテソレガ出來上ルノカ、或ハ其ノ次ノ年マデ掛ルノカ見透シガ付カナイ、内務大臣ノ御答辯ノ御趣旨カラ考ヘテ見ルト、近キ機會ト云フノデスカラ、此ノ議會ニ近イ議會ハ來年デスカラ、來年マデニハ何トカ成案ヲ得タイト云フ御意向ノヤウニ承リマスガ、ソレニシテモ本地方稅制改革案ハ四月一日カラ實施セラレルノデスカラ、今ノ内務大臣ノ御所見ノ如ク、又其ノ心意氣ノ如クデ、來年ノ議會マデ内務大臣ガ御在職デ居ラツシヤレバ、或ハサウ云フコトニナルカモ知レマセヌガ、明日モ分ラナイコトナノデスカラ、若シ内務大臣ガ御送リニナツテ、前ノ大臣ハサウ言ツタカモ知レヌガト云フコトニナルカモ分ラヌ、送ツタ所ノ内閣デソレヲ引受ケテ其ノ方針デヤツテ吳レバ宜イガ、今ノヤウナ情勢デハ測リ知レナイ、ソレデハ心許ナイ、私ノ御質問申上ゲルノハ、要スルニ地方團體ガ今回ノ改正案ニ依ツテ色々ナ意味ニ於テ便宜ヲ得ラレルト非常ニ期待シテ居ルケレドモ、心配スルコトハ、サウ云フ場合ノコトヲ非常ニ心配シテ居ルノデスカラ、ソレニ對シテハ、私ノ申上ゲタ地方團體中央金庫制ト云フモノヲ確立スルニハ相當ノ調査モ研究モ要ルカラ、來議會マデハ其ノ邊ノコトデ掛ルトシテ、其ノ間ハ如何カ便法ヲ御考ニナツタラドウカ、ソレハ地方ノ銀行ヲ指定シテ、分與稅若クハ三收益稅ノ收入ヲ計算ニ入レテ、サウ云フ場合ニハ特別ノ取扱ノ下ニ其ノ銀行カラ借入ノ出來ルヤウナ便法ヲ講ジテヤツテ置ケバ、應急ノ處置ガ出來ルデハナカラウカ、サウシテ其ノ間ニ十分研究セラレテ、此ノ地方團體中央金庫制ヲ確立セラレルナラバ、ソコニ毫モ不安ハナクナルノデアリマス、何カサウ云フヤウナ便

法ヲ御考ニナツテ居ルヤウナコトハゴザイ
マスカ、其ノ點ヲ承リタイ

○**兒玉國務大臣** 是ハドウ御約束申上ゲテ
モ、太鼓判ヲ押シテモ、御無理ナ御註交デ
アリマスガ、出來ルダケ早イ機會ニ於テ御
趣旨ニ副フヤウニ十分ナル努力ヲ致スコト
ニ致シマス、而シテ此ノ地方稅ガ實施サレ
テ、此ノ一年間ニ幾ラカ實際上ノ模様ガ見
エテ來マセウカラ、其ノ事情ヲモ參酌シ
テ、新シイ今回ノ試ミデアリマスカラ、其
ノ經驗ヲモ取入レマシテ金庫法ヲ制定スル
コトニナリマスレバ、一層恆久的デアリ、
且又適正ナル制度ガ出來得ルノデハナイカ、
斯ウモ實ハ考ヘラレル譯デアリマス、而シ
テ其ノ間ニ於キマスル便宜ナ方法ニ付キマ
シテハ、只今御話ニナリマシタヤウナ方法
モアリマセウシ、又預金等トモ能ク連絡ヲ
致シマシテ、低利資金ニ依ツテ救済ヲスル
ト云フ途モアラウト思ヒマスノデ、其ノ間
ニ於キマシテハ出來ルダケ便宜ナ方法ヲ執
リマシテ、實際ノ運用ニ支障ノナイヤウナ
風ニ取計ラフヤウニ致シタイト考ヘテ居リ
マス

○**山本委員** 只今內務大臣ノ御答ヲ實ハ得
タカツタノデアリマシテ、其ノ御答辯ヲ得
マシテ、恐ラク便宜ナ處置ニ依リ中央金庫
制ノ確立スルマデノ間デモ不安ガナイト云
フコトガハツキリシタコトヲ感謝致シマス、
中央金庫制ニ付テハソレダケデアリマスガ、
西川君ガ何方關聯質問ガアルサウデアリマ
スカラ御譲リ致シマス

○**小山委員長** ソレデハ西川君
○**西川委員** 此ノ三收益稅ノ附加稅ノ限度
ノ問題デスガ、前ニモ諄々ト御質問致シマ
シタガ、マダ實ハ諒解シテ居ラスノデス、

更ニ今ノ御質問中ニ一ツ思付イタノデスガ、
大體制限ヲ置カナイ、適當ニ監督スルト云
フコトヲ言ハレタ、是ハ一定ノ制限ガアレ
バ制限外課稅ヲ致シマス時ニ市町村カラ伺フ
ノデ、ソコニ監督權ノ發動ノ機會ガアルト
思フ、制限ガナイトスルナラバ市町村ニ於
テ百分ノ三百ヲ課ス必要ガアル、三百ヲ課
シテ居ル、或ハ三百五十課シテ居ル、サウ
云フコトハモウ制限ガナイノダカラ、市町
村自身ノ立場ニ於テ自由ニサウ云フコトハ
アリ得ルト思フ、ソレニ監督權ヲドウ云フ
機會ニドウ云フ方法ヲ以テ御發動ニナルノ
デスカ、其ノ點ヲ一ツ御伺シテ置キタイ

○**挾間政府委員** 制限ガナイト申シマシタ
ノハ、從來ノ地方稅制限法ノヤウニ法律ヲ
以テ嚴格ナル制限ヲ設ケテ居ナイト云フコ
トヲ申シタノデアリマシテ、今度ノ地方稅
法ニハ三收益稅ニ付テハ府縣ハ百分ノ百ト
云フノガ課率ニナツテ、市町村ハ百分ノ二
百トナツテ居ル、サウシテ府縣デハ百分ノ
百ヲ超エ、市町村デハ百分ノ二百ヲ超エマ
ス場合ニハ、常ニ監督官廳ノ許可ヲ受ケナ
ケレバナラナイノデゴザイマスカラ、假ニ
百分ノ百一ヲ課サウト云フ場合デモ監督官
廳ノ許可ヲ要スルノデアリマス、唯ソレガ
百分ノ百二以上ハモウ取レナイ、斯ウ云フ
コトハ法律上抑ヘテ居ナイガ常ニ標準ノ賦
課率以上賦課スル時ニハ許可ヲ得ナケレバ
課稅出來ナイコトニ致シテアルノデアリマ
ス

○**西川委員** サウスルト市町村ノ場合ニハ
百分ノ二百四十マデハ許可ナクシテヤラセ
ルヤウナ御答辯ガ前ニアツタヤウデスガ、
府縣ニ於テハ百分ノ百、市町村ニ於テハ百
分ノ二百、ソレ以上ハ一デモ許可ヲ要スル

コトニナツテ居ルノデスネ、一寸答辯ガ前
ノ答辯ト違フノデハナイカト思フノデスガ、
私ノ間違ヒカモ知レマセヌガ……

○**挾間政府委員** 私ガ答辯申上ゲマシタノ
ハ、府縣デ百分ノ百二十、或ハ市町村デ百
分ノ二百四十マデハ許可ガ要ラナイト云フ
ノハ特定ノ經費デアリマス、市町村ニ付キ
マシテハ六十一條ニゴザイマス、ソレカラ
府縣ハ四十六條ニ其ノ費目ヲ限リマシテ、
例ヘバ災害應急費デアルトカ、傳染病豫防
ノ經費デアルトカ、是等ノ經費ニ對スル元
利償還ノ起債デアルトカ、斯ウ云フモノニ
對シテハ府縣デハ百分ノ百二十、市町村デ
ハ百分ノ二百四十マデハ許可ハ要ラナイ、
ソレヲ超エマシタナラバ許可ガ要ルシ、一
般ノ經費ニ付テハ百分ノ百、百分ノ二百ヲ
超エレバ必ズ許可ガ要ル、斯ウ云フ方針ニ
ナツテ居リマス

○**西川委員** 分リマシタ
○**山本委員** 更ニモウ一點別ノ方面デ伺ヒ
タイト思ヒマス、ソレハ地方ニ於ケル中等
學校ノ縣營移管デアリマスガ、今日各地方
ノ府縣ニ於キマシテ、乙種程度ノ學校若ク
ハ實科女學校ト云フヤウナ學校ガ縣移管ヲ
要望シテ、縣立學校ニシテ、サウシテ設備
ノ萬全ヲ期シ、教育ノ目的ヲ貫徹シヨウト
云フコトデ努力シテ居ルコトハ事實デアリ
マス、各地方ニアル問題デアリマスガ、私
ノ縣下ナドニ於キマシテモ每年中等學校ノ
縣移管問題ガ起ル、其ノ起ル度ニ地元負擔
金ト云フモノガ決メラレテ、莫大ナ金額ヲ
地元負擔サセラレテ居ル、是ハ一口ニ言
ヘバ、地元負擔ガ出來ナイヤウナラバ縣移
管ヲサセテヤラス、地元負擔ニ應ゼラレレ
バ縣移管ニシテヤル、ソレガ出來ナケレバ

何年間デモ待ツテ居レ、斯ウ云フヤリ方デ
アル、サウスルト其ノ地方ニ有力ナル財閥
ガアツテ寄附ヲ申出レバ、其ノ地方ニ縣立
ノ女學校ナリ農學校ナリガ出來ルシ、サウ
云フ者ガナイ貧弱町村デ、而モ其ノ地方ニ
ハ地理的ニ見ドウシテモ中等學校ガ必要
ナルニ拘ラズ、ソレガ縣立ニナルコトガ出
來スト云フヤウナ不公平ナ事實ガ存在スル
其ノ場合ノ地元負擔金ト云フモノガ、今日
デハ從來ノ現行法ノ戶數割ト同様ニ割當寄
附ヲ強要シテ居ル、ソレガ爲ニ非常ナ重壓
ヲ蒙ツテ居ル、是モ立派ナ一種ノ租稅デス、
之ヲ此ノ儘ニ放任シテ置クト、所謂教育ノ
機會均等モ出來ナイノダシ、是位不公平ナ
教育國ニハナカラウト思フ、所ガ事實各府
縣ニ於キマシテ是ガ出來ナイ、出來ナイ爲
ニ已ムヲ得ズ地元ノ者ガ有ユル犧牲ヲ拂ツ
テ、サウシテ其ノ地方出身ノ有力者ヲ東京
マデ訪ネテ、サウシテ拜ミマス、頼ミマス
ト云フコトデ、漸ク纏ツタ地元負擔金ヲ負
擔シテ縣移管ヲシテ貰フト云フヤウナ始末
ナンデアル、斯ウ云フコトハ是ハ今度ノ地
方稅制ノ改正ニ依リマシテ、今ノ分與稅ノ
規定等ニ於キマシテ根絶セラルカドウカ、
即チ必要ナリト認メタル縣移管ノ場合ニハ
ソレダケノ經費ハ地元負擔ヲシナクテモ出
來ルヤウナ財源ヲ得ラルコトニナルノカ、
換言スレバ、今度ノ稅制改正ニ依ツテ其ノ
地元負擔金ト云フモノガ大體根絶セラレル
ノカ、ソレトモ或ル程度緩和セラレルト云
フコトニナルノカ、ソレトモ從來通り其ノ
點ニハ變リハナイシタト云フコトニナルノ
カ、此ノ點ヲ一ツ地方局長カラ承リタイ

○**挾間政府委員** 市町村立或ハ組合立學校
等ヲ縣營ニ移管スルト云フコトハ是ハ各府

縣共大體共通ナ現象デアリ譯デアリマシテ、是ハ教育ヲ普及シ、又實質ヲ向上セシムルト云フ點カラ申シマス、無論極メテ適當ナコトデアルト思フノデアリマス、唯其ノ際ニ必要以上ニ地元負擔ヲ條件トシテ移管ヲスルト云フヤウナコトハヨクアル例デゴザイマスガ、是ハ避ケナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ餘談ニナルカモ知レマセヌガ、從來府縣ガ斯ウ云フコトヲ致シテ居リマシタ内情ト致シマシテハ、何處モ彼處モ女學校或ハ中學校、園藝學校等ヲ縣立ニ移管シテ吳レ、斯ウ云フコトヲ各方面カラ言ツテ參リマスノデ、ソレヲ防止シヨウト云フヤウナ策トシテ斯ウ云フコトヲヤツタ事情モアツタカト思フノデアリマスガ、財務ノ當局ト致シマシテハ、學校ノ縣營移管ト云フヤウナコトハ、極メテ嚴正ニ其ノ地方ノ教育行政上適切ナル位置デアリ、又施設デアルコトヲ認メナケレバ之ヲ移管スルコトハ相成ラスト云フ風ニ考ヘルノガ適當デアルト思ヒマシテ、其ノ方針デ進ンデ參リタイト思ヒマス、今回ノ稅制改正ニ依ツテ、然ラバサウ云フ教育施設等ニ付テモ十分ナ財源ガ與ヘラレデアラウカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ必ズシモ此ノ財源ニ依リマシテ、從來下級團體ノ設立シタ學校ヲ縣營ニ移管スルニ必要ナル財源ヲ供與サレルト云フコトハ言ヘナイト思フノデアリマス、併シナガラ團體ニ依リマシテハ財政ガ非常ニ貧弱デゴザイマシテ、是非トモ縣營移管ニシナケレバナラナイヤウナ事情デアルケレドモ、財政經理上サウ云フ餘地ガナイヤウナ團體ヲ押ヘテ見マス、御述ニナリマシタヤウナ積極的施設ヲ爲スニ必要ナル財源ヲ相當ニ得ル府縣ガ、今回ノ稅制改正ニ

依リマシテ相當出來テ來ルノデハナイカト云フ風ニ一應考ヘテ居ルノデアリママス
○山本委員 結局御答辯ニ依リマスト、未ダ租稅ニ類スル地元負擔ト云フモノノ是正ガサレヌコトニナリマス、併シ多少今度ノ稅制改正ニ依ツテ是ガ是正サル一助ニハナルデアラウト思ヒマスガ、私ハ此ノ問題ハ其ノ地方々々ニ起ル小サナ問題デナシ、今日中等教育ノ關門ガ閉塞セラレマシテ、有ユル入學ノ方法ニ付テ當局ガ苦心濇騰シテ心配セラレテ居ル、是ハ豈ニ都會地ノミデナイ、喜ブベキコトカ悲シムベキコトカ、私ニハハツキリシタ信念ガナイノデアリマスケレドモ、地方ニ於キマシテモ此ノ戰時經濟下ニ於キマシテ、段々地方農村ニ於ケル農民諸君ノ懷口工合ガ裕ニナリ、ソレガ爲ニ中等學校ノ入學志望者ガ非常ナ勢力デ増大シテ居ル、是等ガ女デアレバ實科女學校デハドウモ御嫁入道具ニハナラナイ、ドウシテモ縣立ノ女學校ニ入レタイ、ソコデ從來ノ組合立ナリ市町村立ナルモノヲ縣立ニ移管シタイ、斯ウ云フ希望ガ起ツテ來ル、ソレニ對シテハ莫大ナ地元負擔金ガナケレバイカヌト言ハレル、所ガ教育行政ノ上カラ考ヘテ見ルト、サウシテヤル方ガ宜イト云フ場合ニ、教育ト云フ大キナ見地カラ考ヘテ見テ、今度ノ稅制改革ニ依ツテ分與稅其ノ他ノ方法ニ依ツテ、何等カ之ヲ是正スルヤウナコトモ御考ニナルコトガ至當デハナカラウカト思フノデス、是ハ文部當局ニ伺フベキコトカモ知レマセヌガ、地方ノ行政ノコトデアリマスカラ地方局長ニ御伺スルノデスガ、モウ一度諄イヤウデスガ、其ノ點ニ對スル御親切ナ御答辯ガ得タイ
○扶間政府委員 今度ノ稅制改正ニ依ツテ

各團體ノ財政經理ノ狀態ガドウ云フ風ニナルカト云フコトハ、愈、此ノ分與稅ヲ此ノ法律ニ從ツテ分與致シマシタ上デナケレバ、ハツキリト申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ稅制其ノモノガ貧弱ナル團體ニ對シテハ相當財政的ノ餘裕ヲ與ヘルヤウニ分與セラレルコトニナツテ居ル譯デアリマシテ、其ノ結果トシマシテ獨リ教育ト云ハズ、土木ト云ハズ、產業各方面ニ付テ、從來財政ガ困難デアアル爲ニ施設ヲ爲シ得ナカツタ團體ニ於キマシテハ、從來ヨリモ何十萬圓カノ財政ニ餘力ヲ生ジマシテ、ソレニ依ツテ從來計畫シテ爲シ得ザリシ施設ヲ、相當新シク計畫スル力ヲ生ジテ來ルデアラウト思ヒマス、是ハ各團體ノ財政狀況、サウシテソレガ希望シテ居ル施設ト關聯シテ考ヘナケレバナリマセヌケレドモ、一般的ノ觀察トシマシテハ、貧弱ナル團體ニ新シイ財源ガ參リマス爲ニ、ヤリ繰ラシテ新規ノ施設ヲ爲ス資力ヲ新シク與ヘラルデアラウト云フコトガ、此ノ機會ニ於キマシテ一般的ニハ保證ヲ申上ゲルコトガ出來ヨウト思ヒマス
○山本委員 其ノ程度ノ御言明デモ大變地方團體ノ爲ニ結構ナコトト存ジマスノデ、其ノ點ハ其ノ程度デ止メテ置キマス
モウ一ツ伺ヒマスガ、地方團體ノ財政的彈力性ノ問題ニ付キマシテ、前回ニ同僚ノ西川君カラ三收益稅ノ附加稅ガ課カツテ、而シテソレガ地方災害ノ起ツタヤウナ場合ニハ隨分重課サレル場合モ豫想セラレル先程ノ御答辯ニ依リマシテハ凡ソ制限ヲ設ケテ居ラナイ、色々ノ事情ヲ考慮シテ、適切妥當ナリト思料スル程度ノ賦課率ヲ認可シテ行クノダ、斯ウ云フコトデアアルノデアリ

マスガ、所得稅ニ對シテ地方團體ニドウシテ附加稅ヲ課ケテイケナイノカ、私ハドウシテモ其ノ點ガ今マデ各同僚諸君ノ質問應答ヲ聽イテ居リマシテモ、亦大藏省ニ於ケル稅制改革ノ各「エキスパート」ノ質問應答ノ趣旨ヲ讀ンデ見マシテモ、納得ガ行カナイ、成程大體ニ於テ所得稅ハ源泉課稅デカラ取リニクイト云フコトハ私共分ル、ケレドモ居住スル其ノ人間ノ懷口ニ入ル金ハ、假ニ源泉課稅デアラウトモ、綜合課稅デアラウトモ、其ノ居住スル人ニ對スル收入ハハツキリ分ル、人ヲ本位ニシテ、サウシテ地方團體ニ於テ所得稅ニ對シテモ、或ル程度ノ附加稅ノ課稅ヲ認メルコトガ、本當ニ負擔ノ衡平ヲ得ル所ヲ以デハナカラウカ、此ノ前モ西川君カラ此ノ點ニ付テ御質問ガアツタノデスガ、ソレハ數ハ極カ僅カデセウ、家屋モ持タズ、動產モ持タザル多額ノ收入ヲ得テ居ル地方人ハ、數ニ於テハ極カ僅カデゴザイマセウ、從業シテ居ルヤウナ者ニ限ラレテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、數ハ少カラウト思ヒマスケレドモ、看逃スコトノ出來ナイ財源ダト思ハレル、又眞ニ負擔ノ均衡ト云フ點カラ考ヘルト、原則ガ源泉課稅デ、課稅技術ノ上ニ於テ困難ガアルカラ避ケルト云フダケトハドウカト思ハレルノデアリマス、勿論今回ノ所得稅ノ稅率ハ相當高額デアリマスカラ、此ノ高額ノ上ニ附加稅ヲ認メルコトニナルト、相當負擔ノ重壓ヲ感ズルコトニナリマスケレドモ、ソレ等ノ點ハ所謂稅率ニ於テ加減ヲシテ、サウシテヤハリ所得稅ニ對シテモ或ル程度ノ附加稅ヲ認メルコトノ方ガ地方團體ニ於ケル稅源ノ彈力性ガヨ

リ強化セラレルモノト思ハレル、デアリマスカラ單純ニ課稅技術ノ困難ナ爲ニ、所得稅ノ附加稅ガ課セラレナイト云フ程度ノ御説明ナラバ承ラヌデモ宜シウゴザイマス、何カソレ以外ニ斯ウ云フ事情ダカラ所得稅ニハ附加稅ヲ認メナイノダト云フ御所見ガアリマシタラ承リタイ

○挾間政府委員 御尤モナ御質問デゴザイマシテ、地方負擔ニ所得稅附加稅ガナイト云フコトニ付テノ御疑念ニ付キマシテハ、稅制改正案ヲ作りマス際ニモ各方面ヨリ研究ヲ致シタ結果、斯ウ云フ稅制ヲ立テタノデアリマスガ、此ノ稅制改正案ヲ立テマスルニ付テ、稅制調査會ニ諮問致シマシタ際ニ、稅制調査會ニ於キマシテモ地方ノ負擔ニ所得稅附加稅ヲ置キ、勤勞所得者、配當利子ノ所得等ニ對スル地方課稅ヲモツト爲スベキデアルト云フ議論ガゴザイマシタ、其ノ際ニモ當局トシテハ、實ハ此ノ所得稅附加稅ヲ廢止スルト云フコトガ今回ノ稅制改正ニ於テノ非常ニ大キナ眼目デアルト云フコトヲ縷申述べタ譯デアリマス、只今御述ニナリマシタ所得稅ノ附加稅ニ付テハ、今回ノ稅制改正ニ依ツテ分類所得稅ハ一應源泉課稅ニナル、隨テ課稅技術上之ヲ地方稅トシテ課稅スルコトガ困難デアルト云フ點モ一ツノ技術的ノ理由デアリマシタガ、ソレヨリモ地方ニ於ケル所得稅附加稅ヲ廢止致シマシタ根本的ノ理由ト致シマシテ、而モ最モ大キナル理由ト致シマシテハ、稅源ガ地域的ニ極メテ偏在シテ居ルト云フコトデアリマス、現在ノ稅制ノ下デ各地方團體ヲ眺メテ見マス、非常ニ貧弱ナル團體ガアツテ財政經理ガ出來ナクナツテ居ル、之ヲ戶數割ノ非常ナ過重ナ賦課ニ依ツテ漸

ク切盛ラシテ居ルト云フヤウナ團體ガ澤山アルカト思ヒマス、又一面ニ於テハ實ニアリ餘ル程ノ財源ヲ得テ居ルト云フヤウナ團體ガアル譯デアリマス、其ノ原因ハ何處ニアルカト申シマス、畢竟所得稅附加稅ト云フモノハ、所謂所得稅ガ人稅的ノモノデアリマシテ、所得ノ根源ト云フモノガ一地方團體ニ存在セズ、廣ク所得ノ原因ガアツデアル爲ニ、其ノ土地ニ於ケル附加稅ト云フモノハ非常ニ多額ニナル、詰リ所得稅附加稅ヲ地方稅トシテ認メマスコトハ、地

域的ノ財政ノ不均衡ト云フモノヲ益、顯著ニスルト云フコトガ非常ナ缺點ナノデゴザイマス、今回ノ國稅ノ改正ニ依リマシテ所得稅ガ體系ヲ改メラレ、更ニ増徴セラレル結果トシマシテ、此ノ財源ノ地域的偏在ト云フコトガ益、顯著ニナツテ參ルノデアリマス、ソコデソレニ對シテ從來通り所得稅附加稅ヲ認ムルコトニ致シマス、地方財源ノ偏在ト云フコトハドウシテモ救済スルコトガ出來ナイト云フコトニナル譯デアリマス、サウ云フ理由デ地方團體ガ直接ニ課稅スル所ノ所得稅附加稅ノ制度ハ、今回ノ稅制改正ニ於テハ廢止ヲシタノデアリマスガ、併シナガラ地方ノ負擔ト云フコトガ從來ノ所得稅納稅者ニ對シテ零ニナルト云フコトハ適當デナイト思フノデ、ソレニ代ルベキ制度ト致シマシテハ、分與稅制ニ於キマシテ分與稅ノ財源ヲ所得稅、法人稅ニ求ムルト云フ形ヲ採ツタ譯デアリマス、即チ分與稅ノ稅源ハ所得稅、法人稅其ノ他ノ稅モアリマスガ、要スルニ形ガ變ツテ所得稅ヲ納メル者ガ同時ニ地方ノ負擔モスル、唯ソレガ地域的ニ其ノ儘ニ顯現シナイト云フコトニナル

ノデアリマスガ、間接ノ形ニ於テハ地方負擔ヲ分任シテ居ルト云フ所ガ、分與稅制ノ財源ノ關係ニ於テ十分ニ現ハレテ居ル譯デアリマス、尙ホ同様ナ意味ヲ以テマシテ市町村ニ於キマシテハ市町村民稅ト云フモノヲ創設シタ次第デアリマス

○山本委員 只今地方局長カラノ御説明ハ私モ實ハソレハ能ク承知シテ居ルノデアリマス、唯私ノ感シテ申上ゲマス、成程所得稅ト云フモノハ地域的ニ偏在シテ居ル、其ノ地域的ニ偏在シテ居ル所得稅ヲ基本ニシテ、ソレニ附加稅ヲ課セルノデアリカラ、又所得稅附加稅收入モ偏在スルコトハ當然デアアル、ソレヲ其ノ儘地方團體ガ稅收入トシテ收入スルノデアリマスカラ、ソレガ偏在シテ或ル地方ニ於テハ惠マレ、然ラザル地方ニ於テハ惠マレナイコトハ當然デアリマス、ソレダカラト云ツテモソレガ直チニ未ダ所得稅ヲ廢止スル理由ニハナラヌト思フ、意見ノ相違デアリマスカラ是以上理窟ハ言ヒマセヌガ、唯私ハサウ云フコトニナルト思フケレドモ、サウ云フ稅收入ノ偏在ハ、所謂分與稅ノ規定ニ依ツテサウ云フ所得稅附加稅ノ莫大ナ收入ノアル地方ニハ、分與稅其ノモノヲ極度ニ局限スレバ宜シ、其ノ餘ツテ居ル部分ヨリ多ク貧弱地方團體ニ分與スレバ、却テ其ノ方ガ本當ノ負擔ノ均衡ヲ得ラレルノデハナカラウカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ理論的鬭爭ニナリマスノデ、答辯ヲ求メズニ此ノ程度ニ止メテ置キマス

次ニ大臣ガ居ラレナイカラ地方局長ニ事務當局トシテノ御信念ヲ承リタイノデスガ、內務大臣ガ居ラス方ガ率直簡明ニ御答辯ガ出來ルト思ヒマシテ、御歸リニナルノヲ待ツ

テ居ツタノデアリマス、ソレハ先程ノ地方團體ノ中央金庫制ニ付キマシテ、政治的デナシニ、事務當局トシテ大藏當局ト何カ今日マデ交渉ナリ打合せナリ下相談ヲシタ事實ガゴザイマセウカ

○挾間政府委員 地方團體中央金庫ノ制度ハ事務當局トシテハ非常ニ熱望シテ居ル制度デアリマス、先程御舉ゲニナリマシタヤウナ貧弱ナル團體ニ、早く又自由ニ起債ガ出來テ、財政經理ノ敏速圓滑ヲ期スルト云フ點カラ、ドウシテモ是ハ産業組合中央金庫ノ如ク設ケタイト云フ希望ヲ持ツテ、今回ノ稅制改正案ヲ立テマス際ニモ、是ハ大キナ一項目トシテ——詰リ稅制上ニ彈力性ヲ持タセルモノトシテハ、三收益稅ノ賦課率ノ伸縮性、又財政的ノ措置トシテハ地方團體中央金庫制ト云フノデ、事務當局ト致シマシテハ相互ニ意見ノ交換ヲシタノデアリマス、相當折衝致シマシタケレドモ、色色ノ關係ガアリマシテ、今回此ノ稅制改正案ヲ立案致シマスマデニハ、成案ヲ得テ兩當局ノ議ガ熱スルニ至ラナカツタノデアリマシテ、內務當局トシテハ熱心ニ之ヲ主張シ折衝シタノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○山本委員 率直ナ御答辯ヲ得マシタガ、尙ホ一ツ諄イヤウデスガ、大藏當局ガ財政上ノ見地カラ反對ヲセラレテ居ル爲ニ、內務省側トシテ非常ニ熱望セラレテ居ルニモ拘ラズ、成案ヲ得ルニ至ラナカツタト云フコトニナルノデスカ、ソレトモ大藏當局モ大體ニ於テ贊意ヲ表シテ居ルケレドモ、色色ノ調査、研究、運營ノ方法等ニ付テ、未ダ成案ヲ得ルニ至ラナカツタ爲ニ、今議會ニ御提案ニナラレナカツタト云フ風ニ承ツ

テ宜イデスカ、諄イヤウデスガモウ一遍ハ
ツキリ御伺シタイト思ヒマス

○**狹間政府委員** 内務省ガ希望シ、大藏省
ガ之ヲ拒否シタト云フノデハナイノデアリ
マス、折衝シテ議ガ熟サナカッタト云フノ
デアリマシテ、大藏省ノ意向ハ此處デ何ト
モ申上ガ兼ネマスガ、是非ハ非常ニ大切ナ制
度デアルト云フノデ、熱心ニ研究シ、其ノ
實現ノ速カナランコトヲ期待シツツ努力シ
テ居ルノデアリマス

○**山本委員** 其ノ點ハ諒承致シマシタ、次ニ
細カイ問題デスガ、市町村ニ於キマシテ從
來課税シツツアツタモノデ、而モ府縣稅ト
シテ第四十八條カニ掲ゲテ居ル獨立稅デア
ツテ賦課シテ居ラナイ、是ハ第四十八條デ
獨立稅トシテ賦課シテ居ラナイモノハ適宜
市町村ガ課税スルコトガ出來ルヤウナ規定
ニナツテ居ルヤウデスガ、然ラザルモノ、
即チ新シイ稅目ヲ起シ、新シイ課税ヲシヨ
ウト云フヤウナ時ニハ、内務、大藏兩當局
ノ認可ヲ得テ新シイ稅種ヲ起スコトガ出來
ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ
新シイ課税方法、之ニ對シテハ内務當局ト
シテハ、地方町村カラ斯ウ云フモノニ斯ウ云
フ課税ヲシタイト云フ申請ガアツタ場合ニ、
其ノ標準ト云ヒマスガ、内規ト云ヒマス
カ、心構ヘト云ヒマスガ、斯ウ云フ程度ノ
モノヲ斯ウ云フ標準ニ當嵌ツタモノハ許可
ヲスルノダ、サウデイナモノハ許可シナイ
ノダト云フヤウナ、何カ其處ニ基準トデモ
ナルベキヤウナ具體的ナ御方針ガアリマス
レバ、ソレヲ此ノ機會ニ明ニシテ置クコト
ガ必要ト存ジマスノデ、御答辯ヲ得タイノ
デアリマス

○**狹間政府委員** ドウ云フ稅ヲ許スカト云

フコトヲ此處デ具體的ニ申上ゲルコトハ困
難デゴザイマスガ、一般ノ方針トシテ申シ
マスルト、從來特別稅ハ成ベク許サナイ方
針デ進ンデ來テ居ツタノデアリマスガ、今
同ノ稅制改正ノ機會ニ、稅トシテ適當ナモ
ノデアレバ寧ロ之ヲ許可致シタイト云フ風
ニ方針變ヘテ新稅ノ規定ヲ致シテ見タイ
ト思フノデアリマス、サウシテ其ノ稅ヲ許
可スル場合ニ付キマシテハ、其ノ稅ガ負擔
ノ關係ニ於テ適當ナモノデアリ、又課税客
體ノ押ヘ方ニ於テ無理ノナイモノデアアル場
合、又其ノ賦課スル額ガ適當ナルモノデア
レバ、只今申上ゲマシタヤウナ方針ヲ以テ
許可致シタイト思ヒマス、是デヨク問題ニ
ナルノハ土地増價稅トカ、或ハ庭園稅トカ、
閑地稅、又廣告稅ト云フヤウナモノデアリ
マスガ、斯ウ云フ稅種ニ付キマシテモ、從
來ハ大體消極的ノ態度ヲ執ツテ居リマシタ
ケレドモ、適切ナ方法ヲ以テ課税スルト云
フコトニナリマスレバ、是ハ十分其ノ眼ヲ
以テ許可ヲスルヤウニ進ンデ行キタイト考
ヘテ居リマス

○**山本委員** モウ一ツ最後ニ承ツテ置キタ
イノデスガ、此ノ市町村民稅 賦課方法ハ
市町村條例デ決メラレコトニナツテ居リ
マスガ、認可權ハ各地方團體ノ府縣知事ガ
握ツテ居ルヤウデアリマス、各府縣知事ガ
市町村民稅ノ所謂賦課方法ニ付テノ條例ヲ
決メテ、ソレヲ認可申請シテ來タ時ニ、地
方長官ハ之ヲ自由意思ニ基イテ認可スルコ
トニナルダラウト思ヒマスガ、大體地方長
官ニ任セテ置イテ宜シイノデスカ、ソレト
モ内務省カラ斯ウ云フ標準ヲ置イテ、其ノ
標準ノ下ニ大體調査ヲシテ認可スベキデア
ルト云フヤウナ監督ノ方法ヲナサレノデ

スカ、尤モ全然監督ヲセズニ、ソレハ地方
長官ニ任セテ置ク御方針ナンデスカ、其ノ
點ヲ承リタイ

○**狹間政府委員** 此ノ市町村民稅ニ付キマ
シテハ委員會デ度々申上ゲマシタヤウニ、
法律ト致シマシテモ大體大キナ基準ヲ示ス
程度ニ止メ、ソレカラ市町村條例ノ許可ヲ
致シマス際ニモ、成ベク細カイコトハコチ
ラデ言ハナイ積リデ居リマス、併シ何レニ
致シマシテモ初メテノ稅デゴザイマスシ、
或ル程度必要ナル事項ニ付テ指示ヲシテ置
ク必要モアルカト思ヒマス、サウ云フ點ニ
付キマシテハ一般的ニ此ノ制度ヲ始メマス
際ニ指示ヲスル積リデアリマスガ、其ノ外
ハ成ベク地方ノ實情ニ應ジタ制度ニサセル
ト云フ意味デ、細カイ指示ハ致サナイ考デ
アリマス

○**山本委員** 私ノ質問ハ大體此ノ程度ニ致
シマシテ、若シ關聯事項ガアリマシタナラ
バ御尋致シタイト思ヒマスカラ、其ノ點ノ
御許ヲ願フコトヲ留保致シマシテ、私ノ質問
ハ是デ打切りマス

○**小山委員長** 山本君、大臣ニ對スル御質
問ハアリマセヌカ

○**山本委員** 内務大臣ニハゴザイマセヌ
カ

○**小山委員長** ソレデハ上田孝吉君

○**上田委員** 私ハ先ヅ今回ノ地方稅ヲ改正
サレタル其ノ理由デアリマスガ、ソレハ此
處ニ「國民負擔ノ均衡化及地方團體財政ノ
基礎ノ確立ヲ期スル」ト共ニ地方稅制ノ簡易
化ヲ圖ル爲、新ニ地方稅法ヲ制定スルノ必
要アリ、是レ本案ヲ提出スル所以ナリ」ト斯
ウアル譯デアリマス、ソコデ先ヅ御聽シタ
イノハ、地方自治團體ノ財政ニ付テハ、ヤ
ハリ其ノ地方々々ノ自治團體トシテノ特異

性ヲ認メテ、以テ其ノ自治ノ根本精神ヲ徹
底シテ行クト云フコトガ、是ガ自治團體ト
云フモノノ精神デアラウ、又同時ニ其ノ財
政モソコニ基本ヲ置イテ行カナケレバナラ
スト思フノデアリマスルガ、先ヅ此ノ地方
稅制ノ改正ノ理由ヲ見マスルト、「國民負擔
ノ均衡化及地方團體財政ノ基礎ノ確立ヲ期
スル」ト斯ウアリマスガ、是ハ矛盾スルコト
ニナリハシマセヌカ、國民負擔ノ均衡化ト
云フコトハ、他ニ適當ナル負擔ノ均衡化ヲ
御圖リニナル方法ガアル、地方團體ノ財政
ノ基礎ヲ確立スルニハ、ドウシテモヤハリ
地方稅ノ改正ニ依ツテ尙ホ徹底シ得ナイ、
其ノ財政上此ノ稅法ガ惡イト云フコトデア
レバ之ヲ改正スルト云フノデ、地方稅ノ改
正ヲナサルト云フノガ適當デアラウト思フ
ノデアリマスガ、茲ニ相矛盾スルヤウナ如キ
感ヲ與ヘルモノヲ二ツ並ベテ以テ理由トサ
レテ居ルノハドウ云フ譯デアアルカト云フ二
點デス

○**狹間政府委員** 此ノ提案理由ト申シマス
カ、地方稅制ノ根本問題ニ付テノ御尋デゴ
ザイマシテ、是ハ方針ニ關スル問題デアリ
マスカラ、或ハ大臣ガ直接御答申上ゲルノ
ガ適當カト存ジマスガ私ヨリ只今御尋ノ二
點ニ付テ御答申上ゲマス、元來地方自治
ヲ認メテ居リマスカラ稅制ニ限ラズ、凡
ソ地方自治制度ニ付キマシテハ成ベク地
方團體ノ特異性ヲ十分發揮セシメルヤウ
ニスルコトガ、制度ノ本旨デアラウト思
ヒマス、今回ノ稅制ニ於キマシテモ、ヤ
ハリ吾々ト致シマシテハ、地方團體ガ其
ノ獨自ノ立場ニ於テ自治ヲ運營スルコト
ガ出來ルヤウニスルコトガ必要デアルト
思フノデアリマシテ、其ノ點ニ於キマシ

テハ、御述ニナリマシタ點ト全ク同感デゴザイマス、唯茲ニ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスコトハ、今回ノ稅制ガ、動モスレバ地方團體ノ特性ヲ沒却シテ、中央集權的ニ自治ヲ平均化シテシマフト云フ方ニ考ヘラレ易イノデゴザイマスガ、實ハ今回ノ稅制ノ狙ツテ居リマス點ハ、此ノ稅制ニ依ツテ眞ニ地方自治ガ十分伸暢スルヤウニ致シタイ、サウ云フ根本方針ノ下ニ立テタノデアリマス、尙ホ分與稅制ガ出來テ參リマシタノデ、其ノ程度ニ於キマシテハ、或ハ地方財源ト云フ問題ニ付キマシテ、或ハ意味ニ於テノ國家的ノ力ガ自治財政ノ上ニ加ハルト云フ見方モ出ルカト思ヒマスケレドモ、是ハ單ニ方法ニ過ギナイノデアリマシテ、財源ノ問題ト致シマシテハ、決シテ中央集權ト云フ考ヲ以テ作ツタモノデハナイノデアリマス、今日ノ財政經濟、社會經濟ノ事情ノ下ニ於キマシテハ、各種ノ手段ヲ考ヘマシテモ、此ノ手段以外ニハ適當ナ方法ガ無イト云フ研究ノ結果、斯ウ云フ制度ヲ立テタ譯デアリマス、併シナガラ同時ニ分與稅制ガ出來マスガ、是ハ十億三千二百萬圓ノ中ノ三億數千萬圓程度デゴザイマシテ、残りノ六割六七分ハ各地方團體ノ獨立ノ財源ト云フモノガ儼トシテ存在致シテ居リマス、六億數千萬圓ト云フ財源ハ、全ク地方團體ノ獨自ノ立場ニ於テ其ノ財源ヲ取得スルコトガ出來ル譯デアリマシテ、分與稅制ハ謂ハバ地方財政ノ基礎ヲ固メル最小限度ノ必要ヲ、其ノ下積トナツテ滿タシテヤルト云フモノデアリマシテ、其ノ上ノ六億六七千萬圓ト云フモノハ、地方團體各、其ノ特異ナル立場ニ於テ自治運轉ヲ爲シ得ル財源トシテ認メラレテ居ル譯デアリマ

スノデ、其ノ意味ニ於キマシテ地方自治ノ特性、地方團體各個ニ獨自ノ特色ヲ與ヘルト云フ點ニ付キマシテハ、十分考慮致シテ居ルノデアリマス、上田サンノ御話ノ點ニ付テハ同感デアルト共ニ、今回ノ稅制ガサウ云フ風ニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ提案理由ニ、國民負擔ノ均衡化ト地方團體財政ノ基礎ノ確立ト云フコトヲ掲ゲテ置キマシタガ、是ハ見方ニ依リマシテ矛盾トモ言ヘルト思ヒマスケレドモ、實ハ地方稅ガ斯ウ云フ兩方面ヲ持ツコトガ私ハ必要デアルト思フノデアリマス、地方稅ガ單ニ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトダケヲ目的トシタノデハ不十分デアリ、又財政ノコトダケヲ考ヘタノデハ、稅制トシテハ適當ダハナイノデアリマス、地方稅制ト云フモノガソレ自身常ニ楯ノ兩面ノ如ク、此ノ二ツヲ睨ミ合セマシテ、其ノ兩者ノ均衡調和ヲ圖ツテ打立テラレルト云フ所ニ、地方稅制ノ眞ノ意味ガアルト思フノデアリマシテ、斯ウ云フ理想ノ下ニ今回ノ稅制ヲ作りマシタノデ、一見矛盾スル主張ノ如ク見エマスガ、元來稅制ト云フモノハ斯ウ云フ方針ヲ進ム方ガ宜シイノデアルト思ヒマス、御述ベニナリマシタ他ノ方面ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ問題モ、是ハ別個ノ問題トシテ考慮スレバ宜イト思ヒマス、又財政ノ確立ノ爲ニ考慮スベキ、例ヘバ負擔區分ノ問題トカ云フヤウナコトモ、更ニ別ノ問題トシテ並行的ニ考慮スル必要ガアルト思ヒマスガ、地方稅制トシテ斯ウ云フコトガ楯ノ兩面デアルト云フ風ニ吾々ハ考ヘテ居リマス

○上田委員 只今ノ御答辯ハ大分私ト意見

ノ違フ點ハアリマスケレドモ、意見ノ違フ問題ハ問題トシテ諸君置キマシテ、今ノ御答辯ニ依ツテモ、決シテ中央集權ニ依ル意味デハナクシテ、何處マデモヤハリ地方自治團體ノ特性ヲ認メテヤツテ行クノダト云フコトデアリマスガ、稅制ノ簡易化ヲ圖ル上ニ於テノ問題ハ又別問題デス、其ノ意味デ私ハ聽クノデハナイノデスガ、サウ云フ中央集權ヲ圖ルノデハナイ、地方自治團體ノ特性ヲ何處マデモ認メテ行クト云フナラバ、還付稅ノヤウナモノハ、是ハ一旦取上ゲテ又戻ス、デアリマスカラ中央集權ノ性質ヲ備ヘナケレバ、サウ云フヤリ方ハ斷ジテ出來ナイト思フ、繰返シテ申シマスガ、簡易化ト云フ爲ニヤルノダト云フ意見ナラバ、是ハ別問題、ソレガ宜イカ惡イカト云フコトハ又別ニ論ジナケレバナラスモノデアリマス、デアリマスカラ簡易化ト云フコトヲ除イテ考ヘテ見タ場合ニ於テハ、還付稅ノ如キ問題ハ何ト御辯解ニナツテモ、ヤハリ是ハ所謂地方自治團體ト云フモノノ本質ヲ中央集權化スルト云フヤリ方ノ爲ニオヤリニナツテ居ルモノト思ハザルヲ得ナイヤウニ思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何ナモノデセウカ

○狹間政府委員 成程サウ云フ風ナ見方モアルカト思ヒマシタケレドモ、吾々ノ考ヘテ居リマス點ハ全クサウデナイノデアリマスカラ、此ノ機會ニ明瞭ニ致シテ置キタイト思ヒマス、實ハ地租、家屋稅、營業稅ト云フヤウナモノハ、之ヲ一部國稅ニ殘スカ、或ハ全部地方稅ノ獨立稅トシテシマフカト云フ問題ハ、御存ジノ通り特ニ地租ニ付キマシテハ、地租委讓ト云フノデ多年論議セラレテ居ツタ問題デアリマシテ、今回ノ稅制ヲ

立テマス際ニモ、此ノ點ハ永ク研究ヲ致シタ問題ナノデアリマス、其ノ結論ト致シマシテ、吾々ハ課稅ヲ致シマス方法トシテハ、一部國稅ニ殘スコトガ適當デアルト云フ結論ニ到達シタノデアリマス、其ノ理由ハ、第一ハ負擔ノ均衡ノ問題、之ヲ地方ノ獨立稅ト致シテ置キマス、現在家屋稅ガ各府縣ニ於テ負擔ガ非常ニ不均衡デアリマス、是ハ課稅標準ノ決定ガ區々ニナツテ居リマスカラ、非常ニ不均衡デ、同ジ價值ノ賃賃價格アル家屋ニ付キマシテモ、各府縣ノ決定ガ區々ニナツテ居リマス、之ヲ地方ノ自由ニ委シテ置キマス、今回ハ是ガ分與稅ノ分與ノ基準トモナリマスカラ、賃賃價格ト云フモノハ非常ニ不均衡ニナツテ來テ、二重ニ不均衡ヲ重ネルコトニナツテ參リマス、サウ云フ點カラ申シマス、是ハ國ニ於テ全體の統一シタ調査ヲスルコトガ、負擔ノ衡平ヲ期スル上カラ見テ一番適當デアラウト云フノデ、還付稅トシテ殘シマシタノハ、畢竟是ハ中央ニ取上ゲルト云フヤウナ意味デハナイノデアリマシテ、地方負擔ノ均衡ナラシメルト云フ點カラ、課稅ヲスル形トシテハ國稅ニ一部分ヲ殘サナケレバナラス、併シナガラ財源トシテハ、是ハ收益稅デゴザイマスカラ、地域的ニ大體ハツキリト其ノ課稅客體ト云フモノヲ捕捉スルコトガ出來マスカラ、斯ウ云フモノハ地方稅タルコトガ本則デアアル、地方財源トシテ適當ナモノデアルト云フノデ、全部はハ地方ノ獨立財源ニ致シタノデアリマス、其ノ外ニ之ヲ一部國稅ニ殘シマシタノハ、國ガ是等ノ稅ニ付キマシテ社會政策的ノ施設ヲ講ジマス場合ニ於テ、減免ヲスルノニ地方團體ニ任セテ置クヨリモ極メテ樂ニ參リマス點

モゴザイマス、其ノ外マア税ノ沿革ト云フヤウナコトモゴザイマスカラ、一部分國稅トシテ殘ス、財源トシテハ之ヲ地方ニ全部與ヘルト云フノデ、斯ウ云フ形態ヲ採リマシタノデ、決シテ中央ニ取上グル、中央集權ト云フコトガ本旨ニナツテ出來タモノデハナイ譯デアリマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○上田委員 條文ニ互ツテ質問シテ宜シウゴザイマスカ

○小山委員長 宜シウゴザイマス

○上田委員 ソレデハボンノ主ナル點二三ヲ——只今ノ御答辯デ尙ホ私ノ意見ト違フ所モアリマスケレドモ、其ノ點ニ付テハ此ノ程度デ止シマス、ソコデ地方分與稅法案ノ第十條デアリマスガ、之ニ道府縣ノ配付稅ハ配付稅總額ノ百分ノ六十二、市町村配付稅ハ配付稅總額ノ百分ノ三十八、斯ウナツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニ率ヲ分ケラレタ根據ハ何處ニアルノデセウカ

○挾間政府委員 此ノ府縣ノ配付稅ト市町村ノ配付稅トノ率ガ違ツテ居リマスノハ、府縣市町村ニ必要ナル財源ヲ與ヘマス計數ノ結果斯ウ云フヤウニナツタノデアリマシテ、詰リ昭和十五年度ニ於テ、現行ノ稅制ノ下ニ於テドレダケノ稅收入ガアルデアラウカト云フコトヲ先ヅ測定ヲ致シマシタ結果、十億三千二百萬圓ト云フコトニナル、ソレガ道府縣分ト市町村分ニナリマスガ、ソコデ今回ノ稅制改正ニ依ツテ三收益稅ノ附加稅、ソレカラ府縣ノ獨立稅、ソレカラ還付稅、之ヲ加ヘマシタモノヲ現行制度ニ依ル府縣ノ稅總額カラ控除致シマス、ソレヲ市町村ノ方デ申シマス、ヤハリ三收益稅ノ附加稅、市町村民稅、其ノ他ノ獨立

稅、府縣稅ノ附加稅、斯ウ云フモノノ總額ヲ現行法ニ依ル稅總額カラ控除致シマシタ額、是ガ結局配付稅トシテ與ヘラレバ宜イ譯デアリマス、其ノ比率ガ百分ノ六十二ヨリ少シ多イノデスガ、斯ウ云フ率ニナル譯デアリマス、ソレデ六十二ト三十八ニ致シテ居リマスルガ、實ハ市町村ハ團體ノ數モ多イコトデアリマスシ、財政ノ事情モ千差萬別デアリマス、市町村分ガ約二千萬圓バカリ増額シテアル譯デアリマス、市町村ガ何故少イカト云フコトハ、極ク大雜把ニ申シマスルト、義務教育俸給費ノ國庫負擔金ノ如キ、府縣ニ移リマシタモノハ非常ニ市町村ノ財源トシテ輕クナル、斯ウ云フヤウナ結果ガ、斯ウ云フ所ノ率ニモ影響シテ居ル譯デアリマス

○上田委員 一寸算盤ヲ取ツテ見スト只今ノ御答辯ノ通りニ比率ガナルカドウカ分リマセヌガ、併シナガラ只今言ハレルヤウナコトデハ少シ實際ニ當ツテ居ラスノデナイカ、斯ウ思ハレル點ガアルノデスガ、大體カラ言ヘバ今度ノ地方稅ノ增收ハ三億五千萬圓、ソレニ對シテ教員給ガ今御答辯ニアリマシタガ大體九千五百萬圓、ソレカラ所得稅ノ附加稅ヲ今度取ラナクナルノデアリマスカラ、其ノ埋合セノ分ガ一億圓、ソレデ二千萬圓ガ警察費ノ國庫負擔ノ増加ニ依ツテ府縣ガソレダケ利益ニナツテ來ル、ト云フコトニナルト、ソレヲ三億五千萬圓ニ比ベルト約半分ニナルノデアリマスルカラ、隨テ府縣ト市町村ノ此ノ比率ハ大體ノ基準ハ半分ニナラナケレバナラヌヤウニ私ハ目安ガ付クヤウニ思フガドウデス

○挾間政府委員 是ハ數字ニ付テ申上ゲタ方ガ明瞭デアルト思ヒマスカラ、數字ヲ一寸御話申上ゲタイト思ヒマス

○三好政府委員 只今御話ニナリマシタ數字ノ問題デゴザイマスガ、サウ云フ負擔區分ノ改正ハ局部的ナ問題デゴザイマセヌデ、全體ノ數字ニ付テ算盤ノ問題デゴザイマス、昭和十五年度ニ道府縣分、市町村分ノ稅收入ノ數字ガ幾ラニナルノデアアルカト云フ見込額デゴザイマスガ、昭和十三年度ノ測定額ヲ基本ニ計算ヲ致シマシテ、ソレニ只今仰セノ負擔區分ノ改正ニ依ル増減ヲ差引ヲシ、ソレカラ稅制改正ニ依ル徵稅費ノ不用額ト云ツタヤウナモノヲ差引致シマシタ結果ガ、道府縣分ニ付テハ五億一千四百萬圓、市町村分ニ付テハ四億七千五百萬圓、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、所ガ改正後ノ稅收入ノ見込ガ附加稅及ビ獨立稅ニ於キマシテ道府縣分ハ一億六千五百萬圓、市町村分ハ三億七千二百萬圓アリマス、其ノ他ニ道府縣分ニ付テハ一億二千五百萬圓ト云フ還付稅デゴザイマス、ソコデ市町村ノ附加稅獨立稅ニ當ル收入ハ、道府縣分ニ付テハ二億九千萬圓ニナル、市町村分ハ三億七千二百萬圓ニナル譯デアリマス、其ノ總額ニ配付稅ヲ持ツテ行ク譯デアリマスガ、只今局長ノ御話ガゴザイマシタヤウニ、市町村ノ事情ヲ考慮致シマシテ、約二千萬圓ヲ道府縣分カラ市町村分ニ配付稅ニ於テ委譲致シマスト、配付稅ノ額ガ道府縣分ハ二億三百万圓、市町村分ガ一億二千四百萬圓トナルノデアリマス、合計致シマスト道府縣ノ改正後ノ稅收入ハ四億九千三百萬圓、市町村ハ四億九千六百萬圓、斯ウ云フ風ニナルノデアリマシテ、此ノ配付稅道府縣分二億三百万圓、市町村分一億二千四百萬圓ヲ總額ノ三億二千七百萬圓ニ付テ割振リヲ致シマ

スト六十二ト三十八、斯ウ云フ數字ニナル譯デアリマス

○上田委員 只今ノ其ノ數字ノ問題ハ其ノ通り承ツテ置キマシテ、後デ私モ一遍算盤ヲ當ツテ見タ上デ質問スルコトニシテ保留シテ置キマス

次デ御聽ヲ致シタイノハ五十六條デアリマスガ、第五十六條ニ依リマスルト、詰リ大都市、都市、町村ノ各「ブロック」別ニ配付稅ノ總額ヲ決定シタルモノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ配付稅ヲ決定シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ既ニ二十條ニ入リマスカ、二十條ニ於テ一應此ノ「ブロック」ニ依ル配付稅ト云フモノヲ決メテ居ル譯デアリマス、ソレヲ更ニ五十六條ニ來テ、又昭和十五年度カラ十九年度マデ五箇年ニ互リマシテモウ一遍調節ヲシヨウ、斯ウ云フヤリ方ヲスル譯ニナルノデアリマス、デアリマスルガ、二十條ノ方ニ於テ既ニ基本ガ決ツテ居ル、ソレヲ過渡時代ト云フ意味デアリマセウガ、而モ此ノ五箇年ニ互ツテ五十六條ニ於テ更ニモウ一遍斯ウ云フコトニスル必要ガ何處ニアルカ、二十條ニ於テ既ニ各「ブロック」ニ於ケル配付ノ率ト云フモノガ斯ウ云フ風ニ決ツテ居ルノデアリマスナラバ、此ノ二十條デ以テ押通シテ然ルベキデハナイカ、更ニ之ヲモウ一遍五十六條デ二重ニ五箇年ニ互ツテヤラナケレバナラヌト云フコトハ、ドウ云フ理由デアアルカト云フコトヲ御聽スル譯デアリマス

○挾間政府委員 今回ノ稅制改正ハ地方稅全般ニ付テノ根本的ノ改正ヲスルコトニナツテ居リマスノデ、各團體ノ負擔ニ非常ナ激變ガ來ルト云フコトハ、是ハ避ケナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ大都市ノ問題デ

アリマスガ、殊ニ町村ナンカデ申シマス、著シク其ノ財源ガ擴大サレル所モアリマスシ、又或ル程度必要以上ニ減少シテ來ル團體モ生ジテ來ルと思ヒマス、斯ウ云フ團體ハ、成ベク過渡的ニ暫定的ノ經過措置ヲ講ジマシテ、負擔ノ激變ノ來ナイヤウニスルト云フコトガ、地方自治ノ上カラ見テ望マシイコトデアルト考ヘマス、五箇年ヲ限ツテ斯ウ云フ遞増スル率ニ於テ負擔ノ激増激減ノ緩和ヲスルコトニシタノデアリマス、是ハ從來地租ノ改正其ノ他ノ時ニ付キマシテモ、稅制改正ノ際ニハ大體五箇年トカ或ハ七箇年トカ云フヤウナ期間ヲ限リマシテ、經過的ニ負擔ノ激増激減ト云フヤウナコトヲ緩和スル措置ヲ講ジテ居ルノデアリマス、今回ノ稅制ニ於キマシテモ其ノ方針ニ依ツタノデアリマス

○上田委員 ソレハドウモ大都市カラ見マスト反對ニナリハセヌデセウカ、詰リ條文デ云ヘバ、難カシク率カラ來テ居ルカラ分ラヌノデスガ、簡單ニ申シマス、二十條ニ依ツテ各「ブロック」ニ於テハ其ノ半分ダケハ大都市ハ取ラナイ、サウシテ之ヲ外ニ廻ス、斯ウ云フコトニナツテ調節ヲスルコトニナリマスモノヲ、更ニ此ノ五十六條ニ依ツテ五箇年間ノ自然増收ト云フモノヲ又取上ゲテ、之ヲ外ニ廻ス、斯ウ云フコトガ實情デアルカラ、詰リ二十條ニ依ツテ大都市ノ分ニ付テハ半分ダケ取上ゲテ置イテ、又五箇年ノ間ハ更ニ之ヲ取上ゲル、斯ウ云フ風ナ結論ニナルデアツテ、局長ノ御答辯ト全然反對デハナイカと思フノデスガ、ソレハドウ云フ譯デセウカ

○挾間政府委員 是ハ大都市、都市、町村ノ「ブロック」ニ付キマシテモ、先程申上ゲ

マシタヤウニ各團體相互ノ間ニ於ケル負擔ノ激變ヲ緩和スル必要ガアルと思ヒマス、此ノ二十條ノ第一號第二號トノ關係ハ實際計數ニ當ツテ見ナイトハツキリト致サナイと思ヒマス、一面ニ於テハ此ノ標準單位口ヲ標準トシ、一面ニ於テハ此ノ標準單位稅額トノ差額ニ依ツテ配付スルコトニ致シテ居リマス、其ノ結果トシマシテ、大都市、都市、町村ノ三者ノ間ニ配分セラレル額ガ非常ニ過渡的ニ相違致シテ居リマス、其ノ「ブロック」内ニ於ケル團體ノ受ケル配付稅ニ非常ニ變動ガ參リマス、經過的ニ暫クノ間ハ是デ暫定的ノ激増激減ノ緩和ヲシテ置クコトガ稅制ノ建前カラ適當デアルト云フ考デ、五十六條以下ノ規定ヲ設ケタノデアリマス

○上田委員 是モ數字ニ互リマスカラ何デアリマスガ、私ハドウモ只今ノ局長ノ御答辯ノヤウダト云フト非常ニ反對ダと思ツテ居ルノデス、詰リ二十條デ一遍半分ダケ取上ゲテ置イタモノヲ、モウ一遍五十六條ニ依ツテ五箇年間ダケ取上ゲル、斯ウ云フコトニナルデアツテ、一時ニ激變スルコトヲ避ケル意味デヤツタノデアルト云フ御趣旨トハ非常ニ違ツテ來ルト思ヒマス、併シナガラ局長ノ方デ其ノ答辯ヲ尙ホ固執サレルヤウデアリマスレバ、私ノ方デハ何レ追テ數字ヲ作ツテ參リマシテ申上ゲマスガ、特ニ私ノ申上ゲルノハ、大都市ノ問題デアリマスカラ、其ノ點ハ御斷リシテ置キマスガ、大都市ノ問題ハ局長ノ只今ノ御答辯トハ正反對ニナル、所謂過渡的激變ヲ緩和シテヤルト云フコトニアラズシテ、二十條デ一遍取ツテ置イテ、五十六條デ又之ヲ取上ゲルト云フ結果ニナルノダト云フコトヲ、

今御分リニナレバ宜イガ、御分リニナラナケレバ數字ヲ調べテ來テ申上ゲルコトニシテ、此ノ程度デ保留シテ置キマス

○長野委員 今ノ五十六條ノ點デアリマスガ、是ハ今地方局長ノ御答辯ニ依リマスルト、急激ナル收入ノ變動ヲ防グ爲ト云フコトデアリマス、サウ致シマス、五箇年ト云フ長期ニ互ル經過規定ハ、少シ其ノ範圍ヲ越エテ居ルノデハナイカと思ヒマス、如何デアリマセウカ、結局ハ何ト申シマス、之ニ依ツテ地方ノ收入減ヲ救済スルコト云フ一ツノ方便デ、斯ウ云フ制度——今上田君ノ御述ニナリマシタヤウニ、二十條ニ依ツテ一旦融通性ヲ認メル制度ヲ御設ケニナツテ、更ニ此ノ五十六條ノ規定ニ依ツテ之ヲ打壞ハス、所謂自家撞著ニ陥ルヤウナコトニナルト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ニ付テモウ少シハツキリシタ御答辯ヲ得テ置キタイと思ヒマス

○挾間政府委員 先程申上ゲマシタ通り此ノ二十條ハ永久ニ斯ウ云フ風ニ三「ブロック」ニ分ケテ、サウシテ半額ハ人口、半額ハ擔稅力ト云フノデ、一應三「ブロック」ニ分配スルコト云フ規定デアル譯ナノデアリマス、之ニ依ツテ解決致シマシタ場合ニ、此ノ五十六條ノ各年度ニ付テ掲ゲテ居リマスヤウニ、非常ニ變動ノ激シイヤウナ團體ガ「ブロック」ガアリマス場合ニハ、其ノ「ブロック」カラ一部分控除シテ、サウシテ五十七條ニ於テ著シク減少ヲ來スヤウナ所ニソレヲ緩和的ニ加ヘル、斯ウ云フ方法ヲ講ジテ置キマセヌド、今度ハ「ブロック」内ノ各團體ノ受ケル配付稅ノ經過的ノ額ト云フモノガヤハリソレニ依ツテ影響ヲ受ケルコトニナリマス、ドウシテモ各「ブロック」

内ノ負擔ノ激變ヲ緩和致シマス爲ニハ、先ヅ其ノ本デアル三「ブロック」ニ付テノ異常ナ變更ヲ緩和スル措置ヲ講ジテ置カナケレバ適當デナイト考ヘマス、五十六條モ必要ト考ヘテ置イタノデアリマス

○長野委員 此ノ點ニ付キマシテモウ少シク意見ヲ交換シタイと思ヒマス、只今ハ關聯デアリマスカラ、私ノ番ノ時ニ質問ヲ申上ゲタイと思ヒマス

○上田委員 次ニモウ一ツ六十二條ノ點デスガ、六十二條ノ配付ノ點ト其ノ率デアリマス、大都市ニ於テハ斯ウ云フ率ニナツテ居リマス、大都市ノ自然増收ハ此ノ率ヨリモツト多イ關係ニナツテ參ルノデアリマス、隨テ例ヘバ昭和十五年度ノ百分ノ十ト云フノデハ少イデアツテ、之ヲ高率ニ倍位ニシナケレバイカスノデハナイカ、ズツト十宛殖ヤシテ行ク、毎年大都市ニ於キマシテハ斯ウ云フヤウニ百分ノ十トアルモノハ百分ノ二十五ト云フヤウナ率ニスル、之ニ伴フベキ財政ノ餘裕ガ大都市ニハアルコトニナツテ居ルノデアリマス、カラ、斯ウ云フ率ニシテ居ツタノデハ、大都市ノ財政ノ實際カラ見テ不都合ヲ生ズルノデハナイカと思ヒマス、其ノ點ハ如何デセウカ

○挾間政府委員 是ハ抽象的ニ意見ヲ交換シテモ、實際架空ナ問題ニナルと思ヒマスガ、第六十二條ハ各都市ニ付テノ收入ノ問題デアリマス、ソコデ十五年度カラ十九年度マデ斯ウ云フ風ニ一割乃至三割ト致シマシタノハ、非常ニ多額ノ自然増收ガアリマシテ、之ヲ超エル場合ヲドノ程度ニ押ヘレバ宜イカ、先ヅ各團體ノ經費ノ増加ノ割合ハ、從來ノ經過カラ見マス、六分乃至七分

ニナツテ居リマスカラ、初年度ニ於テハ一割、ソレカラ漸次一割五分、二割ト云フ風ニ増加シテ見テ行クノガ適當デアルト考ヘテ、此ノ率ヲ決メタノデアリマス

○上田委員 私ノ申シタノハ大體局長ノ御答辯ト内容ニ於テハ同ジコトナンデスガ、唯意見ノ違フ所ハ、所謂自然増収ノ増加率ト、實際要ルベキ費用ハ、局長ノ言ハレルヤウニ簡單ニ押ヘル譯ニハ行カナイノデハナイカ、ヤハリ自然増収ノアル都市ハ、ソレニ伴フベキ消費ヲ行ツテ居ルノデアルカラ、百分ノ十、十五ト云フ押ヘ方デハイカヌノデハナイカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデス

○揆間政府委員 ソレハ御話ノ各團體ニ於ケル事業ヲ抑ヘルコトハ困難デアルト思ヒマス、是ハ當初申上ゲマシタ通り、各團體ガ各、其ノ獨自ノ立場ニ於テ自活ヲ運營スルコトハ、十分認メテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ著シイ多額ノ經費ヲ要スル場合ニハ、ソレハ此ノ分與稅ノ制度ニ依ルヨリモ、他ノ獨立財源ノ課率ノ伸縮ト云フヤウナ方法ニ依リ、又都市計畫事業等ニ於キマシテハ目的稅ノ制度モアリマスシ、サウ云フ稅收ニ依ツテ賄フベキデハナイカト思ヒマス、今御心配ニナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、大體「ブロック」ニ付テ申シマスト、大都市ノ「ブロック」ハ改正前ノ稅收入ハ一億三千四百萬圓、之ヲ改正案ニ依ツテ見マスト、獨立財源ガ一億五千萬圓、配付稅ガ二千二百萬圓、計一億六千二百萬圓ノ稅收入ガアルヤウニナツテ居リマスカラ、從來ノ經營ヲ致シマス分ニハ、此ノ財源ヲ以テ十分賄ヘルト思フノデアリマス、更ニ積極的ニ大キナ事業ヲ行ル場合ニハ、今申シ

マシタヤウニ課率ノ伸縮トカ、或ハ認メラレタル目的稅ノ新規ノ擴張トカ云フコトニ依ツテ、經理ヲスルコトガ出來ルデアラウト考ヘマス

○上田委員 只今ノ局長ノ御答辯デ一通リハ分リマシタガ、唯私ノ考ヘル所ハ、ヤハリ自然増収ノ多イ自治體ハ、其ノ自然増収ニ依ツテ新規ノ事業ヲ考ヘテ行クヤリ方ガ相應シイデハナイカ、今ノ局長ノ御答辯ニ依レバ、外ニ獨立稅ヲ持ツテ居リ、稅收入ガアルノデアルカラ、ソレデヤツテ行ケバ宜イノデハナイカト云フコトデアリマス、勿論ドウシテモ其ノ事業ヲやらナケレバナラナイ、而モ其ノ率デ抑ヘラレテ居ルト云フコトデアレバ、サウ云フ方法ヲ講ジナケレバナラヌケレドモ、ヤリ方ノ建前トシテハ、自然増収ガ段々多クナツテ行ク自治團體ノ都市ハ、其ノ事業費モ亦自然増収ノ増加ト睨ミ合セテヤツテ行クト云フ方法ガ宜イノデハナイカト考ヘマスガ、ドウデセウカ

○揆間政府委員 無論御述ニナリマシタ通り自然増収ガ伸ビテ行キ、都市ノ自治施設ニ適應スルヤウニヤツテ行クノガ宜イト思ヒマス、今回ノ改正ニ於テモ遠キ將來ノコトハ別トシテ、營業稅ニハ相當ノ伸縮性モアル譯デアリマス、ソレカラ度々申上ゲルヤウニ制限外課稅ヲヤツテ居リマス、此ノ現狀ヲ其ノ儘今度ノ課率ニ加ヘテ居リマスカラ、今回ノ賦課率ヲモツト増シマスナラバ、現在制限ヲ致シテ居リマスヨリモ、ヨリ以上ニ財政上ノ收入ヲ得ルコトガ出來ル形ニナル譯デアリマス

○長野委員 一寸一言——今局長ノ御說明ニ依リマスト大都市ノ改正前ニ於ケル稅收入ノ總額ハ、一億三千四百萬圓ト云フコトデアリマスガ、サウデアリマスカ
○揆間政府委員 サウデゴザイマス
○長野委員 サウスルト一體ハ過年度收入ヲ含シテ居ルノカドウカト云フコトヲ御尋シタイ
○揆間政府委員 無論含シテ居リマス
○長野委員 サウスルト何時ノ年度ヲ押ヘテノ數字デゴザイマセウカ、此ノ點ヲ一ツ御說明ヲ願ヒタイ
○三好政府委員 昭和十三年度ノ調定濟額カラ致シテ居リマス
○長野委員 サウスルト今御話ノヤウニ昭和十三年度ノ決算ハ、六大都市ノ數字ノ發表ニ依ルト、一億二千四百萬圓トナツテ居リマス、併シ之ニハ其ノ他ニ約四千五百萬圓ノ過年度收入ガアル答ナノデアリマス、サウ致シマス少クトモ一億六千九百萬圓ト云フ數字ガ出テ來ナケレバナラヌト思ヒマス、一體此ノ點ニ付テハドウ云フ御取扱ニナツテ居リマスカ
○三好政府委員 勿論國費、地方費ノ負擔區分ノ是正等ノ經費ガ引イテゴザイマス、例ヘバ小學校教員ノ俸給ガ市デ拂ハナクテモ宜イコトニナツテ府縣ノ方ニ移リマスカラ、市ノ方デ引キマシテ府縣ノ方ニ出シテ來ル、其ノ差額ガ一億三千四百萬圓デス
○長野委員 ソレハ其ノ後ノ話デアリマス、今仰セニナツテ居ルノハ稅制改革前ノ六大都市ノ收入ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ稅制改革ノ根本基礎ヲ成ス所ノ現在ノ稅收入ノ金額ヲ現ハス上ニ付テハ、當然モウ少シ慎重ニ親切ニ私ハ御取扱ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、今ノ御話デハ教員給ハ市デ拂ハナ

クテモ宜イト云フコトデスガ、ソレハ現在ノコトデアリマス、過去ニ於テハドウデスカ、昭和十三年度ノ決算額トカ調定額ト云フモノハ、既ニソレヲ含シテ數字デアリマス

○三好政府委員 昭和十五年度ノ數字ニ比較スル爲ニ出シマシタ數字デアリマスカラ、昭和十五年度ニ減ルデアラウ數字ヲ上ゲマシタノデアリマシテ、此ノ案ガ成立シマスレバ昭和十五年度ニ於テハ教員給ハ府縣ノ方ニ移ルノデアリマスカラ、隨テ差引イテ比較シテアル譯デアリマス、若シ之ヲ差引カナイデコナラニ舉ゲルト、對照スルモノノ内容ガ違ツテ來マス、若シ御話ノ如ク改正前ノ稅收入ヲ引カナイデ舉ゲルト致シマスレバ、改正後ノ稅收入ニモ出シテ置カナイト比較ノ表ガ違ツタモノガ出マスカラ、比較ニナラナイノデアリマス
○長野委員 此ノ點モ私ノ番ノ時十分ニ意見ヲ申上ゲマス
○上田委員 尙ホ次ニハ六大都市ニ關シテデアリマスガ、六大都市所在ノ府縣ト、六大都市ノ地租、營業稅及ビ家屋稅ノ課率ノ配分デアリマスガ、是ハ四分六ニセラレルノガ宜イト私共ハ思ツテ居ルノデスガ、サウハナツテ居ラヌヤウニ思ヒマス、是ハ實際多ク申上ゲヌデモ御分リト思ヒマスガ、大都市ノ今日ノ財政事情カラ見マシテ、六大都市ヲ包含シテ居ル府縣ト六大都市ヲ、同ジ財政事情ニ御考ニナルコトニ間違ヒガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、ドウデセウカ
○揆間政府委員 只今ノ御尋ハ實ハ大都市ヲ包含シテ居ル府縣ト、ソレカラ所在ノ大都市トノ事業ノ分配等カラ考ヘマシテ、御

述ニナリマシタヤウナ傾向ガアルト思フノ
デアリマス、例ヘバ道路ナドデモ六大都市
ハ道路法ニ依ツテ市長ガ之ヲ執行管理スル
コトニナツテ居リマス、其ノ外府縣ト市ト
ノ事業ノ配分ガ違ツテ居ル譯デアリマスガ、
市ナド稅制ノ上ニ於キマシテ之ヲ特別ナ
取扱フスルト云フコトハ如何ナモノデアラ
ウカト考ヘテ居リマス、唯御述ニナリマシタ
ヤウナ問題ハ、一般ノ地方制度ノ問題トシ
マシテ、例ヘバ東京ノ都制デアルトカ、或
ハ他ノ五大都市ニ對スル特別市制トカ云フ
ヤウナ問題ト致シマシテ考慮スベキモノデ
ハナイカ、サウ云フ意味ニ於キマシテ政府ト
シマシテハ大都市ノ特別制度ト云フモノヲ
只今鋭意研究シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○上田委員 實ハ私共ハ都制、特別市制ノ
問題ヲ出シタクテ仕樣ガナイノデアリマス、
ケレドモハ稅制ノ委員會ダカラ都制、特
別市制ノ話ヲ出スノヲ抑ヘテ、今府縣ト六
大都市ノ稅ノ配分ノ質問ヲ申上ゲタ所ガ、
豈圖ンヤ內務當局カラ都制及ビ特別市制ノ
問題ガ出テ來タノダカラ、私共ノ方ハ是程待
ツテ居マシタト云フコトハナイノデス、ソ
コデサウ云フ御答辯デアレバ、都制並ニ特
別市制ト云フ問題ハ申上ゲルマデモナク何
十年來ノ問題デアリマス、御承知ノ通り都
制ニ至ツテハ既ニ政府案トシテ議會ニ提案
サレタコトスラアル、幾度カ私共ハ政府特
ニ內務當局ニ迫ツテ居ルノデスガ、何時デ
モ研究中々々ト言ツテ何十年研究スルノ
デス、モウ既ニ研究中ト云フヤウナ口實ハ
誰モ信用シマセヌ、モウ實行スルノ斷アリ
ヤ否ヤト云フコトヨリ外何モナイノデス、
研究スベキ問題ハ何モナイノデス、何十年
來ノ問題ダカラモウ研究シ盡サレテ居ルノ

デス、大體言ヘバ地方稅改正ニ伴ウテ必要
ナル市町村制ノ改正案ガ出テ居ルノデアリ
マスカラ、其ノ時ニ共ニ都制並ニ五大都
市ノ特別市制ト云フモノヲ出サナケレバナ
ラス管デス、ソレヲ政府ガ出シナラナ
イデ居ツテ今ノヤウナ御答辯ニナルコト
ハ、私ハ實ニドウモヲカシイト思フ、先程
申シタ通り私ハソレヲ眞向カラ振翳シテ內
務當局ヲ攻撃シタカツタケレドモ、是ハ稅
制ノ問題ダカラ稅ノ問題ダケニシテ置カウ
ト思ツタ所ガ、內務省自身ガサウ仰シヤル
ノダガ、ナゼ都制ト特別市制ヲ此ノ議會ニ
御出シニナラヌノデアリマスカ

○挾間政府委員 是ハ大臣カラ申上ゲタ方
ガ適當カト思ヒマスガ、都制ニ付キマシテハ
地方制度調查會デ今審議致シテ居ル所デア
リマスガ、マダ其ノ結論ヲ得テ居ナイノデ
アリマス、隨分長イ問題デスガ、長イ問題
ダケニ色々決定ニ困難ナ事情モアリマシテ、
都制ノ最後の決定ヲ見テ居リマセヌカラ、
此ノ議會ニ提案スル運ビニ至ラナカツタ譯
デアリマス、五大都市ト一應申上ゲテ宜イ
ト思ヒマスガ、是モ大體他ノ都市ト事情ヲ
異ニシテ居リマスカラ、殊ニ其ノ社會的地
位カラ見マシテ、或ル特別ノ制度ヲ考案ス
ルト云フコトガ必要デアルト考ヘテ居リマ
ス、併シソレニハ唯內務當局ニ於テ研究立案
スルト云フダケデハ、私ハ事務的ニ見マシ
テ是ハ不十分デアルト思フ、之ニハ無論各
所在ノ府縣都市ノ代表的ノ意見ト云フモノ
ヲ十分ニ加ヘマシテ、ソコニ適當ナル法案
ヲ作製シナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデ
アリマス、サウ云フヤウナコトデ此ノ議會
ニ提案スルト云フコトハ出來マセヌデシタ
ケレドモ、政府當局ノ意圖スル所ハ引續キ

此ノ問題ヲ出來ルダケ速ニ解決シナケレバ
ナラヌト云フ考ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、
此ノ稅制ト並行スルコトヲ得レバ無論之ニ
越シタコトハナイ譯デアリマスガ、左様ナ
意味ニ於テ遲レテ居リマスケレドモ、稅制
改正ノ問題ハ是ハドウシテモ此ノ機會ニ出
サナケレバナラヌ必要ニ迫ラレテ居リマス
ノデ、多年ノ懸案デモアリ、並行ハ致シマ
セヌデシタガ、此ノ改正案ヲ先ニシ、大都
市ノ特別制度ノ問題ハアトニ送ツタト云フ
コトニナツタ譯デアリマス

○上田委員 私ハドウモソレデハ満足スル
コトハ出來ナイノデスガ、先程來申シタヤ
ウニ都制並ニ特別市制ノ問題ハモウ何十年來
ノ問題デ、今デモ尙ホ地方制度調查會デ調
査中ダト仰シヤルノデスケレドモ、ソナヤ
ウナ委員會ハ今マデモ何遍モ開カレテハ解
消シ、設ケラレテハナクナツタノデアアル、
此ノ內閣ハ僅ニ本年ノ一月ニ成立シタモノ
デアルカラ、組閣匆々デ暇ガナカツタト言
ヘバソレマデデアリマスガ、內務事務當局
トシテハ其ノ言ヒ譯ハ立タナイ、是ハ內務
大臣ガ居ラスデモ、本來ハ內務大臣ニ聽ク
ベキコトデアルカモ知レナイガ、內務事務
當局ニ御聽シタ方ガ宜イト思ツテ實ハ御聽
シタノデスガ、此ノ問題ガ未ダニ調査ヲシ
ナケレバナラヌ、或ハ其ノ都市或ハ其ノ所
在ノ府縣ノ意見ヲ徵サナケレバナラヌト云
フコトハ絕對ニ有リ得ナイ、何遍カモウ其
ノ意見ハ調査サレテ居ル、意見書モ出テ居
ル、此ノ御話ヲ申上ゲルト長クナルカラ申
上ゲマセヌガ、チャント總テノモノハ出來
テ居ル、唯先程モ申シタ通り出スカ出サナ
イカ、議會ニ提案スルカ提案セヌカト云フ
斷ノ一事ダケガ殘ツテ居ル、今回ノ國稅ノ

改正ハ實ニ大キナ問題ダト思フ、ソレハ成
程今日ノ此ノ重大ナ時局ニ際シテ國ノ收入
ヲ増サナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレ
タカラデアリマセウガ、併シナガラ此ノ稅
ノ改正ヲ大英斷ヲ以テオヤリニナツタ、大
英斷ヲ以テ國稅ノ改正ヲヤルト云フ其ノ理
由ハ、大都市ノ今日ノ事務自體、或ハ經費
ノ支出、其ノ他有ユル事務ノ取扱ノ支障ト
云フヤウナ各理由ヲ御考ニナリマスルナラ
バ、モウ斷行ト云フ事サヘアレバ、此ノ國
稅ト一緒ニ出スコトガ出來得ベキ筈デアル、
況ヤ國稅ノ方ハ先程モ申シタ通り、國ノ今
日ノ非常時ニ於テ收入ヲ増サナケレバナラ
ヌカラ、隨テマア已ムヲ得ズトシテモ、是
ハ今ヤラナケレバナラヌト云フコトハ分ル、
ガ此ノ地方稅ノ改正ヲ爲シタト云フモノハ、
國稅ノ改正トハ稍々意味ヲ異ニシテ居ルモ
ノガアラウト思フ、此ノ地方稅ノ改正ヲ今
回斷行トシテオヤリニナルト云フ程ノ御勇
氣ガアルナラバ、何十年來問題ニナツテ居
ル都制並ニ特別市制ノ問題ヲ一緒ニ斷行シ
ヨウト云フ誠意サヘアレバ、ヤレナイ筈ハ
ナイト私ハ思フノデスガ、モウ一遍聽イテ
置キタイト思ヒマス

○挾間政府委員 十分ナル誠意ハ持ツテ居
ル譯デアリマス、熱心ニ研究ハ致シテ居
リマスケレドモ、御存ジノヤウニ都制ニ
付キマシテ一點解決ガ困難ナ問題ガアリ
マシテ、遂ニ結論ヲ得ルニ至ラナカツタ
譯デアリマス、但シ此ノ地方稅制ノ問題
ハ、無論國稅トハ別個ノ意味ニ於テ此ノ大
改正ヲ致ス譯デアリマス、併シナガラ是ハ
他ノ一面ニ於キマシテハ、國稅ト全ク不可
分ノ關係ニ立ツテ居リマス、所得稅ノ國
稅ノ大改正ニ伴ヒマシテ、又地方稅獨自ノ

述ニナリマシタヤウナ傾向ガアルト思フノ
デアリマス、例ヘバ道路ナドデモ六大都市
ハ道路法ニ依ツテ市長ガ之ヲ執行管理スル
コトニナツテ居リマス、其ノ外府縣ト市ト
ノ事業ノ配分ガ違ツテ居ル譯デアリマスガ、
市ナド稅制ノ上ニ於キマシテ之ヲ特別ナ
取扱フスルト云フコトハ如何ナモノデアラ
ウカト考ヘテ居リマス、唯御述ニナリマシタ
ヤウナ問題ハ、一般ノ地方制度ノ問題トシ
マシテ、例ヘバ東京ノ都制デアルトカ、或
ハ他ノ五大都市ニ對スル特別市制トカ云フ
ヤウナ問題ト致シマシテ考慮スベキモノデ
ハナイカ、サウ云フ意味ニ於キマシテ政府ト
シマシテハ大都市ノ特別制度ト云フモノヲ
只今鋭意研究シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○上田委員 實ハ私共ハ都制、特別市制ノ
問題ヲ出シタクテ仕樣ガナイノデアリマス、
ケレドモハ稅制ノ委員會ダカラ都制、特
別市制ノ話ヲ出スノヲ抑ヘテ、今府縣ト六
大都市ノ稅ノ配分ノ質問ヲ申上ゲタ所ガ、
豈圖ンヤ內務當局カラ都制及ビ特別市制ノ
問題ガ出テ來タノダカラ、私共ノ方ハ是程待
ツテ居マシタト云フコトハナイノデス、ソ
コデサウ云フ御答辯デアレバ、都制並ニ特
別市制ト云フ問題ハ申上ゲルマデモナク何
十年來ノ問題デアリマス、御承知ノ通り都
制ニ至ツテハ既ニ政府案トシテ議會ニ提案
サレタコトスラアル、幾度カ私共ハ政府特
ニ內務當局ニ迫ツテ居ルノデスガ、何時デ
モ研究中々々ト言ツテ何十年研究スルノ
デス、モウ既ニ研究中ト云フヤウナ口實ハ
誰モ信用シマセヌ、モウ實行スルノ斷アリ
ヤ否ヤト云フコトヨリ外何モナイノデス、
研究スベキ問題ハ何モナイノデス、何十年
來ノ問題ダカラモウ研究シ盡サレテ居ルノ

此ノ問題ヲ出來ルダケ速ニ解決シナケレバ
ナラヌト云フ考ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、
此ノ稅制ト並行スルコトヲ得レバ無論之ニ
越シタコトハナイ譯デアリマスガ、左様ナ
意味ニ於テ遲レテ居リマスケレドモ、稅制
改正ノ問題ハ是ハドウシテモ此ノ機會ニ出
サナケレバナラヌ必要ニ迫ラレテ居リマス
ノデ、多年ノ懸案デモアリ、並行ハ致シマ
セヌデシタガ、此ノ改正案ヲ先ニシ、大都
市ノ特別制度ノ問題ハアトニ送ツタト云フ
コトニナツタ譯デアリマス

○挾間政府委員 十分ナル誠意ハ持ツテ居
ル譯デアリマス、熱心ニ研究ハ致シテ居
リマスケレドモ、御存ジノヤウニ都制ニ
付キマシテ一點解決ガ困難ナ問題ガアリ
マシテ、遂ニ結論ヲ得ルニ至ラナカツタ
譯デアリマス、但シ此ノ地方稅制ノ問題
ハ、無論國稅トハ別個ノ意味ニ於テ此ノ大
改正ヲ致ス譯デアリマス、併シナガラ是ハ
他ノ一面ニ於キマシテハ、國稅ト全ク不可
分ノ關係ニ立ツテ居リマス、所得稅ノ國
稅ノ大改正ニ伴ヒマシテ、又地方稅獨自ノ

立場ニ於テ、所得税附加税ヲ廢止シマス
カ、戸數割ヲ廢止シマストカ云フコトガ國
税ニ關聯ヲ持ツテ居リマス、又營業收益税、
地租等ノ國ノ財源トシテノ税ヲ廢止シテ地
方ノ財源ニシマストカ、色々國稅ト密接不
可分ノ關係ガアル譯デアリマシテ、サウ云
フ關係ニ於テ今同是非トモ地方稅制ハ改正
シナケレバナラヌト云フ關係ニナツテ居リ
マス、併シ都制ノ問題ニ付キマシテモ、特
ニ大臣カラモ申上ゲテ居リマスル通り、出
來ルダケ速ニ結論ヲ得タイト云フ點ニ付キ
マシテハ、政府トシマシテハ一貫シテサウ
云フ方針ニ進ンデ居ル譯デアリマス

○瀧澤委員 委員長、關聯シテ——只今都
制竝ニ五大都市ノ特別市制ニ付テノ法案ヲ
速ニ出サレタイト云フ上田サンヨリノ御質
問ニ對シテ御答辯ガアリマシタガ、全ク上
田サンノ御話ノ通り、當局ニ斷ノ一事ヲ持
ツテ居リサヘスレバ、今期議會ニモ御提案
ガ出來タモノダト私ハ信ジテ居リマス、殊
ニ東京都制案ノ中ノ唯一點ト云フコトハ、
恐ラク都長問題ノコトデアルト信ジテ居リ
マス、是等ノコトモ、御出シニナラナイデ、
アナタ方ダケデ都合ノ好イコトニ考ヘテ居
ラツシヤルナラバ、何年經ツタツテ御出シ
ニナルコトハ出來ナイト私ハ思フ、アナタ
方ガ都長官選宜シイト思ハレタラ都長官選
ヲ御出シニナツタラ宜イ、議會ガ之ヲ審議
スルノハ別問題デアリマス、ソレヲ斷行ス
ル勇氣ノ御持合セガナイ、何年經ツテモ調
査研究中デアル、此ノ都制案ハアナタ方ハ
都長官選ヲ主張サレデセウガ、私共ハ都
長民舉ヲ主張シテ居ル、爭ハ此ノ一點デス、
議會ヘ御出シニナレバ、其ノ爭ハ解決シテ
シマフト私共ハ考ヘル、サウ云フ場合ニア

ツテ前議會ニモ御出シニナルヤウナ傾向モ
アツタガ、併シ御出シニナラナイ、今度兎
ニ角劃期的ノ稅制改革ニ當ツテハ、ドウシ
テモ此ノ際御出シニナラナケレバナラナイ
事柄デアルト私共ハ確信シテ居ツタノデア
リマス、併シ御提案ニナリマセヌデシタ、唯
速ニト云フ御話デアリマスルガ、私共ハア
ナタ方ノ信ズル所ヲ簡明率直ニ御提案ニナ
ツタラ宜イダラウト、斯ウ考ヘテ居リマス
ガ、御考如何デアリマスカ

○挾間政府委員 此ノ點ハ調查會ニ於テ審
議シテ居リマスノデ、調查會ノ決定ヲ得レ
バ無論宜イノデスガ、調查會ガマダ決定ヲ
致シテ居リマセヌ、サウシテ官選ト申シマ
スルカ、民選ト申シマスルカ、其ノ點ニ付
キマシテモ適當ナ案ヲ得ルト云フコトガ一
番宜イノデアルト考ヘテ居リマスノデ、其
ノ意味ニ於テ速ニ結論ヲ得ルヤウニ進メテ
行キタイト考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 ソレ以上ハ申シマセヌ

○内藤委員 一寸關聯事項デ——今一寸中
座シテ居リマシタガ、上田君ノ先程ノ御質
問ノ繼續デアラウト思ヒマス、瀧澤サンノ御
質問モ其ノ間ニアツタト思ヒマス、ソレデハ
斯ウ云フ考ヘ方ハ如何デセウカ、都制案ダ
トカ、五大都市ニ對スル特別市稅ト云フコ
トガ難カシイトスレバ、先ヅ六大都市ニ對
テシ特別市制ヲ布イテ、其ノ中カラ後日切
離シテ都制案ヲ布クト云フヤウナ考ヘ方ニ
スレバ難カシクナイノデハナイデセウカ、
初メカラ都制案ト云フモノヲ別ニ考ヘ、餘
リニ深ク——考ヘ過ギテ案ヲ練ルト云フノ
デ餘計ニ難カシクナツテ居ルノデハナイデ
セウカ、ソレカラ餘程前ニ、今カラ六七
年前デスガ、山本サンノ內務大臣ノ時代ニ、

上田サンガ先刻仰シヤツタヤウナ案ガ一度
出マシテ、途中デ成立ヲ見ルニ至ラナクテ
相當年月モ經過致シテ居ルノデアリマス、
世ノ中情勢ハ色々變ツテハ居リマスケレド
モ、大都市ガ特別ナ市制ヲ布イテ貫ヒタイ、
斯ウ云フコトノ考ヘ方ニ付テハ、時代ガド
ウナラウトモ變リハナイノデアリマシテ、
サウ內務省ノ方デ難カシク考ヘナイデ、六
大都市ニ先ヅ特別市制案ヲ布イテ、ソレカ
ラ都制案ヲ後ニ特別ニ東京トカ何トカ云フ
コトデ考ヘテ見ル、斯ウ云フ考ヘ方デスレ
バ結局早イダラウト思フノデアリマスガ、
左様ナ議ハ省內ニナイノデアリマセウカ、
大臣ハ始終御送りニナルカラ、大臣々々ト
言ツテ頼リニシテ居ツテモ仕樣ガナイ、ダ
カラ大臣ヲ頼リニシナイデ、アナタ方事務
當局ノ方デシツカリ一ツ肚ヲ決メテ、自分
等ハ斯ウシタイ、アトハ大臣ノ決裁ヲ待ツ
バカリダ、斯ウ云フヤウナ肚ノ坐リ方ガア
ルデセウカ、ナイデセウカ、ソレヲ一ツ伺
ツテ置キタイ

○挾間政府委員 大都市ノ特別制度ニ付キ
マシテハ、吾々ノ考ヘ東京都制ヲ施行シ、次
イデ他ノ五大都市ニ對スル特別制度ヲ施行
シマスカ、或ハソレヲ同時ニ竝行シテ制定
施行スルカト云フ二ツノ途ヲ執ル外ハナイ
ト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ東京ハ
他ノ五大都市ト色々關係ニ於テ非常ニ事
情ガ違ツテ居リマスノデ、ドウシテモ事務
當局トシテノ考ヘ東京都制ト特別市制ト云
フモノヲ別個ノ問題トシテ竝行シテ進行ス
ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
ス

○内藤委員 サウ云フ御答辯ヲ伺ヒマス、
五大都市ノ特別市制ト云フ案ハ竝行シテ行
クト云フ考ヘ方カラ見マスルト、東京都制
案ト云フモノガ決ラナケレバ、チツトモ續
カスコトニナリマスネ、ソレガ決ラナケレ
バアトノ五ツハ出ナイコトニナル、サウ云
フコトヲナサラスト、先ヅ見易イ方カラ出
シトラドウデセウ、都制案デナシ——善
イコトカ惡イコトカ知リマセヌガ、國策ト
カ云フコトデトシデモナイ法案ガ一夜ニ出
來タリスルノデスカラ、サウ云フ法案が出
來ル位ニ樂ナノナラ、都制案ナドハ難カシ
クナイデ、ドウゾ率直ニ——成程隨分考ヘ
タ、考ヘタガ、竝行ト云フコトハ難カシイ
カラ、見易イ六大都市ノ方カラ出シテヤラ
ウ、斯ウ云フ肚ハアリマセヌデセウカ、重
ネテ伺ヒマス

○挾間政府委員 東京ニ都制ヲ施行シナケ
レバ他ノ五大都市ニハ特別市制ヲ施行シナ
イト云フ考ヲ持ツテ居リマセヌ、是非共兩
方一緒ニ竝行シテ解決シタイト考ヘテ居リ
マス

○内藤委員 是以上ハ議論ニナリマスカラ
申シマセヌ

○上田委員 ソコデ私ハ引續キ御尋シマス
前ニ、今ノ特別市制ノ問題ハココデ一應私
ノ質問ハ臆ヲ付ケテ、次ノ議會ニハ是非御
出シヲ願ヒタイ、ソレハ政府ガ迭ツテモ事
務當局デ其ノ方針ガ決ツテ居レバ出セル筈
デアルカラ、サウ云フ御積リヲ事務當局ノ
方デ持ツテ居テ戴キタイト云フコトヲ申上
ゲテ置キマス

ソレデ次ニ御尋シタイノハ自動車稅ノコ
トデアリマスガ、車稅ノ中デ自轉車稅デア
ルトカ、或ハ荷車稅ト云フモノハ、是ハ市
町村ニ皆委譲サレル、申スマデモナク大都
市ニ於テハ道路ハ市ガ管理者デアリマシテ、

道路ノ補修修繕等、一切ハ市ガ莫大ナ經費ヲ掛ケテヤツテ居ル、サウ云フ趣旨デモアリマセウガ、自轉車稅、荷車稅ハ市町村ノ方ニ渡ス、所ガ此ノ自轉車稅、荷車稅ト云フモノハ、他ノ自動車稅ト較ベテ見マスト色々ノ意味カラ一番歩ノ惡イ税金デアルコトハ申スマデモナイ、其ノ歩ノ惡イ税金ヲ市ノ方ニ渡シテ置イテ、肝腎ナ自動車稅ダケハ府縣ノ方ニ殘シテ置イテ市ノ方ニ渡サナイデ、道路ノ管理ハヤラセル、ソコニ矛盾ガアルト思フガ、ドウ云フ譯デアルカ、又此ノ自動車稅ヲ市ニ委讓スル御考ハナイカドウカ、御伺シタイト思ヒマス

○挾間政府委員 今回ノ稅制ノ改正ハ三收益稅ノミナラズ、各稅全體ヲ一應白紙ノ狀態ニ還シマシテ、サウシテ府縣稅ノ獨立稅トスベキモノ、又市町村稅ニ委讓スベキモノト云フヤウニ振分ケテ考ヘタモノデアリマスノデ、此ノ自動車ニ對スル課稅ダケヲ特ニ引出シマシテ特例ヲ設ケルト云フコトハドンナモノデアラウカト思フノデアリマス、上田サンノ御話ハ主トシテ六大都市ノ話カト存ジマスガ六大都市ハ市ガ道路ヲ管理シテ居リマスカラ、或ハ費用ヲ負擔スル市ニ於テ自動車稅ヲ課稅スルコトニシテ、府縣稅カラ委讓シタラ宜イデハナイカト云フ御意見モ一應御尤モカト思ヒマス、併シサウスルト自動車ガ道路ヲ利用スルト云フ關係ハ、ドウモ市内ダケニ關係致シマセヌデ、郡部ノ方ニモ利用關係ハ延長致シテ居リマスノデ、郡部ノ方ノ關係カラ見マスト、自動車稅ヲドウ云フ風ニスルカト云フ問題モ亦新シク起ツテ參リマス、サウ云フ關係デ六大都市ノミニ付テノ特例ヲ設ケルコトモ出來マセヌシ、他ノ府縣ニ於キマシテハ

一般ニ府縣道路ノ管理、又國道ノ管理モ府縣知事ガヤツテ居リマシテ、費用ヲ府縣ガ負擔シテ居リマス、隨テ此ノ自動車稅ニ付テハ、之ヲ六大都市ダケニ付テ市ニ讓ルト云フコトモ今申シマシタヤウナ不合理ガアリマスシ、ソレカラ他ノ府縣ニ付テハ、ヤハリ府縣稅ニ殘ス方ガ適當デアルト云フヤウナ關係ガゴザイマスカラ、之ヲ全體のニ見マシテ、ヤハリ從來通り府縣稅ニ殘ス方ガ適當デアルト云フ見方カラ致シマシテ、市町村ニ委讓致サナカッタノデアリマス

○上田委員 只今ノ御答辯ハ私ドウモ満足シ難イ所デアリマス、私ノ御聽キシテ居ルノハ、六大都市ニ自動車稅ヲ委讓シロト云フ問題ヲ申上ゲテ居ル、六大都市以外ノ市町村ノコトヲ申シテ居ルノデハナイノデアリマス、ソコデ其ノ委讓出來ナイ理由トシテ、六大都市ノ地域以外ニモ自動車ガヤハリ走ルカラ、ドウモ區別スルノガ難カシイト云フヤウナコトガ主ナ理由ノ一ツ、次ニハ六大都市ヲ包含シタル府縣以外ノ府縣ハ、其ノ府縣ガ道路ヲ管理シテ居ルカラ、ソレト六大都市ヲ包含シテ居ル府縣ト差別ヲ付ケルノハ困ルカラト云フヤウナ、二ツノ理由ノヤウニ聽イタノデアリマス、成程六大都市ノ地域以外ノ道路モ自動車ハ走リマス、走りマスケレドモ、其ノ利用ノ程度カラ見マスト、六大都市ノ地域内ニ於ケル道路ヲ自動車ガ使用スル率ガ非常ニ多イト云フコトハ、是ハマサカ否ムコトハ出來マイト思ヒマス、デアリマスカラ常識カラ考ヘテ、大體ニ於テ六大都市ノ地域内ヲ自動車ヲ使用スルコトガ非常ニ多く、而モ其ノ道路ヲ其ノ都市ガ管理シテ以テ經費ヲ出シテ居ル、斯ウ云フヤウナ實情デアツテ、之ヲ

六大都市ニ渡スト云フコトハ、假令其ノ六大都市ノ地域内ニ走ツテ居ル自動車ガ、郡部ノ方ニ走ツテ行ツタ所デチツトモ差支ナイヤウニ思フノデアリマスガ、ソレハドウ御考ニナツテ居ルカ

今一ツハ六大都市ヲ包含シテ居ル府縣以外ノ縣ハ、道路管理者ハ縣デアルカラ、ソレハ是ト區別スルコトハ困難デアルト言ハレルガ、ソレガ所謂失禮ナ言ヒ分デアアルガ、官僚ノ畫一主義デ、總テノモノヲ一本建シテシマハナケレバ氣ガ濟マス、ソコデ私ハ冒頭ニ於テ自治制ノ特異性ヲ御考ニナツテ居ルカドウカト云フコトニ付テ十分釘ヲ刺シテ居ツタ等デアリマスガ、マダ其ノ釘ガ利イテ居リマセヌカ、ソコヲ能ク御考ニナルナラバ、サウ云フ畫一的ナ御考ハ理由ニナラヌト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○挾間政府委員 先程私ノ申上ゲタコトガ十分徹底シナカッタカト思ヒマスガ、六大都市ニ付テ御述ニナリマシタコトハ、私モ一應御尤モダト思フノデアリマス、併シナガラ自動車ノ利用スベキ道路ノ區域ト云フモノハ、ドウシテモ相當範圍ニ互リマスカラ、サウ云フモノヲ課稅ノ客體トスル稅ハ、ヤハリ地方稅トシテハ府縣稅ニ置クコトガ適當デアルト思フノデアリマス、併シナガラ假ニ六大都市ト申シマスガ、大阪ト申シマスガ、其ノ府市トノ關係ニ付テ考ヘマスト、府稅トシテ課稅シナイ場合ニハ、市ガ課稅スルコトガ出來ルノデアリマス、ソコハ府市トノ間ニ於ケル實際ノ問題トシテ、或ハ考慮スルコトガ出來ルノデハナイカトモ思ツテ居マリス、是ハ内務省トシテハ何トモ出來ナイコトデアリマスガ、一應

稅ノ建前トシマシテハヤハリ是ハ府縣稅ニ置クコトガ適當デハナイカト思ヒマス、尙ホ道路管理ノ關係ニ付キマシテハ、自動車稅モ一ツノ問題ダト思ヒマスガ、吾々トシマシテハ寧ロ都市計畫稅ノ方ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、從來ノ都市計畫稅ハ府縣都市トガ大體折半シタ課率ノ權限ヲ與ヘラレテ居リマシタガ、特ニ都市ノ都市計畫事業ニ於ケル重要ナ地位カラ考ヘマシテ、今回ノ稅制ニ於キマシテハ都市計畫稅ハ府縣ノ半額ヲ都市ニ委讓スルコトニ致シマシテ、今御述ニナリマシタヤウナ問題ハ併セテ解決スルト云フ風ニ制度ヲ立テテ居ルノデゴザイマスノデ、關聯シテ其ノ點申上ゲテ置キマス

○上田委員 ドウモヤハリ私ニハマダ合點ガ行カナイ、自動車ノヤウニ廣範圍ニ其ノ府縣ノ地域内ヲ歩クモノハヤハリ府縣稅ニシテ置イタ方ガ、宜イト言ハレマスケレドモ、市外カラ來マスモノデアレバ、荷車デモサウデス、荷車ハ市内ダケ歩イテ居ルノデハナイ、特ニ馬力ト云フヤウナモノハ市外カラ入ツテ來ルモノガ多イ、自轉車ハ割合ニ市内ダケノモノガ多イノデスケレドモ、荷車ノ方ハ市外カラ入ツテ來ルノガ多イ、其ノ荷車ノ方ハ自轉車稅ト共ニ市ノ方ニ委讓シテ置イテ、サウシテ一番稅收入ノ多イ確實ナ自動車稅ダケヲ府縣ニ殘スト云フコトハ、ドウモ今ノ御説明デハ尙ホ合點ガ行カナイノデアリマス、ノミナラズモウ一ツ附加ヘテ申シテ置キタイコトハ、ソコデ之ヲ都市計畫稅ノ方ニ逃ゲラレテ、都市計畫稅ノ方デ此ノ度ハ相當ニ増シタカラ、ソレデ加減ヲスベキモノデアツテ、道路管理及ビ此ノ修繕ノ問題、其ノ費用ノ問題ニ付テハ、自動車稅トカサウ云フモノデ管理

スルヨリモ、都市計畫税を行ツタ方が宜イカラ、相當増スコトニシタト云フ御話デアリマスガ、都市計畫税ノ方モ、モウ慥カ各都市カラ陳情ガアツタカラ御存ジデアルト思ヒマスガ、成程今度ハ増額シマシタ、併シ是ハ百分ノ七十五ト云フモノヲ要求シテ居ツタデアリマスガ、ソレデモソレガマダ百分ノ七十三ニシカナツテ居ナイ、マダ少シ手ガ届イテ居ナイ、ソレヲドウモ餘リ誇リ顔ニ仰シヤツテ、サウシテ自動車税ト替ヘヨウト仰シヤツテモ、サウハ行カヌデアリマスガ、如何デアリマスカ

○**狹間政府委員** 自動車税ノコトニ付キマシテハ只今申上ゲタノデ一應御諒解ヲ得ルト思フデアリマスガ、荷車トノ比較、自轉車トノ比較問題デゴザイマスガ、是ハ餘程利用ノ區域ガ違フト思ヒマス、隨テ荷車税ハ是ハ市町村税ノ方ガ宜イト思フノデスガ、實ハ自動車税ハ、モツト區域ヲ廣クシテ、斯ウ云フヤウナモノハ性質カラ申シマスト分與税ノ財源ニスル方ガ宜イノデハナイカト云フ位ニ、今ノ道路ノ状態カラ申シマス、利用範圍ガ廣イ譯デアリマスカラ、私ハヤハリ市町村税ト云フヨリモ、府縣税ニ殘シテ置ク方ガ適當デハナイカト思フデアリマス、ソレカラ都市計畫税ノ課率ノコトニ付テノ御話デゴザイマスガ、大體是デ四分ノ三ト四分ノ一ノ程度ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ程度ガ適當デアルト考ヘテ居リマス

○**内藤委員** 一寸關聯事項デ自動車ノ問題デ御伺シタイ、戴キマシタ資料デ見マスルト、各府縣トモソレノ課率ガ違フテ居ルノデアリマス、今ノ地方局長ノ御答辯ダト云フト、斯ウ云フコトハドウデセウ、例ヘ

バ東京ニ於テハ自家用車ニ致シマシテモ、乗用自動車デモ、或ハ貨物自動車デモ、課率ガ高イノデス、神奈川縣トカ其ノ他ノ方ハ安イノデス、今アナタノ仰シヤルヤウナ、運用スル地域ガ廣イカラト云フコトデアレバ、或ハ全國的ニ一律ノ課率ニスルトカ云フコトデナケレバ、東京デ稼イデ籍ダケ神奈川ニ付ケタリ、或ハ餘所ヘ付ケルト云フヤウナコトニアナタカラ戴イタ資料デハナルノデスガ、サウスルト、掏摸ト同ジデ、稼グ時ハ東京デ住居ハ餘所ニ置ク、斯ウ云フコトニナル、アナタカラ戴イタ資料デハサウナルノデスガ、サウ云フ不公平ナコトヲスルナラバ、今アナタハ分與税云ト云フコトヲ仰シヤルカラ一寸聽イテ見タクナツタノデスガ、斯ウ云フヤウナ課率ハ一定ニナサツタ方が宜イノデヤナイカ、上田君ノ議論ハ別トシテ、課率ヨリ見タル變ナ所ヲ聽カシテ戴キタイ

○**狹間政府委員** 御尤モト思ヒマス、非常ニ課率ガ違フノデ是ハ適當デヤナイト思ヒマス、ソレデマア私ハ思切ツテ是ハ分與税ノ財源ニシタ方が今ノ交通ノ状況カラモ宜イノデヤナイカト言ヒマシタガ、是ハ私ノ希望デアツテ實現ハ致シテ居リマセヌ、ソコデ、實際實現ヲ致シマスコトハ、今回「ガソリン」税ガ稅率ヲ引上ゲマシタノデ、自動車税ニ付テハ大體三百二十三十萬圓位全國減税スル方針デゴザイマス、其ノ減税ハ全國一律ニハ致サセマセズ、高率ナ所ニ對シテ減税ヲサセテ、平均ニ割程度ノ減税ニナルト思ヒマス、之ニ依ツテ餘程課率ガ全國的ニ見テ平均ヲ得ルコトニナルト思ヒマス

○**上田委員** 自動車税ノ問題ハ大分政府ト意見モ違ヒマスカラ、其ノ答辯ハ不満足ナリト云フコトデ先ニ進ミマス、次ニハ此ノ地方稅法案ノ第六十六條ノ市町村民稅デゴザイマスガ、是ハ最高一人ニ付テ千圓ヲ超エルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマスガ、人口ガ五十萬以上モアルヤウナ大都市ハ、此ノ最高額ヲ二千圓位ニナサルノガ宜イデヤナイカト思フ、大都市ニ於テハ細民階級ガ多イノデアリマス、デアリマスカラ、机ノ上カラ見マス、一應市町村民稅ガ入ルヤウニナツテ居ルガ、實際ハ容易ニ取レナイ細民ガ多イ、又之ニ反シテ普通ノ小都市ヤ其ノ他ノ町村ニ比ベマシテ、非常ニ裕カナ人モ非常ニ多イ、尤モサウ云フ人ハ他ノ意味ニ於テ色々稅ヲ負擔ハシテ居リマスケレドモ、併シ又同時ニ市民稅モ他ノ市町村ヨリモ大都市ニ住ンデ居ルサウ云フヤウナ者ハ多ク負擔ヲシテモ差支ガナイ、所謂大都市ト云フ自治團體ニ住ンデ居ルト云フ自覺カラ見テ、ソレダケ多ク負擔シテモ宜イト思フデアリマスガ、此ノ點ニ付テ、所謂細民ノ方トソレカラ富裕階級ノ方ト、此ノ比較カラ見テ最高ヲ上ゲル必要ガアルヤウニ思フノデスガ、如何デスカ

○**狹間政府委員** 此ノ市町村民稅ハ實ハ所得ト文字通りニ鈎合ツテ行クト云フコトハ、一種ノ所得稅附加稅ノヤウナコトニナル譯デアリマス、ソレガ爲ニハ一體制限ヲ設ケルト云フコトガ適當デナイト云フコトニナルト思ヒマス、併シ此ノ稅ハ元々之ニ依ツテ財源ヲ市町村ニ與ヘル、勿論與ヘマスカ、ソレガ主デナイノデアリマシテ、負擔ヲ分任スルト云フ自治ノ根本精神ヲ此ノ稅制ノ上ニ現ハスト云フコトガ主デアル譯デスカラ、成ベク輕イ稅ニスルト云フコト

ガ必要デアルト思フ、輕イ稅ニシテ、而モ納稅義務者ハ普遍的ナラシメルト云フコトガ適當デアルト思フノデス、國民負擔ノ問題ハ今回ノ稅制改正ニ於キマシテハ、ドウシテモ是ハ國稅地方稅ヲ通ジテ見ナケレバナラス譯デアリマスノデ、之ニ依ツテ負擔ノ均衡ヲ得セシメルト云フ積リハナイ譯デアリマス、ソコデ千圓ト限リマシテ、之ヲ全國一律ニ致シテ居リマスガ、是ハ一定ノ所得ヲ持ツテ居ル者ガ居住ノ團體ヲ異ニスルニ依ツテ最高ガ二千圓ニナル、或ハ一千圓ニ止ルト云フコトニスルノハドウモ適當デナイト考ヘルノデアリマス、ソコデ全國千圓ト云フコトニ致シマシタガ、之ヲ更ニ一般的ニ二千圓ニ上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ所得稅ノ負擔トノ關係モゴザイマスノデ、餘リ高クスルト云フコトヲ不適當ト認メマシテ、千圓ト云フ所ニ落付ケタノデアリマス

○**上田委員** ドウモソレモヤハリ政府當局ノ畫一的ナ御考カラ來ルノデハナイカ、ヤハリ大都市ニナレバナル程先ヅ細民階級トソレカラ富裕ナル階級トガ著シク違ツテアルノデアリマスカラ、市民稅ニ於テハ其ノ邊ノ調節ヲサウ云フ程度マデ取ツテモチツトモ差支ナイノデハナイカト云フ風ニ思ハレル、又ソレハ單ニ稅收入ヲ増スト云フコトバカリデハナクシテ、市民タル資格ノ下ニ取ルト云フコトデアリマスガ、勿論其ノ都市ノ住民ハ皆市民タルノ自覺ヲ持ツテ今度市民稅ヲ拂フコトニナリマセウケレドモ、ヤハリ富裕階級ノ人ハソレダケ其ノ都市ヲ利用スルコトハ多イノデス、ダカラ其ノ都市ヲ利用スルコトノ多イ者ガヤハリソレダケノ負擔ヲスルト云フコトハ適當デヤ

ナイカト云フ風ニ思ヒマスケレドモ、是以
上問答ヲ重ネテ居ツテモ仕樣ガアリマセヌ
カラ、私ハ此ノ問題ハ此ノ程度ニシテ置キ
マス

○山川委員 關聯質問デ……此ノ問題ハ私
ハ此ノ間チヨット申上ゲタノデアリマシタ
ガ、只今上田サンカラ二千圓ト云フ御話モ
出テ居ル、兎ニ角上ゲルト云フ、是ハ市ト
シテハ私ハ二千圓デモ二萬圓デモ決シテ高
イコトハナイト思フノデアリマス、實際是
ハモウ市町村ノ狀況ニ依ツテ非常ニ違フ
デアツテ、ナンボト御決メニナツテモ適當
ナモノハチツトモナイノデスカライツソ是
ハ無シニサレテシマツタラドウカ、是ガ一
番宜イコトデハナイカ知ラント思ヒマス、
最高額ト云フモノハナイト云フコトニシテ
シマツタラドウデアルカ、是ハ其ノ地方ノ
最高ト云フモノヲ廢メテ、適當ニ市長ガ適
當ナル所ヲ定メテ、サウシテ知事ノ認可ヲ
受ケルトカ、內務省ノ認可ヲ受ケルトカ云
フ風ニ致シタラ本當ニ適當デハナイカ、只
今質問者ノ申サレタ通り、畫一主義デ千圓
ト決メタ所ガ、此ノ間モ申シタ通り、二萬
圓ニ決メテモ村ニ依ツテハ低過デソレガ
邪魔ニナル、又吾々ノ住ンデ居ルヤウナ山
ノ中ニシマス、三千住民ガゴザイマシタ
ナラバ四圓デアツタナラバ一万二千圓マデ
取レル、一万二千圓取ルト云フコトハ、ソ
レハ大變ナ話デ、町村稅ノ半數以上ノモノ
ヲソレニ依ツテシマフコト云フコトニモナル
ノデ、千圓ト云フコトハ非常ナ大キナコト
デアルシ、四圓ト云フコトモ非常ニ大キナ
コトデアル、又大キナ富裕者バカリ住シデ
居ル町ニナツタナラバ、一人前四圓平均ト
云フコトハ洵ニ微細ナコトデ、ソナノハ

論ズルニ足ラヌ、迎モ是ハ實際ニ合ハナイ、
ダカラ是ハ一切廢メテ、斯ウ云フモノヲ設
ケルコトヲ得ト云フ規則ニシテ、サウシテ
其ノ市町村ノ自由ニシテ認可ヲ受ケルヤウ
ニスル、是ハハマルデ前ノ戶數割ガ惡イカラ
ト云ツテ、ソレヲ急イデ廢メテ、其ノ代リ
ニ別ノ戶數割ヲ拵ヘタト同ジコトニナル、
是モ從來ノ戶數割ト同ジコトニナル、チツト
モ違ハナイ、戶數割ハ惡稅ダト云ツテ戶數
割ヲ廢シテ又新シク其ノ戶數割ト同ジモノ
ヲ拵ヘル、ソレハ千圓ト云フ程度ハ、田舎
デハ千圓ハ少シモナイ、是ハ私ハ全廢スベ
キモノデアツテ、認可ヲ受ケテヤルト云フ
程度ノ方ガ邪魔ニナラヌカト思ヒマスガ……

○挾間政府委員 御趣旨ニ於テハ私ハ或ハ
山川サンノ言ハレル所ハ尤モナ點モアルデ
ヤナイカト思フノデアリマス、詰リ是ハ決
シテ何處デモ千圓取ルト云フノデモナイ譯
デアリマス、何處デモ四圓ニ、六圓ニ、八
圓ニ、納稅義務者ノ數ヲ掛ケタダケハ取ラ
ナケレバナラヌトハ法律ハ言ツテ居ナイノ
デ、最高限ハ斯ウダゾト云ツテ、アトハ其
ノ市町村ノ意思ニ依ツテ適當ナル程度ニ止
メテ、取リタイト思ヘバ適當ナル程度ニ取ル、
斯ウ云フ譯デアリマスカラ、貧弱ナ町村ニ
於キマシテハ千圓ノ最高限度マデ行カナイ
ト思ヒマス、或ハ百圓カ二百圓位ノ所デ、
最高ノ人モ押ヘルコトニナルト思ヒマス、
是ハ全ク市町村ノ自由意思ニ任セ、條例ヲ
以テ定メサシテ居ルノデアリマシテ、法律
トシマシテハ、一般原則トシテハ一人ノ最
高ハ千圓以上ハイケナイゾ、ソレカラ市町
村別ニ應ジテ八圓、六圓、四圓ト云フ一人
當リヲ超エテハイカヌゾト云フ、上ヲ押ヘ
テ居ルノデアリマシテ、是ハ全ク戶數割ニ

依ツテ生ジタ非常ナ負擔過重ノ弊害ヲ抑ヘ
テ、サウシテ戶數割ニ殘ル長所ダケヲ是デ
押ヘテ行カウ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、
御話ノ通り各市町村デ適當ニ決メル譯デス

○內藤委員 一寸關聯シテ……ドウモ吾々
ノ村落カラ言フト、千圓デ抑ヘテ置ク、ソ
ンナモノデ抑ヘラレルモノデヤナイ、天道
様ミタイニ高イモノデス、ソナナ九百九十
九圓ナント云フモノハ大變ナモノデアル、
ソレハ一万二千圓マデ課ケラレルノニ、九
百九十九圓取ルコトハ出來ルカト云フ、取
ルコトガ出來ル、ソナモノヲ拵ヘテ置ク
ト云フコトハ、ソコマデ行ツテモ宜イト云
フコトナンデアル、千圓以下デアツタナラ
バ九百九十九圓マデ行ケル、千圓マデハ行
ケル、ソナ所マデ行ケルト云フコトヲ見
セルト云フコトハ工合ガ惡イ、ソナナ高イ
モノヲ拵ヘテ置クト云フコトハ却テ惡イ、
サウシテ又上田サンミタイナ所ニシテ見レ
バ、二千圓ト仰シヤツテ居リマスガ、ソレ
ハ二千圓位ニシテ置ケバ往生シナサルト思
フ、二萬圓位ニシテ置ケバ往生シナサルト思
フ、ソナ千圓ミタイト云フノデ棒一本チヨツ
ト突出スヤウナ、ソナ法律ヲ作ツテ置ク
ノハ妙ナモノダト思フ

書イテアル、前ノ方ノ個人ノ分ニハ書イテ
ナイノデスガ、法文ノ體裁上故ラニ法人ニ
付テハ「毎」ニト云フ文字ヲ入レテ、個人ニ
付テハ「毎」ニト云フ文字ヲ入レナイノカ、
其ノ入レナカツタ意味ヲ聽キタイ、ナゼ法
人ト自然人ト分ケタカ、之ヲ聽キタイ

○內藤委員 大阪邊リハ家ガ二軒モ三軒モ
アリマセ……

○挾間政府委員 アリマシテモ法人ハ大體
營業所ヲ設ケテ營業致シテ居リマスレバ、
ソレガ一ツノ生活單位ト見ルコトガ出來ル
譯デゴザイマスカラ、法人ニ付テハ個々ニ
課稅シタ方ガ宜シイト思ツテ、個人ト法人
ト分ケタノデアリマス

○上田委員 內務省關係ノ政府委員ニ對ス
ル質問ハモウ是デ終リマスガ、最後ニ內務
省關係ノ政府委員ニ御尋致シタイノハ、市
町村、特ニ大都市ニ於テハ、御存ジノ通り、
國政ノ委任事務ガ逐年激増シテ來テ居リマ
ス、特ニ今度ノヤウナ、斯ウ云フ事變ガ長
期ニ亘ツテアリマスレバ尙更ノコトデアリ
マス、サウ云フヤウニ國政ノ委任事務ガ激
増シテ參ツテ居ルノニ、之ニ對シテドウモ
財源ヲ與ヘルト云フ考ヘ方ガ非常ニ薄イノ
デアリマスガ、此ノ度ノ地方稅ノ改正ニ當
ツテハ、其ノ點ハ先ヅ第一ニ御考ニナラナ
ケレバナラナイ點ダト思ヒマスガ、ドノ
稅ヲ斯ノ如ク逐年國政ノ委任事務ガ増加致
シテ居リマスル財源トシテ御與ヘニナツタ
ノデアルカ、斯ウ云フコトヲ聽キタイノデ
アリマス

○挾間政府委員 今回ノ改正案ニ依リマス

各税ニ付テ、ドレガ國政事務ニ充當スルノ適當ナルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、今度ノ改正ハ、地方ノ財政事情ニ必要ナル程度ノ財源ヲ各團體ニ對シテ與ヘルト云フコトガ趣旨デ出来テ居ルノデアリマス、今御述ニナリマシタ國政事務ガ随分増加シテ來ル、之ニ對シテ國ガ十分ニ財源ヲ與ヘナイト云フコトニ付キマシテハ、政府デモ年來其ノ點ハ不合理ガアルト云フノ研究ヲシ、其ノ解決ヲ致シタイと思ツテ努力致シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ稅制自身デ解決スルト云フコトハ困難デアリマシテ、稅制以外ニ於テ、所謂國費、地方費ノ負擔區分ノ問題トシテ、此ノ問題ヲ取扱ツテ行カナケレバナラスと思ヒマス、併シナガラ稅制改正ト必ズ此ノ問題ハ相並ンデ進マナイト、如何ニ稅制ヲ改メマシテモ、此ノ問題ガ不合理ニナリマスレバ、ソレダケ地方ノ負擔ハ増スコトニナリマスカラ、今回ノ改正ノ際ニ於キマシテモ、最モ大キナ問題ト致シマシテ、二三ノ問題、即チ小學校ノ教員ノ俸給費ノ負擔區分ノ是正、警察費連帶支辨金ノ國庫負擔率ノ増加、職業紹介所費ノ地方分擔金ノ廢止ト云フヤウナ大キナ問題ハ解決致シマシタガ、詰リサウ云フ行キ方デ負擔區分ノ問題トシテ、只今御述ニナリマシタヤウナコトハ解決ラシテ行クヤウニ致シタイと思ヒマスノデ、稅ト國政事務トノ間ニ特殊ノ關聯性ハ持タシテハ居ラナイノデス

○上田委員 勿論只今ノ御答辯ノヤウニ、稅トソレカラ國費、地方費ノ按配ニ依ツテ、關聯シテ考ヘナケレバナラナイト云フ點ニ付テハ能ク分リマシタガ、國政委任事務ガ段々激増スルニ連レテ考ヘタ案トシテ、警

察費ノ國庫負擔ノ支辨ノ割當ヲ増加シタト云フコトニ付テハソレハ大イニ私共賛成スル、所ガ小學校教員ノ問題ヲ例ニ出サレタコトハ以ツテノ外ナノデ、是カラ文部省當局ヲ大イニ追究シヨウト云フ、所謂六大都市側ノ一番不足ノ點デアリマス、一番吾々ノ不足ナルモノヲ、其ノ代リニ國政委任事務ガ増加シタカラ、ソレデ府縣デ負擔スルト云フコトニシマシタト云フコトハ、ソレハ何事ヲ言ウテ居ルカ、六大都市ノ一番都合ノ惡イ、是カラ都合ノ惡イコトヲ、今御聽ニナツテ居レバ文部當局ト私ハヤリマス此ノ文部當局ト是カラ質問應答ヲ重ネヨウトスル此ノ六大都市ノ一番不利益ナルコトヲ以テ、國政委任事務ガ種々増加サレル代リニ、ソレダケノ費用ヲ負擔サセルヤウニシタト云フコトハ、ドウ云フ御答辯デアリマスカ

○挾間政府委員 是ハ六大都市ノ方々カラ不足デアルト云フ御話モ出ナイカト思ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ他ニ中小都市、一万一千餘ノ町村モアリマスシ、私ガ申上ゲマシタノハ、詰リ國費トシテ負擔スル部分ガ少イ現在ニ於キマシテハ、ソレハ是正致シマシテ、二分ノ一定率トスルト云フコトガ、將來ニ於ケル地方財政ニ對シテ、國家ガ援助ト申シマスカ、補給スル額ガ明確ニ二分ノ一定率ト云フコトガ、非常ナ負擔區分ノ問題トシテハ大切ナ點デアルト思フ、之ヲ道府縣ニ移シタト云フコトニ付キマシテハ、是ハ財政上ノ立場ニ於キマシテハ、無論色々理由ガアルコトデアリマスガ、只今申上ゲマシタ一例トシマシテハ、八千五百萬圓ト云フ定額ガ其ノ儘デ行キマスト云フト、教育費ガ三億ニナリマシ

テモ、二億五千萬圓ニナリマシテモ、八千五百萬圓シカ國ハ出セマセヌ、二分ノ一定率ト致シマスレバ、三億ニナルト云フト、一億五千萬圓ヲ國ガ出スト云フコトニナツテ、負擔區分ガ合理的ニナツテ來ルト云フコトヲ答辯トシテ申上ゲタノデアリマス、サウ御聽取リヲ願ヒタイノデアリマス

○上田委員 其ハ其ノ答辯ハ不足デアリマスガ、併シナガラ兎ニ角何レニシテモ教員給ノ問題ハ後カラ段々質問ヲ重ネルノデスカラ今ハ申シマセヌガ、國政委任事務ノ逐年激増ニ對スル其ノ埋合セト云フモノヲ、大都市其ノ他ノ市町村ニ對シテ、ドノ稅トハ言フコトハ出来ナイト云フノガ、先程ノ御話デアリマシタケレドモ、然ラバ稅收入ノ上ニ於テドノ程度マデ御見積ヲ十五年度ニ於テナサツテ居ルカ、或ハ又將來ドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカ、伺ヒタイ

○挾間政府委員 國費地方費ノ負擔區分ノ問題ハ、稅制其ノモノトハ私ハ別個ノ問題ダと思フ、ソレデスカラ、ドノ稅ト申シマスカ、或ハ稅源ト負擔區分トノ問題ハ、是ハ必然ノ關聯性ハナイと思フノデ、私ノ考ハ、是ハヤハリ國家財政ノ關係モアリマスガ、國ノ委任事務ニ對スル地方負擔ト云フモノヲドウ云フ風ニ是正シテ行クカト云フ、別個ノ地方財政上ノ大キナ問題トシテ政府ガ研究シナケレバナラスモノデアラウト思ヒマス、如何ニ稅制ヲ立テテ置キマシテモ、事務ノ増加ガ國ノ意思デドノ増加シテ來ルモノデスカラ、ソレニ對應スルヤウナ稅制ヲ立テルト云フコトハ困難デアリマシテ、ドウシテモ是ハ國ガ事務ヲ委任スル場合ニ於テハ、其ノ事務ノ性質ニ應ジテ、ドレダケノ國費ノ負擔ヲスベキモノデアラカト云フ

コトヲ決定シマシテ、教員給ノ如キハ、五割デアルトカ、或ハ警察費ハ三割五分デアルトカ、他ノ產業問題ニ付テハ三分ノ一デアルトカ云フヤウナ、適當ナ率ヲ決メテ進ムベキモノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○上田委員 只今ノ答辯ハ先程來ノ御答辯ノ中デ一番私ニ分リマシタ、能ク分ルト同時ニ、ソレデハ言質ヲ取ツテ置カナケレバナラナイノデアリマス、今ノ局長ノ答辯ニ依ルト、所謂國政事務ノ委任ノ増加ト云フコトハ、稅收入ト財源ヲ與ヘルト云フコトデ考ヘルベキコトデハナクシテ、國政事務ノ委任ヲスルコトヲドウ云フ風ニ今後整理シテ行クカト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラナイ、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ承ツタノデアリマス、併シソレハサウ云フ考ヘ方モアラウト思フ、併シナガラ現在ニ於テハ先程モ申シタ通り、是ハ內務當局ニ於テモ否認出來ナイ逐年國政委任事務ハ増加シテ行ク、サウシテ財源ヲ與ヘナイト云フヤウナコトデアアルカラ、ソレデハイケナイデヤナイカト云フコトヲ私ハ言ウタ、所ガ局長ノ只今ノ御答辯デハ、財源ヲ與ヘル與ヘナイハ別個ニ考ヘ、國政委任事務ノ問題ハ今後ハソシナニ増加セシメナイヤウニスル、又ドウ云フモノヲ委任事務トスベキデアアルカ、整理ヲドウ云フ風ニスルカト云フ問題ヲ考ヘナケレバナラス、斯ウ云フコトデ御答辯ニナツテ居リマスカラ、然ラバ今後ハ所謂市町村ニ於テ負擔ノ掛ラナイヤウニ、國政委任事務ニ付テハ徹底的ニ整理ヲナサル御意思ガアルカ、其ノ御意思アリトスルナラバ、ソレヲ何時ナサルノカ、是カラ研究シテトカ、調査シテト云フコトデハ困ルノデ

アリマス、政府デハ何時モサウ云フコトヲ言フ、私ハ十五年度ニナサルカドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○**狹間政府委員** 重ネテ御尋デスカラモウ一度御答ヲ反覆致シテ置キタイと思ヒマス、私ガ申上ガマシタノハ、國政事務ヲ整理スルト云フコトヲ申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、國政事務ヲ委任スル場合ニ於キマシハ、ソレガ如何ナル割合ニ於テ國ト地方トガ負擔スベキデアルカト云フコトヲ、合理的ニ、明確ニ定メテ、國費ノ負擔スベキモノヲ國ガ負擔ラシ、地方デ負擔スベキモノハ地方デ負擔スルト云フ形ニ於テ、國政事務ヲ委任スベキデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ事務ヲ取上ゲテ考ヘマス、是ガ國政事務デアルカ、是ガ固有事務デアルカト云フコトニ付キマシテハ、可ナリ不明確デアリマス、ソレカラ委任事務ト申シマシテモ、是ハ全ク國ノ爲バカリデ全然地方ノ爲ニナラヌト云フヤウナ事務ハ、先ヅノナイト思フノデアリマス、隨テドシナ事務ヲ委任致シマシテモ、ソレハ地方ヲ振興シ、地方ノ必要ニ即應スル斯ウ云フヤウナ事務ガ大多數デアラウト思ヒマス、隨テソレニ對シテハ應分ノ地方負擔ヲスルト云フコトモ、是ハ當然デアルト思ヒマス、又サウ云フ事務ガ色色ノ方面カラ増加シテ來ルコトガ、一面ニ於テ地方自治ヲ振興セシメル一ツノ導因トモナルカト思フノデアリマシテ、私ノ申上ガマシタノハサウ云フ事務ヲ委任スルコトハ、無論將來國ノ必要ニ於テ始終致サナケレバナリマセヌガ、ソレヲスルニ付テハ負擔區分ノ問題ハ無暗ニ之ヲ地方ニ振掛ケルヤウニシナイデ、負擔ノ區分ヲ出來ルダケ

合理的ノ關係ニ於テ決定ラ致シマシテ、其ノ負擔割合ノ下ニ事務ヲ遂行シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ致シマスノガ、地方財政ヲ立テマス上ノ理想デアルト吾々ハ思フノデアリマス、出來ルダケサウ云フ形ニ於テ努力致シタイと思ヒマスガ、是ハ國ノ財政ノ問題モアリマスシ、實ハ非常ニ地方財政上ノ困難ナ、重大ナ問題デアリマシテ、上田サンノ御話ニ私ハ非常ニ同感ヲ表スル者デアリマスガ、成ベク御趣旨ノ實現シマスヤウニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○**上田委員** ドウモ満足シマセヌガ、マア此ノ程度デ打切りマシテ、次ニ文部當局ニ御聽シタイと思ヒマス

○**小山委員長** 文部省ノ方ハ參ツテ居リマセヌ

○**上田委員** ソレデハ仕方ガアリマセヌ文部當局ニ對スル私ノ地方稅改正ニ關聯スル質問ハ保留スルコトニ致シマス

○**小山委員長** 分リマシタ

○**內藤委員** 今上田君カラ御質問ガアリ、御答辯ガアツタコトデ關聯シテ承リタイ、從來ハ徵收費用ヲ補償スル爲ニ、或ハ地租ノ附加稅ニ對シテハ徵收金額ノ千分ノ一トカ、其ノ他ノ府縣稅ニ對シテ徵收金額ノ百分ノ一トカ、徵稅令書一通ニ付テ二錢トカ云フヤウナ金額ガ市町村取扱トシテ交付サレテ居ツタ、所ガ其ノ規定ノ今度ノ地方稅法ノ第十五條ノ二項デハ、其ノ額ヲ抜イテシマツタ、物價ガ高イカラモツトヤラウト云フノデ抜イタノカ、或ハモウ少シ値切ラウト云フ意味デ此ノ規定ガナタナツタノデスカ、參考ノ爲ニ伺ツテ置キタイ、所ガ取扱費ヲ交付スルト云フコトハアルノデスカ、

其ノ額ハ前ニアツテ今度ハナイ、ソレヲナゼ聽クカト云フト、會テ遊興稅ノ時ノ例モアルガ、政府ハ、何々以內ハ修正スルト、兎ニ角ソコニインチキガ行ハレルノデアリマスカラ、ソコヲ明確ニシテ置キタイ、前ニアツタノヲ今度御削リニナツタノハドウ云フ譯デアルカ、兎角インチキガ行ハレルコトガアルカラ、斯ウ云フ意味合カラ、ハツキリ御答辯ヲ願ツテ置ク方ガ宜カラウト思フ

○**三好政府委員** 內藤サンノ御質問ハ普通徵收ノ十五條ノ問題デアラウト思ヒマスガ、是ハ殖ス意味デモ削リ意味デモナイノデアリマス、一種ノ手數料デゴザイマスカラ、手數料ヲ實體ニ合フヤウニ合理化スル、斯ウ云フ建前デ變ヘタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ徵收金額ノ一本ヲ標準ニ致シテ居リマス、所ガ徵收金額ダケヲ標準ニ致シマス、何万圓ノ營業稅附加稅デモ、極ク僅カナ五十錢カ六十錢ノ地租附加稅デモ或ハ千分ノ一トカ、百分ノ一トカト云フ低率デ出マス爲ニ、實際ノ手數ニ比較シテ厚薄ガ付ク譯デアリマス、ソコデ全令書數ヲ合セテ其數ニ依リマシテ適當ニ決メル次第デアリマス、府縣稅デアリマスカラ府縣ノ條例デ以テ縣會ノ議決ヲ經テ適正ナル出シ方ヲササヤウニトスウ云フ趣旨ヲ現ハシタノデアリマス

○**內藤委員** 結論ハ今ヨリ減ルノデスカ、減リマセヌカ、今ヨリ減ラナイトカ、或ハ殖エル可能性ガアルカ、減ラナイナラ減ラナイト云フコトヲ御答ヲ願ヒタイ

○**三好政府委員** ソレハ減ルカ減ラナイカノ問題ハ總額ニ關シマシテハ恐ラク減ルコトハ絕對ニナイト思ヒマス、或ハ殖エルカ

モ知レマセヌ、併シナガラ個々ノ團體ニ付キマス割合ニ地租附加稅ナンカハ令書數ヲ餘計扱ツテ居ルケレドモ、金額ノ少イト云フ所ナラバ澤山貰フヤウニナル、令書數ハ少イガ金額ノ多イ營業稅附加稅ト云フヤウナモノヲ扱ツテ居ル所ハ、從前ヨリモ減ルト云フコトモアルカモ知レマセヌ、併シ總額ハ現在出シテ居ル總額ヨリモ殖エルコトガアリマシテモ減ルコトハ先ヅアルマイト思ヒマス

○**小山委員長** 長野高一君

○**長野委員** 私ハ先ヅ最初ニ內務大臣ニ對シマシテ、小學校教員給ノ縣費負擔ニ關スル問題ニ付テ御尋致シマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、先日來屢、質疑ガ繰返サレテ居リマスルガ、是マデノ經過ニ於キマシテマダ吾々ヲ納得セシムルニ足ル何等理論上ノ根據ヲ伺フコトガ出來ナイノデアリマス、本法改正ノ理由トシテ內務大臣ハ先頃ノ委員會ニ於キマシテ現在市町村負擔ノ相當部ヲ占メテ居リマスル小學校教員ノ俸給費ヲ財源關係ト、教育上ノ見地カラ考慮致シマシテ、之ヲ道府縣費ノ負擔ニ移スコトニ致シタノデアリマス、御述ニナツテ居ラレルノデアリマス、而シテ財源關係ヲ根據トスル理由ハ屢、説明サレテ居ルノデアリマスカ、一方教育上ノ見地カラノ必要ナ點ニ付キマシテハ、マダ明確ナル主張ヲ承ツテ居ラヌノデアリマス、申上ゲルマデモナク今日小學校義務教育ハ地方自治行政ノ關係ニ於キマシテ教員俸給支辨ノ制度ヲ動かスト云フヤウナ場合ハ、單ナル財政上ノ壓迫ヲ除クト云フガ如キ問題ヨリモ、寧ろ教育上ノ影響、即チ理論上ノ根據ト云フ所ニ重點ヲ置イテ考慮スベキモノデハナイカト考

ヘルノデアリマス、御承知ノ如ク小學校教員ノ俸給支辨ノ問題ガ市町村ノ單獨負擔、或ハ國庫全額負擔、若クハ現在ノ如ク國庫ト市町村ノ共同負擔ニ至リマスルマデニハ此ノ問題ニ付キマシテハ、色々ト論議ガ重ネラレ、或ハ過程ヲ經テ來タノデアリマスルガ、是ニハ何レモソレノ相當ナ理論上ノ根據ト云フモノガアルノデアリマシテ、今回ノ道府縣費支辨ノ問題ニ付キマシテモ茲ニ相當深イ根據ガナケレバナラスト思フノデアリマス、譬ヘテ申シマスルナラバ、現在小學校教員ノ任免或ハ増俸ト云フヤウナコトハ府縣知事ガ之ヲ掌ツテ居ル、デアリカハ小學校教員ノ俸給モ此ノ際府縣費支辨スルコトガ便宜デアリ、又理窟ニ適ツテ居ルノデアリカト云フヤウナ點ガ、或ハ今回ノ此ノ改正ヲナサル理由ノ一ツニナツテ居ルノデアリカトモ想像サレノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスルカ、御所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○兎玉國務大臣 財政上ノ關係カラノ見地ハ、私カラ御説明スベキ當然ノ道筋ダト思ヒマスガ、教育上ノ問題ニ付キマシテハ、寧ロ文部大臣ガ御答辯ナサルコトガ筋ダト思ヒマス、何レサウ云フ機會ガアルト思ヒマスガ、私カラ一言申上ゲテ見タイト思ヒマスルノハ、教育上ニ於テ最モ必要ナノハ無論其ノ設備ノ完備ト云フコトモアリマセウガ、人格陶冶ノ上カラ適正ナル教員ヲ得ルト云フコトガ一番大切ナコトダト思ヒマス、教員ヲ安ンジテ其ノ職ニ就カシムル所以ノモノハ、他ニモ色々ナ事情ガアリマセウガ一ツハ教員優遇ト云フコトモ重要ナル要素デハナイカト思フノデアリマス、ソ

コデ貧弱ナル町村ニ於キマシテハ、其ノ點ニ於テ遺憾ノ點ガ少クナイト私ハ思フノデアリマス、現ニ今日教育界ニ於テ一番憂フベキ狀況ハ、此ノ今日ノ時局下ニ於キマシテ、小學校教員ガ、殊ニ優秀ナル教員ガ、各方面ニ離散スルト云フコトデアアルノデアリマス、是等ノ點ハ、教育者ト致シマシテ、必ズシモ俸給ノ爲ニ戀々トスルモノデナイニ違ヒアリマセヌケレドモ、併シ生活方面カラ考ヘテ見レバ亦已ムヲ得ナイコトデアリナカト思ヒマスルノデ、ソレ等ノ點カラ考ヘマスルト、之ヲ府縣ニ移シテ置キマスルト云フコトハ、所謂教員ヲシテ安心シテ國ノ教育事務ニ從事セシメ、而シテ優良ナル教員ヲ得ルノ便利ガアルト云フ點ガ、間接ニ教育上ニ於テ非常ナル效果ヲ齎スモノデアアル、要スルニ小學校ニ於キマシテ、小學校ノ先生ノ力ト云フモノハ洵ニ偉大ナモノデ、恐ラクハ親ヲ思フヨリハ先生ヲ慕フ念ノ方ガ強クハナイデアラウカト思ハレルヤウナ點ガアリマスルノデ、ソレ等ノ點カラ考ヘマスレバ、茲ニ府縣ニ移シマシタルコトモ其ノ點カラ見テ教育上必ズ立派ナ良イ成績ヲ來スモノデアリカトダラウカ スウ云フ風ニ考ヘマス、但シハ私ノ所見デアリマスルノデ、文部大臣ガ見エラレマシタ節ニ改メテ御答辯ヲ申上ゲル機會ヲ作りタイト思ツテ居リマス

○小山委員長 長野君、一寸御相談申上ゲマスガ、上田君ノ留保ノ質問ガ文部省ノ普通學務局長ニアルノデス、今普通學務局長ガ御見エニナリマシタカラ、其ノ方ヲ許シタイト思ヒマス

○長野委員 宜シウゴザイマス

○小山委員長 ソレデハ上田君

○上田委員 私人内務當局ニ質問スルヨリモ文部當局ニ質問シヨウトシマシタノハ、六大都市ノ教員給ノ問題デアリマス、是ハ財源ニ於テハ地方税ニ關係ヲ持ツテ居リマスルケレドモ、根本ハ所謂教育方針ト云フコトニアルト存ジマスルカラ、サウ云フ意味デアリマス、政府委員ノ才出デナルノヲ待ツタ譯デ、敢テ内務省ノ方々ニ質問シナイト云フノハソコデアルト云フコトヲ特ニ豫メ御斷リ申上ゲテ置キマス、ソコデ先程一度御聽シテアルノデアリマスガ、其ノ時ニ既ニ文部省ノ政府委員ガ御答ニナツテ居ル點ヲ、關聯質問トシテアノ際ハ聽イタノデアリマシテ、繰返シテ質問ガ出來ナカッタカラ此ノ際聽キタイノデアリマス、ソレハ教員給ヲ此ノ度ノ改正ニ依ルト府縣ガ支辨スルコトニナル、ソコデ特ニ六大都市外ノ都市モサウデアリマスガ、尙ホ私ハ六大都市ノ場合ニ付テ主ニ言ウテ居ル譯デアリマスガ、内申權ヲ市長ニ持タシテ居ルカラ從來ト變リハナイ、斯ウ云フ御答辯ニナツテ居ツタノデアリマス、ソレハ文部當局モ形式ノ答辯デハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ御尋シタイ、成程此ノ度教員給ガ府縣支辨ニナリマシテモ、從來通りニ内申權ハ其ノ市長ニ委ネルコトニナツテ居リマスガ、其ノ内申權ト云フモノガドノ程度マデノ效キ目ガアルカト云フコトナデス、所謂刀ガ二束三文ノモウ鍔付イタ刀デアアルカ切レ味ノ良イ刀デアアルカドウカト云フコトナデス、月給ヲ渡ス權利ハ府縣ノ方ニ取上ゲテ置イテ、サウシテ内申權ト云フ權利ダケヲ市長ニ持タシテ置イテ、果シテ其ノ内申權ト云フモノガ實際問題トシテ有效ニ使ヘルカドウカ、形式ノ答辯ヲナサツテハ

困リマスヨ、ハツキリ申上ゲテ置キマス、實際問題トシテ月給ヲ貰フ方ハ府縣カラ貰フ、増給スルノモ府縣カラシテ貰フ、轉任スルノモ府縣カラシテ貰フ、唯市長ハ内申權ト云フ權利ヲ持ツテ居ルダケナデス、ソレデ果シテ内申權ノ行使ガ出來ルト御考ニナルカドウカ、是ガ私ノ質問ノ最モ重要ナル點ノデアリマス、此ノ點ヲ御聽致シマス

○中野政府委員 内申權ダケ殘サレテモ月給ヲ府縣カラ渡サレルト、其ノ内申權ガ内容ノナイモノニナリハシナイカト云フ御尋デアツタト思ヒマスガ、任用ニ付キマシテ只今内申權ガ市長ニ認メラレテ居リマス、ソレカラ只今ノ御質問ノ中ニ轉任ニ付テハ市長ヲ通サズニト云フヤウナ御質問デアツタト思ヒマスガ、轉任ニ付キマシテモ是ハ市長ヲ通サズニ勝手ニヤツテ居リマス

○上田委員 ノー、ソナコトヲ言ツテ居リハシマセヌ

○中野政府委員 サウデスカ——内申權ダケノ問題デアリマスガ、内申權ガ空ノモノニナルノデアリカ、斯ウ云フ御質問デアツタト思ヒマスガ、文部省ノ方デ考ヘテ居リマスノハ、決シテ形式的ナモノニナラナイ、單ニ形式的ナモノトシテ内申權ダケガ殘サレノデアリカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、其ノ説明ヲ今申上ゲマスガ、ソレハ現在ニ於キマシテモ、俸給費ガ府縣ニ移サレマシテモ、教員ノ任用其ノ他ニ付キマシテハ現在ト同ジニ致シ現在ト一向變ヘナイ考デアリマス、ソレカラ増俸ノコトニ付キマシテ今御話ゴザイマシタガ、現行ノ制度ニ於キマシテモ、之ヲ詳細ニ申上ゲマス、例ヘバ現在五十圓ノ俸給ノ者ヲ五十五圓ニスルトカ、五十五圓ノ者ヲ六十圓ニスルト

カ云フコトニ付キマシテハ、現行ノ制度デハ市長ニ特ニ内申權ハ認メラレテ居ナイノデアリマス、併シ現在市長ガ市ニ豫算ガ組ンデアリマス關係上、内申ト云ツテモ法令上ノ内申デハアリマセヌケレドモ、之ヲ假ニ法律上申上ゲマシテ見解ノ開陳ト云フ形ニ於キマシテ、例ヘバ五十五圓ノ教員ヲ六十圓ニシテ貰ヒタイトカ、六十圓ノ者ヲ六十五圓ニシテ貰ヒタイトカ云フヤウナ、是ハ慣行ニ依リマシテ意見ノ開陳ガアルノガ大部分ダト思ヒマス、是等ノ手續ニ付キマシテハ現行ト全然變ヘル考ハゴザイマセヌノデ、法令ニ基ク所ノ内申權デナクシテ、慣行ニ基ク所ノ意見ノ開陳ト云フコトハヤハリ尊重シテヤラナケレバ、殊ニ大都市ニ於キマシテハ到底教員ノ異動トカ、或ハ任免トカ、昇給ト云フヤウナコトハ出來ナイ、ソレハ私カラ申上ゲルマデモナク十分御承知ノコトト思ヒマスルケレドモ、大都市ニ於ケル教員ノ數ト云フモノハ非常ニ多イ、例ヘバ東京市ダケヲ見マシテモ一萬六千モアル、ソコデ視學機關ノ問題デスガ、此ノ前モ上田サンガ御尋ニナツタト思ヒマスガ：

（上田委員「ソコマデ聽イテ居ナイ」ト呼フ）
附加ヘテ申上ゲマセスト分ラナイト思ヒマスガ、此ノ視學機關ノ關係モアリマスノデ、現在ト全然同ジデアリマス、唯此ノ前ニ御意見ガ出マシタノハ、俸給ヲ渡サナイカラドウモイカス、俸給ヲ渡シサハスレバ大イニ内申權ガ其ノ切レ味ヲ示スガ、渡サナイト切レ味ヲ示サヌ、斯ウ云フ、上田サンデナカツタカト思ヒマスガ御意見ガアリマシタノデ、ソレニ付キマシテハ見解ノ相違ガアル、文部省トシテハ俸給ヲ渡シタカラ切レ味ガ示セル、渡サナイカラ示セナイト云フ

モノデハナイ、サウ云フ見解ヲ執ツテ居ルノデアリマス、内申權ノ點ハ只今申上ゲマシタヤウニ決シテ空ノモノニナルノデハナク、十分ニ之ヲ尊重シナケレバ教員ノ任免モ昇給モ異動モ何モ出來ナイ、其ノ點ニ付キマシテハ現在トチツトモ變ラナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○上田委員 見解ノ相違ダト云フコトデ片付ケラレルナラバ、私共モ其ノ考ヲ持チマス、見解ノ相違ダト云フナラバ吾々モ政府ト見解ノ相違ダカラ、政府ヲ攻撃スルモノハ攻撃シ、修正スルモノハ修正スル、其ノ一點張デヤリマス、モウ少シ誠意アル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデ私ハ御聽シテ居ルノデス、ソコハ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、ソコデハ見解ノ相違ト云フ問題デヤナイ、常識デ考ヘテモ分ル問題デアル、ソナナ難カシイ話デハナイ、詰リ實ノナイ權利ヲ持ツテ居テ果シテ有效ニ行使出來ルカドウカ、ソレダケノコトデアル、ソナナコトハ何遍繰返シテモ明ナ事實デアル、ソレヲアナタノ方デハ從來通り内申權ヲ與ヘテ居ルノダカラ其ノ取扱ハ變ラナイト云フ、アナタノ御考ハ變リハナイデセウ、併シナガラ教員自體ハ月給ヲ貰フ方ガ有難イノデス、ソコデ市ノ内申權ト云フモノニ對シテハ先ヅ教員ガ頭ヲ下ゲマセヌ、次イデ府縣ハ成程市ニ内申權ヲ與ヘテ居ルケレドモ、是ハ内申權ナンデス、自分ガ任免權ヲ持ツテ居ル、唯從來ハ市ガ内申權ヲ持ツテ居ルケレドモ、教員給ヲ市ガ渡シ權利ヲ持ツテ居ルカラ、府縣ノ方ハ遠慮シテ大體市ニ任ス、實質ガアルカラ、實際ノ仕事ヲシテ居ルカラ、ソコデ市ニ任ス、斯ウナル、今度ハサウデヤナイ、今度ハ府縣ノ方ガ月給ヲ

渡スンデスカラ、實權モ府縣ガ握ル、サウシテ内申權ト云フ空ノ權利ダケ市ニ殘シテ置クノデアリマスカラ、其ノ效果ニ於テ違ヒノアルコトハ多ク議論セヌデモ分ルデヤアリマセヌカ、ソレヲ何故アナタハ見解ノ相違ダト云フテ一蹴シヨウトナサルノカ

○中野政府委員 誤解ノナイヤウニ申上ゲテ置キマスガ、私ハ見解ノ相違ダト云ツテ一蹴スルト云フヤウナ考ハナイノデアリマス、實ハ私ノ方ニハ私ノ方ノ又別ノ意見ガアルノデアリマス、若シソレヲ申上ゲナケレバ甚ダ不誠意ダト云フ御考デアリマスナラバ其ノ意見ヲ申上ゲマス、決シテ見解ノ相違ト云フテ逃ゲタノデハナイノデアリマシテ、反對の意見ヲ申上ゲルコトハ却テドウカト思ヒマシタノデ、實ハ御遠慮シテ次第デアリマス、深切ニ言ヘト仰シヤレバ深切ニ申上ゲマス内申權ガ空ニナルト云フ御考ノヤウデスガ、是ハ私ノ方ハ空ニナラヌト思ヒマス、マア古イコトヲ申上ゲテ、之ヲ以テ只今ノ御考ニ對スル吾々文部省方面ノ考ヘ方ガ全部盡キテ居ルノデハアリマセヌガ、會テ郡長ノ制度ノゴザイマシタ時分ニ於キマシテハ、郡長ハ内申權ヲ持ツテ居リマシタ、是ハ市長トノ關係上郡長ハ内申權ヲ持ツテ居ツタ、郡ニハ御承知ノ通り教員俸給ノ豫算ハナカツタ、町村ニ豫算ガアリマシタ、是ハマア市長ト縣知事トノ關係ト、當時ノ町村長ト郡長ト關係ハ一寸違フカモ知レマセヌガ、國ノ行政機構ト致シマシテハ、町村監督ノ地位ニ在ル所ノ郡長ガ内申權ヲ持ツテ居ル、サウシテ其ノ豫算ハ市町村ニアツタ、任免權ハ現在ト同ジヤウニヤハリ府縣知事ガ持ツテ居ル、ソレデ豫算ハチツトモ郡ニハ無イノデアリマスケレドモ、

郡ニハ郡長ノ下ニ郡視學ト云フモノガ居リマシテ、是ガ小學校教員ノ成績其ノ他ノ勤務振ヲ十分ニ調査致シマシテ、ソレニ基イテ郡長ガ内申スル、此ノ内申ニ基イテ府縣知事ハ任免ヲ行フ、異動其ノ他昇給等ニ付キマシテモ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ法令ニ基ク所ノ内申デハアリマセヌケレドモ、意見ノ開陳ト申シマス、サウ云フヤウナコトヲヤツテ何等ノ差支ナカツタト云フヤウナ事實ガアルノデゴザイマス、此ノ事實ガアルカラ今度市町村ノ教員俸給費ヲ道府縣ニ移シテ、市長ニ内申權ヲ殘シテ置イテ、其ノ當時ト全然同ジトハ申上ゲマセヌケレドモ、一例トシテ郡長時代ノコトヲ御參考ニ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ俸給ヲ渡サナイカラ内申權ガ空ニナル、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、私達ハサウハ考ヘナイ、考ヘナイ理由ヲ申上ゲマス、唯見解ノ相違ト云ツテ突ツ放ス考デハアリマセヌ、小學校教員ト云フモノハ假令經濟的ニ待遇ガ低クテモ、社會的地位ガサウ高クナクテモ、何處マデモ聖職ニ居ル者、斯ウ考ヘテ居リマス、又事實サウデアリマス、教育ト云フ重大使命ヲ持ツテ居ル其ノ教員ガ、或ハ多勢ノ中ニハドウ云フ考ノ者ガナイトモ限リマセヌガ、文部省トシテ考ヘマス場合ニ、俸給ヲ此處カラ貰フカラ此處ニ頭ヲ下ゲル、コツチカラ貰フカラコツチニ頭ヲ下ゲル、サウ云フモノデハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、現ニソレハ實例ヲ申上ゲレバ幾ラモアリマス、是ハ私ノ意見ヲ餘リ露骨ニ申上ゲマスト却テドウカト思フノデ御遠慮シテ居ルノデアリマスガ、俸給ノ出所ガ何處ダト云フソレダケ頭ノ下ゲ方ガドウトカ、氣持ガドウトカ云フコトハ私ハ

ナイモノト考ヘテ居リマス、是ハ一般ノ官吏ガサウダト思ヒマスガ、小學校教員モサウダト思ヒマス、併シ多勢ノ中ニハ、ソレハ只今御心配ノヤウナ者ガ絶對ニ無イトハ言ヘマセヌデ、其ノ點ニ付キマシテハ文部省トシテ十分注意ヲ致ス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯俸給ノ出所ガ非常ニ重大性ヲ持ツヤウニ御考ノヤウデアリマスガ、私共ハソレ程ニ重大ニ考ヘテ居リマセヌ、小學校教員ガソレニ依ツテソレ程ニ變ルモノデハナイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、其ノ結果内申權ト云フモノハ決シテ空ノモノニナラス、現在ト同ジモノデアルト斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルコトヲ申上ゲテ置キマス

○上田委員 益、ドウモ私ハ意ヲ得ナイノデアリマスガ、郡ノ例ヲ御採リニナリマシタケレドモ、ソレハ自ラ言ハレテ居ル通りデス、事情ガ全然違フ、監督官廳デアル郡ガ内申權ヲ持ツテ居ルノト、被監督ノ立場ニ居ル市町村ガ俸給ヲ支拂ツテ居ル、其ノ場合ニ於ケル内申權ノ效目トサウデナクテサハ六大都市ヲ包含シテ居ル府縣ト申シマス、其ノ府縣ト六大都市トノ間ノ軋轢ト云フモノハ非常ニ多イデス、何ガ故ニ多イカ、六大都市ノ方ハソレダケノ實力ヲ持ツテ居ル、所ガ府縣ノ方ハ單ニ法制上俺ハ六大都市ヲ監督スル權利ヲ持ツテ居ルノデアアル、斯ウ云フコトデ對立スルコトハ、アナタ文部省デ御知リニナツテ居ラナケレバ、内務省ノ人ガ見エテ居ルカラ、内務省ノ人ニ御聽キナサイ、同ジヤウナ施設デモ頻リニヤルノデス、例ヘバ何カノ工業試驗所ヲ市ガ設ケル、サウスルト府ノ方デモ、或ハ六大都市所在ノ縣ノ方デモ、ヤハ

リ類似ノモノヲ設ケスト云フト體面ニ關スルト云フノデ、同ジヤウナ二重施設ヲスル澤山其ノ例ガアル、無駄ナコトデス、其ノ無駄ナコトヲ現ニヤツテ居ルカラ、先程來アナタハ御見エニナラナシタケレドモ、都制、特別市制ノ問題ヲ私ハ論議シテ居ツタ、サウ云フヤウニ、動トモスルト府縣ト云フモノハ自分ハ力ガナクテモ、法令ニ依ツテ監督者ノ立場ニアルカラト云ツテ軋轢シタル、今マデノ實例ガ澤山チヤントサウ云フ實例ガ擧ツテ居ル、デアリマスカラ先程例ニナツタ、曾テ郡ガアツタ時分ニ、郡ガ内申權ヲ持ツテ居ツタ所デ、其ノ郡ハ市町村ヲ監督スル權利ヲ持ツテ居ルノダカラ、ソレハ内申權ハ十分ニ效目ガアリマセウ、今度ハサウデハナイ、市町村ノ方ガ府縣ニ監督サレル地位ニアル、ソレガ内申權ヲ持ツテ、月給ノ方ハ府縣ノ方ガ渡サウ、斯ウ云フノダカラ、實例ノ當ラザルコトハ道理デハアリマセヌカ、ソレカラモウ一ツ、小學校教員ノ所謂心持ニ付テ御話ニナツタ、是ハ内申權ノ問題ト直接ノ關係ノアルコトカドウカハ是ハ問題デスガ、併シヤハリ關聯スル問題ダカラアナタガ御答辯ニナツタノダラウト思フカラ申上ゲルノデアリマス、一應我國ノ小學校教育ノ建前カラ見マシテ、日本ノ小學校ノ先生達ハ立派ナ人格ノ整ウタ方デアルト私共ハ信ジマス、固クサウ信ジマス、サウアリタイ、サウアリタイカラ、月給ヲ貰フカラドウトカ、内申權ダケダカラ是ガ空ニナルト云フヤウナコトハナカラウト思ヒマスガ、是ハ一應豫メソレダケ申上ゲテ置ク、ガ併シ往々ニシテ、例ヘバ一例ヲ舉ゲルト、或ル學校ノ校長先生ガ奏任待遇ニナル、奏任待遇ニナルトアノ

金ビカノ洋服ヲ拵ヘル、奏任待遇ニナツテ奏任官ノ大禮服ヲ著タル者ハ誰カ、普通ノ官廳デハ高等官八等ニナツタカラト云ツテ、直チニ大禮服ヲ著テ寫眞ヲ寫シテ何スト云フ氣持ハ少イト思フ、所ガ校長先生ニナルト、其ノ邊ノ者ガ或ハ金ヲ集メテ、サウシテ大禮服ヲ著テ以テ高等官八等ニ待遇サレタコトヲ喜ブノデス、ソレハ宜イ事カモ知レマセヌ、私ハ敢テ惡イトハ言ハヌ、惡イカモ知レヌガ、宜イ事カモ知レマセヌ、ケレドモ兎ニ角サウ云フ氣持ガアルト云フコトヲアナタハ御考ニナラネバイケマセヌ、其ノ氣持ハ一面カラ見マスレバ、月給ヲ貰フ方ニ效目ガアツテ、月給ヲ貰ハヌ方ニ效目ガ薄イト云フ氣持ト相通ズルノデハナイカ知ラシ、政府委員ハソレガ分リマスカ、其ノ氣持ガ分ラナイ、其ノ相通ズル氣持ガアル以上ハ、私ノ質問スルヤウニ、内申權ト云フモノハ俸給ヲ渡ス權利ガナクナルト、渡サナイヤウニナルト云フト空ニナル、サウ云フコトハアリハシマセヌカ、御考ドウデスカ

○中野政府委員 其處マデ突込シテ仰シヤイマス、私モ突込シテ申上ゲナケレバナラスノデアリマスガ、餘リ突込シテ御説明申上ゲマス、或ハ感情ヲ害スルト思ヒマスカラ申上ゲマセヌガ、御怒リニナラナケレバ申上ゲマス(ソシナコトハ構ハヌ)ト呼フ者アリ)例ヘバ六大都市ト府縣トノ關係デアリマスガ、是ハ餘談デアリマスカラ省イテモ宜シウゴザイマスガ、私モ極ク最近マデ内務省ノ官吏ヲシテ居リマシタノデ、地方ノコトモ少シハ知ツテ居リマス、サウ云フ風ナコトモアルト思ヒマスガ、小學校教員ガ威張り出シハシナイカト云フコトヂヤ

ナイカト思フノデアリマス、其ノ切レ味トカ效目トカ云フコトガ、實ハ私ニハ能ク分ラナイノデアリマスガ、要スルニ威張り出シハシナイカ、市町村民ト疎隔シハシナイカト云フ御心配デハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ十分ニ注意ヲ致シタイト云フコトハ、此ノ前カラ申上ゲテ居リマスガ、是ハ只今申上ゲマスヤウニ、俸給ヲ府縣カラ貰ヘバ府縣ニ頭ヲ下ゲル、市町村カラ貰ヘバ市町村ニ頭ヲ下ゲルト仰シヤイマスガ、私モ地方ニ隨分アチコチノ縣ニ居リマシタルガ、常ニ俸給ハ國カラ頂戴シテ居ツタノデアリマス、縣費ノ俸給ハ戴イテ居リマセヌガ、ヤハリ府縣ノ府縣會議員トカ、或ハ府縣參事會議員トカ、或ハ府縣會議員トカ云フ者ニハ、相當モウ敬意ヲ表シ頭ヲ下ゲテ居ルノデアリマス、ソレデ縣廳ニハ國費ノ官吏ト縣費ノ官吏ト居リマスガ、國費ノ官吏ハ府縣會議員ニ對シテ敬意ヲ表サナイ、縣費ノ官吏ノ敬意ヲ表スルカト云フト、決シテソシナコトハナイノデアリマシテ、縣廳ニ關スル限リハ、國費ノ官吏モ縣費ノ官吏モ、縣會議員ニ對シテハ十分ニ敬意ヲ表シテ居リマス、サウ云フヤウナ點カラ致シマシテ、是ハ私ハ實ハ小學校教員ヲヤツタコトハナイノデアリマスカラ、餘リ大キイコトハ申セマセヌガ、小學校教員ノ俸給ガ市町村費デ出テ居ツタ場合ニハ、市町村長其ノ他市町村ノ理事者、或ハ市町村會議員トカ云フ者ト十分ニ連絡ヲ取ツテ密接ニシテ居ツタ、ソレガ全ク俸給ダケ——是ハ此ノ前モ度々申上ゲマシタケレドモ、小學校ノ設置トカ、維持費トカ、或ハ教員ノ旅費トカ、或ハ其ノ諸給與、サウ云フモノハ皆市町村カラ出ルノデアリマシテ、俸給ダ

第一回 昭和十五年三月四日

ケガ唯縣費ニ過ギナイト云フダケデ、急ニ俺ハドウモ市町村當局トハ關係ガナイト云フヤウナコトハ迎モ言ヘナイト思フノデアリマス、假ニサウ云フモノガナイト致シマシテモ、俸給ガ府縣費ニ移管サレタト云フノデ、急ニ是カラハ縣廳カラ俸給ヲ貰フンダカラ市町村當局ニハ頭ヲ下ゲナイト云フヤウナコトハ、是ハ先ヅオカラウト思ヒマサガ、併シ大勢ノ中ニハソレハ只今仰シヤツタヤウニ急ニ威張り出ス者ガ出來テモ困ルト思ヒマスガ、ソナコトヲスレバ結局小學校教員ハ勤マツテ行カスト思フノデアリマス、併シ假ニ一時的ニモサウ云フ不心得ノ者ノ出ナイヤウニ、十分ニ文部省ト致シマシテハ注意ヲ致シタイ、斯ウ考ヘルノデアリマシテ、何處ヘ參リマシテモ俸給ヲコツチカラ貰フカラコツチヘ頭ヲ下ゲル、コツチカラ貰フカラコツチヘ下ゲルト云フコトハ先ヅ私ノ經驗デハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○上田委員 ドウモ政府委員ハ非常ニ私ノ申上ゲテ居ルコトヲ取損ウテ居ル、頭ヲ下ゲルト言ウタコトハ、唯一例トシテ申上ゲタノデアリマシテ、何モ府縣ノ當局ニ頭ヲ下ゲルトカ、市ノ當局ニ頭ヲ下ゲルトカ、府縣會議員ニ頭ヲ下ゲルトカ、市會議員ニ頭ヲ下ゲルトカト云フコトヲ申シテ居ルノデハナイ、日本ノ小學校ノ先生ガソナ卑劣ナ先生ダトハ私ハ思ツテ居ラス、文部省ノ御方ハ何ト御考ニナツテモ、私ハ立派ナ御方ダト思ツテ居ル、サウ云フ味意デ内申權ノ問題ヲ申上ゲテ居ツタノト違フ、非常ニ履違ヘテ居ラツシヤル、私ノ申上ゲルノハ内申權ノ運用ガ、給料ヲ市町村ガ渡シテ居ル時ニ、其ノ市町村ガ内申權ヲ持ツテ居ル時ト、給料ヲ渡スト云フ權利ハナクナツテシマツテ居ツテ、サウシテ内申權ノミガ残ツテ居ル時ト運用ノ效力ニ於テ違ヒガアリハシナイカト云フコトヲ言ツテ居ル、モウ一ツ言ヒ換ヘマス、府縣ト市トノ力ノ問題ヲ私ハ言ツテ居ルノデス、唯例トシテ先程ノ大禮服ノヤウナ例ヲ取ツタダケデ、一例ヲ取ツタダケデアル、ソレハ校長先生ハ皆立派デアル、立派デアルコトハ私共ハ信ジテ居ルシ、先生モ皆立派ダト信ジテ居リタイ、サウデアリマセウガ、ドチラヘ頭ヲ下ゲルトカ、誰ガ威張りタイ、ソナコトヲ言ツテ居ルノデヤナイ、ソナ卑劣ナ質問ヲシテ居ルノデヤナイ、詰リ今マデハ行政上監督ノ地位ニ立ツテ居ル府縣ガ任免權ヲ持チ、被監督者デアル市町村ガ内申權ヲ持ツテ居ツテ、ソコニ市町村ニ依ツテ俸給ヲ渡スト云フコトガ加ハツテ居ツタ、所ガ今度ハ俸給ヲ渡スト云フコトガ監督者ノ府縣ノ方ニ移ツテシマツタ、ソレデハ市ノ内申權ハ效果ガ薄クナツテ空ニナツテシマフデハナイカ、一例ヲ舉ゲルト六大都市ニアツテモ監督シテ居ル立場ノミカラ見テ、詰ラナイニ重ノ施設ヲヤツテ居ルデハナイカ、分ラナケレバ内務省ノ方ニ御聽ナサイ、東京府モ、東京市モ、大阪府モ、大阪市モ、或ハ京都府モ、京都市モ、同ジ施設ヲヤツテ居ルノデス、サウ云フヤウナコトダカラ、俸給ヲ渡スト云フコトガ府縣支辨ト云フコトニナルト、内申權ハ效果ノ薄イモノニナツテシマフデハナイカ、之ヲ聽イテ居ルノデス、御答辯ヲ願ヒタイ

○兒玉國務大臣 御議論ヲ買フ譯デハアリマセヌケレドモ、一應私カラ御答申上ゲマス、空ニナラナイト云フ私ノ實例ヲ一ツ申上ゲテ見タイ、私ハ或ル學校ヲ主宰シテ居ルノデスガ、私ハ毎日學校ニ行ク譯ニハ行カナイカラ、主事ヲ置イテアル、サウシテ主事ハ内申權ヲ持ツテ居ル、任免ハ私ガスルノデス、俸給ハ私ガ會計ヲ通シテ渡シテヤル、即チ主事ノ内申權ハ空デナイ、全部主事ガソレニ依ツテヤツテ、教員ヲ統制シテ、學校教育ニ對スル教員ヲ通シテノ責任ヲ持ツテ行ケル、是ハ事態ガ違ヒマスケレドモ、今ノ御話ヲ段々承ツテ見マス、俸給ヲ町村ガ渡サナイカラ内申權ガ空ニナルト云フ見解ハ、少シ御考ガ狹過ギル點ガアルト思フ、ソレガ御分リニナラナイヤウナ皆サシデヤナイト私ハ思ヒマス(笑聲)

○小見山委員 此ノ問題ハ實ハ先日モ委員會デ伺ツタノデスガ、私等ドウシテモマダ政府ノ御説明ガ了解出來ナイ、只今ノ上田君ト普通學務局長トノ御問答ハ、要スルニ内申權ハ小學校教員ノ俸給ヲ府縣カラ渡ス限リハ非常ニ薄弱ニナル、吾々モサウ思ツテ居ルシ、上田君モサウ仰シヤル、學務局長ハソレハ薄弱ニナラスト云フ押問答ニ過ギスノデアリマス、是ハ所謂意見ノ相違デ、何時マデ御話ニナツテモ切りガナイデアリマセウカラ、サウ云フ議論ハ措イテ、府縣カラ支辨スル俸給ヲ市町村ノ役場ヲ通シ、市町村長ヲ通シテ小學校教員ニ交付シタラドウカト云フ御質問ガ先日アツタノデアリマス、之ニ對シテ内務大臣及局長ハ御答辯ニナリマシタガ、其ノ御答辯ハ私幾ラ玩味致シマシテモ洵ニ薄弱デアリマシテ、少シモ其ノ理由ニナツテ居ラスト思フノデアリマス、先達テ學務局長ハ俸給ヲ町村役場ヲ經由シテ支拂フコトハ役場ニ氣ノ毒デアル、市町村ノ役場ハ累積シテ居ル事務ノ處理ニ忙殺サレテ居ル、ソコニ持ツテ行ツテ斯様ナコトヲ押付ケルノハ手數ヲ掛ケテ氣ノ毒デアルト言ハレタ、是ハ實ニ下ラス理由ダト思フ、今ノ市町村役場ノ事務ガ自己ノ固有ノ事務ノ數倍デアルコトカラ言ヘバ、縣カラ小學校教員ノ俸給ヲ受取ツテ自分ノ市町村ノ小學校ニ渡スト云フコトハ僅カノ手數デアル、其ノ手數ノ數十倍、數百倍ノ澤山ナ煩雜ナ仕事ヲ市町村ニヤラセテ居ツテ、斯ウ云フ些細ナ事務ノ御委託ヲ御遠慮ナサル必要ハナイ、是ハ少シモ理由ニナラスト思フ、ソレカラ内務大臣ノ御理窟ハ當然デアリマス、大體府縣ガ支辨スル以上ハ府縣ガ之ヲ支拂フノハ當然ダト云フコトハ御尤モデアリマス、併シナガラ何モ金ノ出所ガ府縣ガカラト云ツテ、手ヅカラ之ヲ小學校ノ教員ニ交付スル要ハナイ、役場ヲ通シテヤツテモ少シモ差支ナイ、其處ニ趣味ガアル、小學校ノ校長ハ月給ヲ國カラ直接貰ツテモ、市町村ヲ經由シテ貰ツテモ、其ノ心境ニハ何等ノ變化ガナイト大臣モ局長モ仰シヤルガ、ソレハ非常ニ違フ人情ノ機微ダ、アナタ方ダツテ今ハサウ云フ心境ニ變化ノナイ實例ヲ頻リニ述立テテ居ラレバ、ソレハ嘘ダ、實際ニ幾ラモアル、何處ニモ變化ノナイト云フ點ニ付テ確實ナル根據ノアル理由ハナイ、唯之ヲ強ヒテ皮肉ニ申シマスナラバ、府縣ニ於キマシテ國庫支辨ノ役人ハ、府縣ノ長官、或ハ部長、高等官其ノ外ニモ府縣ニハ屬官其ノ他國費支辨ノ役人ガ澤山居ル、是ハ別ニ内務省或ハ其ノ他ノ各省カラ日本銀行ヲ經由シテ日本銀行ノ小切手デ六十圓トカ八十圓トカノ月給ヲ拂ツテ居ルモノデハナイ、ヤハリ府縣知事ニ委託シテ之ヲ分配シテ拂ツテ

居ル、府縣ノ支辨ニ依ルト雖モ國家ガ國庫支辨ノ官吏ニ對シテ各府縣知事ニ依賴シテ之ヲ配給スル、交付スル、斯ウヤツテモ少シモ差支ナシ、斯様ナ薄弱ナ理由デドウシテモ之ヲ委託サレナイ、其ノ理由ガ吾々ハ今マデ御聽キシテモ了解ガ出來ナイ、強ヒテ之ヲ考ヘルナラバ、先刻上田君ノ仰シヤアル通り、ヤハリ茲ニ一種ノ官僚的精神ガアル、金ヲ渡スト云フ一種ノ權力ヲ自分達ガ持つテ居リタイ、成ベク府縣ノ長官ニ與ヘテ置キタイ、斯ウ云フ御考デハナイカ、是ハ先達デノ當委員會ニ於テ例ノ還付稅ヲ、ドウセ一遍府縣ニ還付スルモノナラバ、初カラ府縣ニ之ヲ委讓シテ宜イデハナイカト云フ或ル委員ノ質問ニ對シテ、大藏大臣ハドウシテモ府縣稅トシナイデ國稅トスル方ガ一ツノ莊嚴味ガアルト仰シヤツタ、ドウモアナタ方ハ小學校教員ノ俸給ヲ市町村長ノ手ヲ以テヤルヨリモ、縣廳カラヤル方ガ莊嚴味ガアリハシナイカ、サウ云フ考デセウ、ソレナラ月給ヲヤルノニ奉書ニ入レテ水引ヲ掛ケテ授與式ヲヤルヤウニシテ渡シタ宜イデハナイカ、是ハ確ニ官僚精神ノ現ハレダト私ハ思ヒマス、アナタ方ハ官僚精神ニ基イテヤツテハ居ナサラスノデアラウケレドモ、知ラズ識ラズノ間ニ斯ウ云フ官僚精神ノ現ハレガアルデハナイカ、デナケレバ何等ノ根據アル理由モナイ、私ハ御聽キシナイ、幸ニシテ根據アル理由ガアリマシタナラバ、私ハ必ズ無理ヲ言ハヌデ納得致シマス、ナケレバ私ノ申ス通りダ、アレバドウゾ此ノ際明確ニ此ノ點ヲ御答辯願ヒタイト思フノデアリマス

○中野政府委員 最初ニ一寸上田君ノ御質問ガ漸ク分リマシタカラ申上ゲマス、大

變ドウモ血ノ循環ガ惡クテ申譯アリマセヌガ、私ハ小學校ノ教員ト町村長ノ關係ダト思ツテ申上ゲマシタガ、府縣ニ對スル問題デ、非常ニ誤解シテ居リマシテ申譯アリマセヌ、其ノ點ハ一ツ斯ウ云フヤウニ御考願ヒタイト思ヒマス、空ニナラスト云フコトハヤハリ同ジデアリマス、先程モ一寸言ヒテ申シマシテモ、東京市ニハ大キナ教育局ガアル、其處ニハ視學ガ三十何人カ居ルサウデアリマス、所ガ東京府ノ方ニハ東京府ノ教員ノ異動、其ノ他ヤル視學ハ僅ニ三人シカ居ラス、此ノ三人ノ視學デ一万六千人ノ教員ノ轉任カラ昇給カラ、何カラ何マデ出來ルモノデハナイノデアリマス、ドウシテモ實力デアリマス、先刻カラ御話ノヤウナ陣容ヲ持つテ居ル、三十何人ノ視學ヲ持つテ居リ、其ノ上ニハ偉イ教育局長ガ居ル、此ノ三十六人ノ視學機關ヲ通ジテ市長ガ内申シテ來ルノデアルカラ、ドウシテモ此ノ三十六人ノ陣容ヲ持つ機關ニハ手モ足モ出ナイト思フノデアリマス、是ハ特ニ六大都市ニ於テハ視學ノ機關ガ充實シテ居リマス、之ヲ直チニ府縣ニ移スト云フコトハ出來ナイ、デアリマスカラ、俸給ノコトハ別デアリマスガ、何處マデ行ツテモ市長ノ内申權ハ空ニナラスト私共ハ思フノデアリマス、モウ一ツハ、今マデハ豫算ガ市町村ニアツタカラ内申權ハ實ガアツタ、今度ハ府縣ノ方ニ行ツタカラ空ニナルト仰シヤルガ、ソレハ府縣ニ對スル大都市ノ關係ダト思ヒマス、ソレヲ私ハ下ノ方ノコトカト思ツテ誤解シテ居リマシタガ、是ハ摩擦ノ起ラナイヤウニシタイト思ヒマス、少クトモ現在

六大都市ノ如キハ非常ニ教員ノ待遇ト云フモノハ實際宜イノデアリマス、是ガ低下スルト云フコトニナツテハ大變ダト思ヒマス、府縣ニ俸給費ヲ移管シタ結果待遇ガ低下シテハ困ル、市長ハ折角低下シナイヤウニ、從來通り待遇シヨウト思ツテモ、知事ガソレヲ抑ヘルコトニナツテハ、是ハ又大變デアリマス、ソコデ此ノ方法ニ付テハ目下研究中デアリマス、初任給トカ、昇給内規ニ付キマシテハ現行ノ規定ヲ尊重セザルヲ得ナイヤウナ、尊重サセルヤウナ、府縣知事ガ之ヲ尊重スルヤウナ方法ヲ文部省トシテハ講ジタイ、斯ウ云フ考デアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ摩擦ノ起ルヤウナコトハナイト私ハ考ヘテ居リマス、唯實力デアリマス、今申上ゲマシタヤウニ、異動ト云フヤウナ時ニハ實際市ガ大キナ視學機關ヲ持つテ、實力ヲ持つテ居ルノデアリマスカラドウニモ出來ナイト思フノデアリマス、其ノ點ハ私ノ方デハ前ト同ジ通りデアリマス、チットモ變ラナイ、ダカラ内申權ハ空ニナラス、斯ウ云フ見解ヲ持つテ居ルノデアリマス、併シ尙ホ府縣ト大都市トノ間ニ教員ノ異動、昇給、任免等ニ付キマシテ摩擦ガ起ルト云フ御懸念ガアリマシタナラバ、サウ云フ點ノナイヤウニ更ニ方法ヲ講ジタイト考ヘマス、ソレデヤツト御質問ニ對シテ見當ノ外レナイ答辯ガ出來タカト思ヒマスガ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

モウ一ツハ此ノ前モ申上ゲマシタガ、是ハ金ノ經理ト云フモノハ、成ベク早クスルノガ官僚的デナイノデアアツテ、遅クナルノガ官僚的ダト思フノデアリマス、決シテ府縣カラヤツテ威張ラウトカ、何トカト云フコトハ恐ラク誰一人考ヘテ居ナイト思ヒマス、唯成ベク早ク簡單ニ行ク方ガ宜イノデハナイカト云フダケノコトデアリマシテ、ソレヲ府縣カラ出シテ勿體ヲ付ケルト云フヤウナ考デアリナイノデアリマス、此ノ前モ御質問ガアツタ時ニ一寸御答致シマシタヤウニ、或ハ文部大臣カラモ本會議答辯シタカト思ヒマスガ、府縣費ニ移管ニナリマシタナラバ、是ハ郵便局デ出シテヤラウデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、縣カラ直接ヤラウト云フ考デアリナイ、何カ振替口座ノ如キモノデヤリタイト考ヘテ居リマス、ソレハ成ベク簡單ニヤラウト云フ考デアリマシテ、別ニ勿體ヲ付ケルト云フ考デアリナイト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○上田委員 關聯質問ヲ終リタイト思ヒマスカラ、後デ纏メテ願ヒタイト思ヒマス、私ハ出來ルダケ簡單ニ致シマス、漸ク答辯ガ少シ軌道ニ乗ツテ來マシタ、今マデドウモ食ヒ違ツテ居タモノデスカラ分リマセヌデシタ、ソコデ只今ノ御答辯デ、市ガ特ニ六大都市ガ實力ヲ持つテ居ルカラ、内申權ハ空虛ニナラナイ、ソレカラ又府縣ト市トノ間ニサウ云フ摩擦ノ起ラナイヤウニヤル、斯ウ云フ御答辯ノヤウデアアツタガ、ソレ程大都市ガ實力ヲ持つテ居ルト云フコトガハツキリ分ツテ居ツテ、サウシテソレ程摩擦ノ起ラヌヤウニ今後注意シヨウト云フ程ノ御苦心ヲナサルナラバ、何故今マデ通りニサツテ置カナイノカ、ソレヲ態々全國ノ都市、或ハ市町村ガ教員給ヲ皆府縣ニ渡シテ貰フヤウニシタカラト云ツテ、實力ノアル大都市マデモ其ノ教員給ヲ態々府縣ニ取上ゲテシマフト云フノハ、ソレハ所謂官僚ノ畫一主義ト云フコトカラ出ラレル御意見

デハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマスガ、此ノ點ハドウデセウカ

○中野政府委員 一寸先程申上ゲマシタコトガ或ハ言葉ガ不十分デアツタカト思ヒマスガ、別ニ非常ニ苦心スル譯デハナイノデアリマス、府縣ト大都市トノ間ニ摩擦ノ起ラナイヤウニスルト云フコトハ、是ハ非常ニ苦心スルノデハナクシテ、其ノ用意ヲシテ居ルノデアリマス、例ヘバ待遇ガ低下シハシナイカ、市ガ從來通りノ待遇ヲシヨウト思フト、知事ガソレハイカスト云フツタリ、市長ガ是非ヤツテ呉レト云フツタリ知事ガヤツテハイカスト云フツタリヤウナ摩擦ノ起ラナイヤウニスルノハ、別ニ大シタ苦心デハナイノデアリマシテ、從來ノ初任給トカ、昇給ノ内規トカ云フモノヲ大イニ尊重シロト云フコトニスレバ私ハ出來ルト思フノデアリマス、ソレ以上ニ尙ホ摩擦ガ起リハシナイカト云フ御懸念ガアレバ、其ノ點モ十分ニ注意ヲ致ス積リデアリマス、別ニ非常ナ大苦心ヲシテ居ル譯デハナイノデアリマス、或ハソレハ言葉ガ不十分デアツタカト思ヒマスカラ、左様申上ゲテ置キマス

○上田委員 マダ大分意見ガ違ヒマスケレドモ、是ハ是レ以上押問答シテ居ツテモ仕方ガアリマセヌカラ、此ノ程度ニシテ置キマス、マダ澤山質問事項ガアリマスケレドモ、何レハ六大都市出身ノ方々カラ代ル代ル息ノ續ク限り、根限り質問ガアルコトダト思ヒマスカラ、此ノ程度ニシテ置キテ、私ハ最後ニ一ツダケ質問シテ置キマス、ソレハ先程モ一寸御話ガアリマシタケレドモ、教員給ハ今度市町村ノモノハ府

縣ニ取上ゲテ置イテ、肝腎ナ金ノ掛ル所ノ、所謂學校ノ建築費デアルトカ、設備費デアルトカ、サウ云フヤウナモノハ其ノ儘ニ殘シテ置ク、モノヲ言フノハ學校ノ先生ガモノヲ言フ、建物ガモノヲ言フ譯デハナイ、而モ金ヲ食フノハ此ノ建物ヲ設備ガ金ヲ食フ、其ノ一番金ノ要ル學校ノ建築ヲ設備ハ市町村ニヤラシテ置イテ、サウシテモノヲ一番言フ俸給ガケケ府縣ノ方ニ取上ゲテシマフ、斯ウ云フヤリ方ニナルト思フノデアリマスガ、果シテ政府ハ其ノ方ガ妥當デアルト御考ニナルナラバ、一層ノコトニ學校ノ設備モ建築モ、或ハ賞與ヲ先生ニ與ヘルノモ、總テノモノヲ皆府縣ガ賄フヤウニナサルコトガ妥當デアルト思ヒマスガ、其ノ意思アリヤ否ヤ、又何故サウナサラヌノカ聴キタイノデス

○中野政府委員 少シ答辯ガ前後致スカモ知レマセヌガ、現行ノ小學校令ニ依リマシテ、市町村立小學校ノ設置ニ要スル費用ト云フモノハ、是ハ市町村ガ負擔スルト云フコトニ決ツテ居ル、其ノ大方針ハ兎ニ角小學校令デ決ツテ居ルノデアリマス（ソレヲ改正セヨト呼フ者アリ）サウシテ小學校ハ是ハ義務教育ヲ行フノデアルガ、何處マデモ市町村ノ子弟ヲ教育スル機關デアル、デアルカラ是ハ市町村ノ負擔トシテ、市町村ノ學校トシテヤツテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、小學校令ヲ申上ゲマシタ改正シロト云フ御話デアリマシタケレドモ、サウ云フ考デアリマス、其ノ中ノ俸給ハ僅カデアツテ、設備費ガ非常ニ多イト云フ御話デアリマシタガ、全國的ニ申シマスト俸給費ハ約一億九千萬圓、ソレカラ經常費ガ二億六千萬圓、其ノ内ニ俸給

モ入リマスガ、ソレカラ小學校教育費ノ臨時經常ヲ全部入レテ三億八千萬圓位デアリマス、デアリマスカラ臨時經常全部ノ市町村ノ小學校經費ニ要スル内ノ約半分デアリマス、一億九千萬圓ハ、是ハ高等小學校モ入リマスガ、小學校ノ教員ノ俸給ナラデアリマス、之ヲ取上ゲルヤウナ御話ガアリマシタガ、言葉尻ヲ取ル譯デハアリマセヌガ、取上ゲルト云フ考ヘ方デハナイノデアリマス、此ノ俸給ガ極ク小部分ノヤウナ御話デアリマスガ、約半分ニナルノデアリマス、臨時經常ヲ入レマシテ非常ナ大キナ額デアリマス、此ノ俸給ハ度々申上ゲタト思ヒマスケレドモ、非常ニ地方ニ依ツテ不均衡ニナツテ居リマス、デスカラ教育上ノ見地カラ見マスと、貧弱ナ町村ニ居ツテハ何時マデ經ツテモ俸給ガ上ラヌ、俸給ガ上ラヌカラ、是ハ六大都市ノ方ヲ考ヘテ居ルノデアリマセヌ、全國的ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、何時マデ經ツテモ上ラヌ、上ゲヨウト思ツテモ町村ノ財政ガ許サナイ、サウシテ吾々良イ教員ヲ其處ニ置キタイケレドモ、何處カニ變ヘテヤラナケレバ可哀相ダ、町村ノ方モ良イ教員ハ欲シイ、教員モ居タイガ、ドウモ何時マデ置イテ居ツテモ一向優遇出來ナイ、デ他ニ變ヘルト云フヤウナ理由ガアリマスガ、サウ云フヤウナコトカラ教員ノ俸給ヲ府縣ニ移サウト云フノデアリマシテ、唯取上ゲルト云フヤウナ考ヘ方デハナイノデアリマス、ドウモ町村ノ教員ノ待遇ノ不均衡ヲ或ル程度ニ正シヨウト云フ所カラ、府縣ニ變メマセヌトソレガ出來ナイト云フ考ヘデアリマシテ、六大都市ニ付テハ多少事情ハ違ヒマセウガ、大體斯ウ云フ考ナノデアリマス

ソレカラモウ一ツ、先刻御質問ノ中ニ設備費モ何モ彼モ國デ持ツ考ハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フ考ハナイノデアリマス、今ノ小學校令ガサウ云フヤウニナツテ居リマス、町村ガ負擔スルト云フコトハ何處マデモ必要ナノデアリマシテ、是ハ此ノ儘デ行ク考デアリマス、之ヲ全部國デ持ツト云フコトハ全然考ヘテ居リマセヌ

○上田委員 私ハ實ハ質問ガマダアルガ、六大都市ノ教育ノ特異性デアルトカ、或ハ大都市ノ教育方針ノ破壊デアルトカ、或ハ町民ト學校トノ離間デアルトカ、色々問題ガ此ノ教員給ノ問題ニ關聯シテ、マダマダ十數種モ殘ツテ居ルケレドモ、只今マデノ局長ノ御答辯ハ餘リニ當ラザル答辯バカリデ、例ヘバ私が學校設備費ヲ國ガ持ツタラドウカト云フツタラ、小學校令ヲ改正シナケレバナラヌト云フ、勿論サウ云フ法律命令ヲ改正シテ學校ノ設備ヲ府縣ガ持ツヤウニシタラドウカ、斯ウ云フコトヲ聽イテ居ル、何モソレヲ一々二階ニ上ルノニ、此ノ梯子段ハ九段アリマスト説明サレヌデモ、二階ニ上レバソレデ宜イノデ、サウ云フコトハ説明ニナラナイ、モノノ「ボイント」ガ分ラナイ、色々質問シテモ仕方ガナイカラ私ノ質問ハ此ノ程度デ止メテ、後ハ六大都市關係ノ方々ガ續々質問ナサルダラウカラ、其ノ上デ最後ニ急所ノ時ニ又質問ヲスル程度ニ保留シテ置キマス

○小見山委員 私ハ先刻ノ質問ニ對シテ一向御答辯ガナイカラ、私ノ質問ノ要點ヲ簡單ニモウ一遍申上ゲマス、内務大臣ハ府縣ノ支辨スル教員俸給デアルカラ、府縣ガ直接ニ支拂フノガ當然ダト仰シヤイマス、併シナガラ私ノ言フ所ハ國費支辨ヲ府縣管理

ニシテ、府縣廳ヲ經由シテ府縣長官ニ依頼
シテ拂ツテ居ル、ソレヲ同様ニ町村長ニ委
託シテ拂ツテ宜イデヤナイカ、之ニ對スル
大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ學務局
長ニハ何故役場ヲ經由シテ拂ツテハイケナ
イカト云フコトニ對シテハ、此ノ前ハ役場
ニ氣ノ毒ダト仰シヤツタガ、今日ハ敏速ヲ
尊ブ、事ヲ暇取ラセルノガ官僚主義デ、急
ノハ官僚主義デナイ、ダカラ郵便局カ何處
カヲ經由シテヤル、郵便局ノ所在地モ、役
場ノ所在地モ同ジデアル、役場ヲ經由シテ
ヤルノモ、郵便局ヲ經由シテヤルコトモ、
別ニ時間ノ差ハナイ、ダカラ其ノ點モ甚ダ
曖昧デアリマスカラ、茲デ簡單ニ私ノ質問
ノ要旨ヲ外ラサナイヤウニ御二人共御答辯
ヲ願ヒタイ、今日ドウシテモ御答辯願ヘマ
セヌナラバ、今晚ユツクリ考ヘテ、明日御
答辯ヲ願ヒタイ

○兒玉國務大臣 理窟ノ上カラ申シマスレ
バ、任命ヲスル所ト俸給ヲ拂フ所ガ一ツデ
アルト云フ事柄ガ、是ハ理窟デアリマセウ、
併シ之ヲ渡スノニ何處ヲ通シテ渡シタラ宜
イカ、學校ヘ直接ニ渡スガ宜イカ、町村ヲ
通シテ渡シタラ宜イカ、是ハ一ツハ便宜
ノ問題モアリマスシ、一ツハ今言フ通りニ
内申權ノ問題ニモ影響ガアルノデアリマ
ス、併シ私ハ、私モ教育者ノ一員トシテ斯
ウ云フ信念ヲ持ツテ居ルノデアリマスレ
ドモ、是ハ恐ラクハ全國ノ小學校ノ先生
モ、俸給目當ニ愛ラシイ子供ヲ教育シテ居
ルノデハナイ、サウ云フ先生ニハ私ハ子供
ヲ預ケタクナイ、現ニ私ノ學校デ此ノ間中
カラ先生ガ方々ニ取ラレル、私ハソレニア
ノ勅語ヲ讀メ、教員ニ賜ツタ勅語ニ何ト書
イデアルカ、之ヲ讀ンダナラバスコハ五

圓上ルカラアスコニ行クト云フヤウナ考ヘ
ハ起ラヌデヤナイカ、先生ガサウ云フ考デ
教育シテ居ルノデハ日本ノ教育ト云フモノ
ハ成績ガ舉ラヌ、サウ云フ先生ハサツサト
行ツテ貰ヒタイト云フコトヲ私ハ言ツテ居
ルノデアリマス、恐ラク全國ノ小學校ノ先
生ハドウ云フ考デ教育ヲシテ居ルカト言ヘ
バ、此ノ愛ラシイ子供ヲ教育シテ、將來御
國ノ爲ニナルベキ人材ヲ養ヒタイ、斯ウ云
フ崇高ナル獻身ノ考カラ教育ヲサレテ居
ルノデアツテ、又サウナクテハナラヌト思
フノデアリマス、隨テ俸給ヲ何處デ渡ス
カ、何處デヤルカト云フコトハ、普通吾々
ノヤウナ俗人ナラバサウ云フ考モ起リマス
ケレドモ、小學校ノ先生ハ何處カラ貰ツタ
ガ宜イカ、此處カラ貰ツタガ宜イカト云フ
ヤウナ考ヨリモ、寧ロ私ノ今申上ダヤウ
ナ愛ラシイ子供ヲドウカ一人前ノ立派ナ國
民ニサセタイト云フ、其ノ精神的ノコトニ
出ヅルコトガ多イト私ハ考ヘテ居ルノデア
リマス、隨ヒマシテ今内申權ノ問題ニ付キ
マシテモ先程私ガ申上ダマシタ通りニ、内
申權ハ知事ニ於テ之ヲ尊重スルト云フコト
デアリマスレバ、假令俸給ハ他カラ出テモ、
其ノ教員ハ恐ラクハ市町村ノ教員トシテ、
而シテ市町村民ヲ教育ヲシテ立派ナ市町村
民ニサセヨウト云フ信念ニ燃エテ居ルト云
フコトハ少シモ變ラナイ、斯ウ私ハ信ジテ
居ルノデアリマス

○中野政府委員 只今内務大臣ノ御答辯ニ
ナリマシタコトデ、私ノ申上ダルコトモ盡
シテ居ルト思ヒマスガ、先程御質問ノコト
ハ、此ノ前ハ町村長ヲ煩ハシテハイカス、
今度ハ早クヤリタイ、其ノ趣旨ガ違フノカ
ト云フ御話デアリマシタガ、サウデハナイ
ノデアリマス、煩ハシテソレデ早クナレバ
場合ニ依ツテハ煩ハサナケレバナラスコト
モアルカト思ヒマスガ、煩ハシテモ早クナ
ラス、サウシテ唯手ヲ煩ハスダケデアリマ
シテ、要スルニ是ハ手續ノ問題ト私ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、今内務大臣モ續々御
述ニナリマシタ通りデアリマシテ、別ニ縣
廳ガ直接小學校教員ニ渡シテモ勿體ヲ付ケ
ルトカ、ドウトカ云フコトデハ全然ナイト
考ヘテ居ルノデアリマシテ、ドウヤツタナ
ラバ成ベク早ク行クカ、輕便ニ行クカト云
フコトデアラウト考ヘテ居リマス、サウ致
シマス、サウ云フ點カラ此ノ前ハ市町村
ヲ煩ハスト云フコトハ非常ニ忙シイ時
ニ恐縮ニ思フト云フコトヲ申シマシタ、
其ノ爲ニ早クナレバ兎モ角、其ノ爲ニ遅ク
ナレバモツト早ク行ク方ガ宜イデヤナイカ
ト云フ考デ、何モ問題ニ深イ魂膽モ、大シ
タ理窟モ何モナイノデアリマシテ、要スル
ニ送金ダケノ問題デアリマス、サウ云フヤ
ウニ私達ハ考ヘテ居リマス、ソレニ依ツテ
小學校教員ガ氣持ガ變ルトカ云フコトニナ
リマス、是ハ只今内務大臣ノ續々御述ニナ
リマシタ通り、サウ云フコトハナイト文部
省デハ皆考ヘテ居リマスガ、サウ云フ懸念
ガアレバ尙ホ是ハ十分サウ云フコトノナイ
ヤウニ注意致シマス、ト云フコトヲ此ノ際申
上ダテ置キマス

○山川委員 關聯シテ……
○小山委員 山川サン簡單ニ願ヒマス
○山川委員 簡單ニ致シマス、一寸伺ヒマ
スガ、市ノ方ハ市ヲ經由シテ俸給ヲ拂ツタ
ラ宜カラウト云フ御意見デアリマス、ソレト
同ジデ町或ハ村モ同ジヤウニ、町村長ヲ經
テ御拂ヒニナル、是ハ同ジコトダト思ヒマ

ス、サウ云フ風ニシタラ郵便局ニ行カナク
テモ宜イ、郵便局ハ日本全國ニ各町村トモ
アリマス、三箇村ニ一箇所位デアリマス、
東京市ノコトヲ考ヘタラ大變ナ違ヒデアリ
マス、郵便局デモ草鞋穿デ行カナケレバナ
ラス所ガアル、ソレデ是非市ヲ經由シ、町
ヲ經由シ、町村ヲ經由致シマシタナラバ、
是マデ通りノ取扱デアルト思フ、私ハソレ
ガ一番宜イト思フ譯デアリマス、是ダケヲ
申添ヘテ置キマス

○小倉委員 今ハ此ノ程度ニ致シマシ
テ、明日午前十時カラ開會致シマス、是デ
散會致シマス
午後五時三十一分散會

昭和十五年三月四日印刷

昭和十五年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局